

# 掛川市・大東町・大須賀町の合併に関する 住民意向調査結果報告書

平成 1 5 年 8 月

掛川市・大東町・大須賀町任意合併協議会

## 目 次

1．調査実施要領	1
（1）調査目的	2
（2）調査対象	2
（3）調査期間と調査方法	2
（4）回収状況	2
2．調査結果の概要	3
（1）回答者の属性	4
（2）合併に関する設問	4
3．単純集計結果	7
（1）回答者の属性	8
（2）合併に関する設問	10
4．クロス集計結果	19
（1）男女別クロス集計結果	20
（2）年齢別クロス集計結果	29
（3）地域別クロス集計結果	47
（4）その他のクロス集計結果	61
5．自由回答結果	73
（1）問13自由回答欄の概要	74
（2）主要なご意見、提案	75
資料編	81

## 1 . 調査実施要領

## ( 1 ) 調査目的

掛川市、大東町、大須賀町では、1市2町が合併した場合のまちづくり計画書となる「新市建設計画」を作成しているところである。新市に期待しているまちづくりの将来像や施策のあり方を把握し、素案づくりの段階から民意を「新市建設計画」に反映させるため、住民意向調査を行った。

## ( 2 ) 調査対象

### 調査対象者

1市2町在住の20歳以上の男女4,500人

### 標本抽出方法

住民基本台帳から無作為抽出

## ( 3 ) 調査期間と調査方法

### 調査期間

平成15年6月2日(月)～平成15年6月13日(金)

### 調査方法

郵送配布、郵送回収

## ( 4 ) 回収状況

市町名	対象数	有効回答数	回収率
掛川市	2,300 票	979 票	42.57%
大東町	1,200 票	490 票	40.83%
大須賀町	1,000 票	421 票	42.10%
地域不詳	-	7 票	-
合計	4,500 票	1,897 票	42.16%

## 2 . 調査結果の概要

## ( 1 ) 回答者の属性

### 性別 ( 問 1 )

男性 42.7%、女性 55.6%であった。1 市 2 町とも男女の割合は同様であった。

### 年齢 ( 問 2 )

回答者全体では、中年世代 ( 40 歳代、50 歳代 ) が約 4 割を占めた。大須賀町では、他市町に比べ、若い世代 20 歳代、40 歳代の割合が高かった。

### 職業 ( 問 3 )

回答者全体では「社員・サラリーマン」が約 3 割を占めた。大東町では「農林水産業」、大須賀町では「社員・サラリーマン」の割合が高かった。

### 居住地 ( 問 4 )

掛川市住民が 51.6%、大東町住民が 25.8%、大須賀町住民が 22.2%であり、ほぼ調査対象者の構成比と同様であった。

### 居住年数 ( 問 5 )

居住年数 30 年以上の回答者が約 6 割近くを占め、長年の生活に基づいた回答が得られたことがうかがえた。

## ( 2 ) 合併に関する設問

### 合併についての関心 ( 問 6 )

「関心がある」と「少し関心がある」の両方で約 7 割を占め、住民は合併に対して高い関心を示していることがうかがえた。

男女別では、女性よりも男性の方が、また、掛川市よりも大東町、大須賀町の住民の方が、合併に対して関心が高く、地域の将来の姿を注目していることがうかがえた。

### 合併に期待する効果 ( 問 7 複数回答 )

「役所の人件費等、経費の節約がされる」「今までとは違った発想のまちづくりができる」「南北道路が良くなる」が上位回答であり、行政の効率化や、新しいまちづくりへの期待がうかがえた。

男女別では、女性は「公共施設が無駄なく、広い地域で使える」を上位にあげ、現実的な対応を期待していることがうかがえた。また、地域別では、大東町と大須賀町では「南北道路が良くなる」が第 2 位回答であり、道路整備に対する期待がうかがえた。

居住年数別では、居住年数が長いほど「今までと違った発想のまちづくりができる」回答率が高く、まちの変化に対する期待がうかがえ、居住年数が短いほど「行政サービスが充実する」回答率が高く、サービス内容の向上に対する期待がうかがえた。

#### 合併に対する心配（問 8 複数回答）

「税金や使用料などの住民負担が増えないか」「中心部と周辺部に格差が生じないか」「新たな整備にお金がかからないか」「きめ細かい行政サービスができなくなるか」が上位を占め、経済的側面と行政サービス後退に関する心配がうかがえた。

年齢が若い世代では、住民負担や地域格差を心配しており、年齢が上昇するにつれて、「きめ細かい行政サービスができなくなるか」「役所が遠くなり不便にならないか」が上位回答となり、行政サービスや生活利便性後退に関する心配がうかがえた。

また、地域別では、大東町と大須賀町ともに地域格差、掛川市への吸収、役所が遠くなるといった心配がうかがえた。

#### 現状の行政サービスやまちづくりに対する満足度（問 9）

「ごみ収集・処理、リサイクル」と「文化・芸術・地域の伝統歴史」は、「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答が、「不満」「やや不満」の否定的回答を大きく上回った。廃棄物や歴史文化に関する行政サービスやまちづくりは、他の項目に比べると住民に受け入れられていることがうかがえた。

一方、「公共交通」「道路、交通安全」「下水道・下水処理」「商業振興」は、否定的回答が肯定的回答を大きく上回った。都市基盤と商業に関する行政サービスやまちづくりには、他の項目に比べて、住民は大きな不満を抱えていることがうかがえ、新都市のまちづくりに際して重視する必要がある。

次代を支える 20 歳代の回答は、「公共交通」「商業振興」「道路、交通安全」に関して否定的回答が高く、生活圏の広がりに対応したまちづくり、ショッピングに関して大きな不満を抱えていることがうかがえる。また、大東町と大須賀町では、「公共交通」に関する否定的回答が 6 割を超え、住民の不満が特に高いことがうかがえた。

#### 新都市のまちづくりに積極的に活用していくべき資源（問 10 複数回答）

「福祉・介護施設のネットワーク」「1 市 2 町を結ぶ幹線道路」「スポーツ施設」が上位を占め、これまで 1 市 2 町が築いてきたものを、新都市のまちづくりに積極的に活かすべきという現実的な志向がうかがえた。

男女とも「1 市 2 町を結ぶ幹線道路」が上位を占めるが、この他男性は「遠州灘海岸」「小笠山」が上位回答であり、新都市を代表する自然環境を活用したまちづくりが期待されている。一方、女性は「福祉・介護施設のネットワーク」「スポーツ施設」が上位回答であり、既存公共施設を活用したまちづくりが期待されている。

また、掛川市では「東海道新幹線掛川駅」が、大東町と大須賀町では「1 市 2 町を結ぶ幹線道

路」と「遠州灘海岸」が上位回答となり、地域の資源特徴の潜在能力を引き出す期待がうかがえた。

#### 新都市の望ましい姿（問 11 複数回答）

「保健・医療・福祉の充実したまち」「自然環境の豊かなまち」「安心・安全なまち」が上位を占めた。都市基盤面、産業面、文化面などの充実よりも、住民は今まで以上に安心して暮らせるまちや環境を求めていることがうかがえた。

男女別、年齢別、地域別いずれも「保健・医療・福祉の充実したまち」「自然環境の豊かなまち」「安心・安全なまち」が上位回答であった。

#### 優先的に取り組むべき施策（問 12 複数回答）

「医療や福祉の充実を図ること」が第 1 位回答であるとともに、他の項目を大きく上回る回答割合であり、高齢化社会の到来を反映した回答であることがうかがえた。次いで「バス、鉄道等の利便性を高めること」「行政組織の合理化や財政の健全化を図ること」「道路を良くすること」が上位を占め、住民は 1 市 2 町をつなぐ交通と道路、行政のスリム化を重視していることがうかがえた。

男女とも「医療や福祉の充実を図ること」が第 1 位回答であるが、男性は「道路を良くすること」「行政組織の合理化や財政の健全化を図ること」が上位を占め、都市基盤と行財政基盤を重視し、女性は「バス、鉄道等の利便性を高めること」「大地震などの災害にそなえること」が上位を占め、生活の利便性と安全性を重視していることがうかがえた。

年齢別では、20 歳代だけが「バス、鉄道等の利便性を高めること」を第 1 位回答にしており、若者が公共交通を重視している。交通弱者への移動手段提供という視点だけではなく、若者は便利な生活や活発な交流を期待していることがうかがえる。

また、大須賀町では「バス、鉄道等の利便性を高めること」の割合が、他市町に比べて特に高く、地域期待の施策であることがうかがえた。

#### 自由解答欄（問 13）

「医療や福祉の充実」「南北道路の充実」「バスなどの公共交通の充実」「合併の枠組みを広げる」「効率的な行政運営の実現」「住民負担の軽減」等を求める意見が多く見られた。住民は産業振興よりも、安心できるまち、便利なまちを期待しており、さらにその一方で、効率的な行政運営を期待していることがうかがえた。



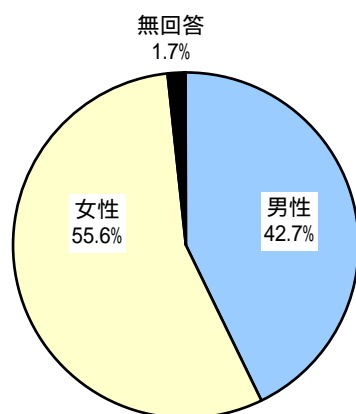
### 3 . 単純集計結果

単純集計とは、どの選択肢を何人が選んでいるのかを、質問ごとに単純に(質問を組み合わせないで)集計するもので、回答者全体に対し何人がその選択肢を選んだかを比率で示している。

## ( 1 ) 回答者の属性

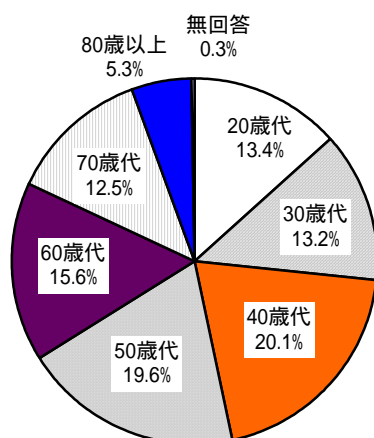
### 性別 ( 問 1 )

回答者の男女比は、男性が 42.7%、女性が 55.6%であった。



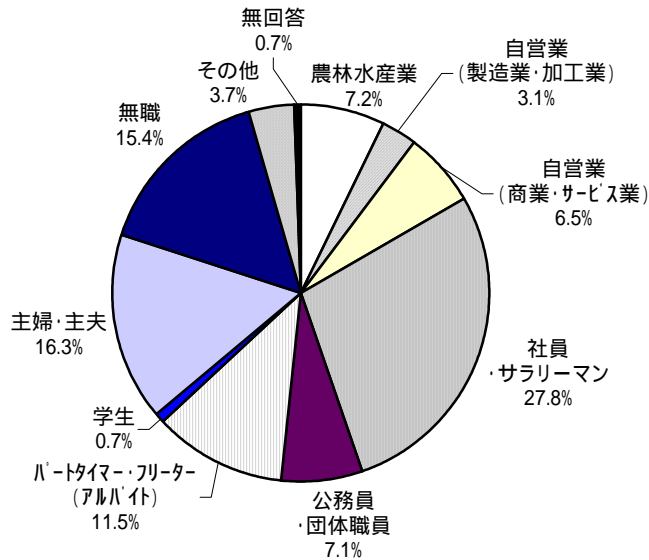
### 年齢 ( 問 2 )

回答者の年代は、40代が 20.1%と最も多く、次いで 50代が 19.6%と中年世代の回答が約 4 割を占める。



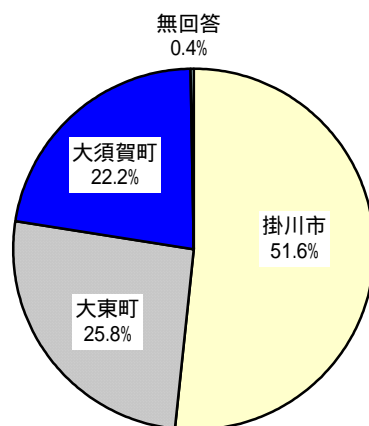
### 職業（問3）

回答者の職業は、「社員・サラリーマン」が最も多く 27.8%、次いで「主婦・主夫」が 16.3%、「無職」が 15.4%であった。



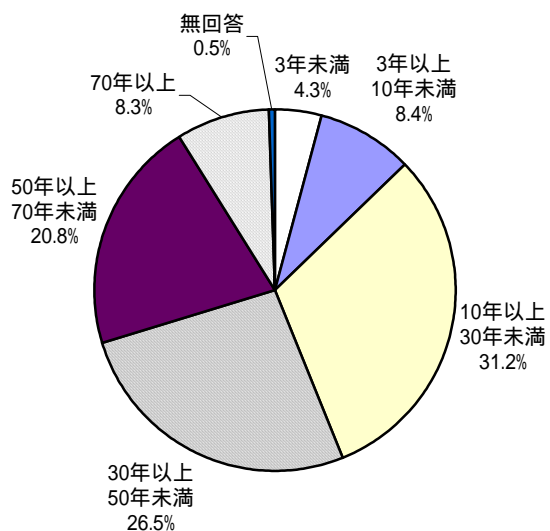
### 居住地（問4）

回答者を地域別にみると、「掛川市住民」が 51.6%と約半数を占め、次いで大東町が 25.8%、大須賀町が 22.2%であった。



## 居住年数（問５）

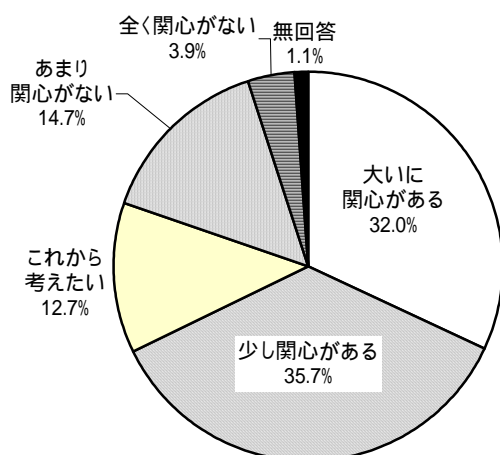
回答者の居住年数は、「10年以上30年未満」が最も多く、31.2%、次いで「30年以上50年未満」が26.5%、「50年以上70年未満」が20.8%であった。



## （２）合併に関する設問

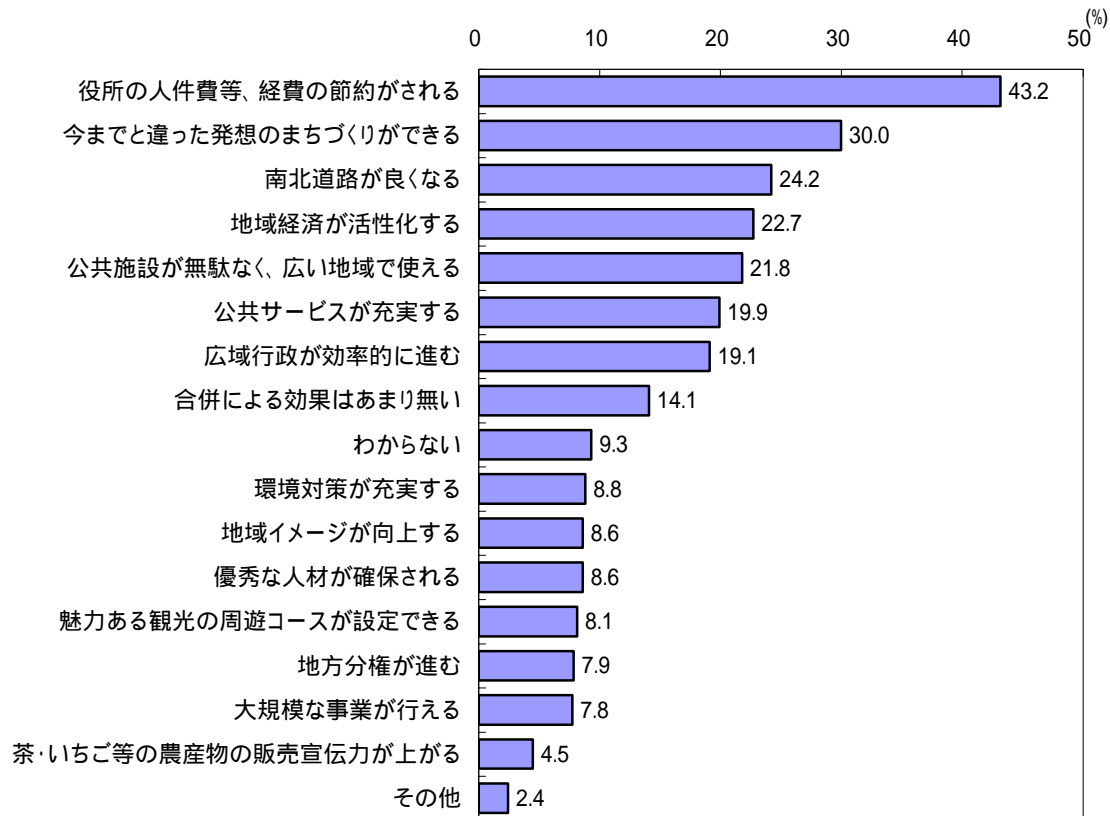
### 合併についての関心（問６）

「少し関心がある」が最も多く 35.7%、次いで「大いに関心がある」が 32.0%であった。両者で約 7 割を占め、住民は合併に関心があることがうかがえる。



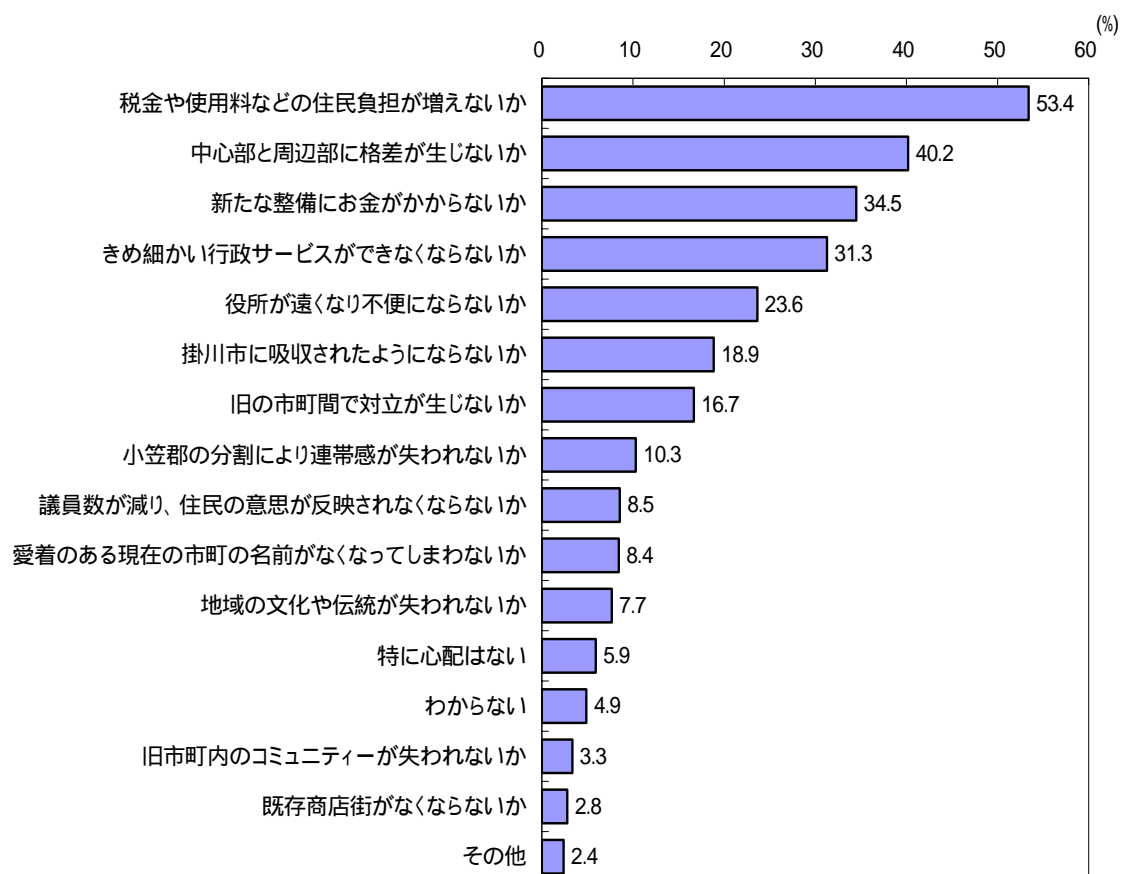
### 合併に期待する効果（問7 複数回答）

合併効果の期待は、「役所の人件費等、経費の節約がされる」（43.2％）が最も高く、行政の効率化に対する期待がうかがえる。次いで「今までと違った発想のまちづくりができる」（30.0％）、「南北道路が良くなる」（24.2％）、「地域経済が活性化する」（22.7％）、「公共施設が無駄なく、広い地域で使える」（21.8％）が上位となっている。



## 合併に対する心配（問8 複数回答）

合併に対する心配は、「税金や使用料などの住民負担が増えないか」（53.4%）が最も高く、次いで「中心部と周辺部に格差が生じないか」（40.2%）、「新たな整備にお金がかからないか」（34.5%）、「きめ細かい行政サービスができなくなるか」（31.3%）、「役所が遠くなり不便にならないか」（23.6%）が上位となっている。経済的側面と行政サービス後退に対する心配がうかがえる。



## 現状の行政サービスやまちづくりに対する満足度（問９）

### １）保健・健康づくり、医療体制

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は 32.2%、「やや不満」「不満」の否定的回答は 27.9%である。肯定的回答が上回る。

### ２）障害者・高齢者への福祉

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は 19.2%、「やや不満」「不満」の否定的回答は 30.4%である。否定的回答が上回る。

### ３）幼児教育・保育・子育て支援

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は 18.7%、「やや不満」「不満」の否定的回答は 24.7%である。否定的回答が上回る。

### ４）小中学校教育、高等教育

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は 20.7%、「やや不満」「不満」の否定的回答は 22.7%である。肯定的回答と否定的回答がほぼ拮抗している。

### ５）生涯学習

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は 26.3%、「やや不満」「不満」の否定的回答は 13.7%である。肯定的回答が上回る。

### ６）文化・芸術・地域の伝統歴史

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は 33.1%、「やや不満」「不満」の否定的回答は 13.4%である。他の項目に比べて、肯定的回答が大きく上回る。

### ７）スポーツ・レクリエーション

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は 26.6%、「やや不満」「不満」の否定的回答は 18.8%である。肯定的回答が上回る。

### ８）ごみ収集・処理、リサイクル

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は 47.8%、「やや不満」「不満」の否定的回答は 24.6%である。他の項目に比べて、肯定的回答割合が高く約 5 割を占める。

### ９）上水道

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は 36.1%、「やや不満」「不満」の否定的回答は 22.7%である。肯定的回答が上回る。

### １０）下水道・下水処理

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は 17.2%、「やや不満」「不満」の否定的回答は 35.1%である。他の項目に比べて、否定的回答が大きく上回る。

### １１）農業振興

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は 11.8%、「やや不満」「不満」の否定的回答は 13.1%である。肯定的回答と否定的回答がほぼ拮抗する。「どちらともいえない」「わからない」が約 7 割を占める。

12) 商業振興（中心市街地・地域商業、観光）

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は7.7%、「やや不満」「不満」の否定的回答は43.1%である。他の項目に比べて、否定的回答が大きく上回る。

13) 工業振興（基盤整備、工場誘致）

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は14.6%、「やや不満」「不満」の否定的回答は24.2%である。否定的回答が上回る。

14) 公共交通（バス、鉄道等）

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は20.2%、「やや不満」「不満」の否定的回答は49.9%である。他の項目に比べて、否定的回答が最も高い。

15) 道路、交通安全

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は19.0%、「やや不満」「不満」の否定的回答は44.6%である。他の項目に比べて、否定的回答が大きく上回る。

16) 公園・緑地

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は27.1%、「やや不満」「不満」の否定的回答は34.4%である。否定的回答が上回る。

17) 街並み・景観

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は25.2%、「やや不満」「不満」の否定的回答は24.3%である。肯定的回答と否定的回答がほぼ拮抗している。

18) 防災施設・体制、防犯対策

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は18.1%、「やや不満」「不満」の否定的回答は25.5%である。否定的回答が上回る。

19) 情報通信基盤

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は12.4%、「やや不満」「不満」の否定的回答は25.5%である。否定的回答が上回る。

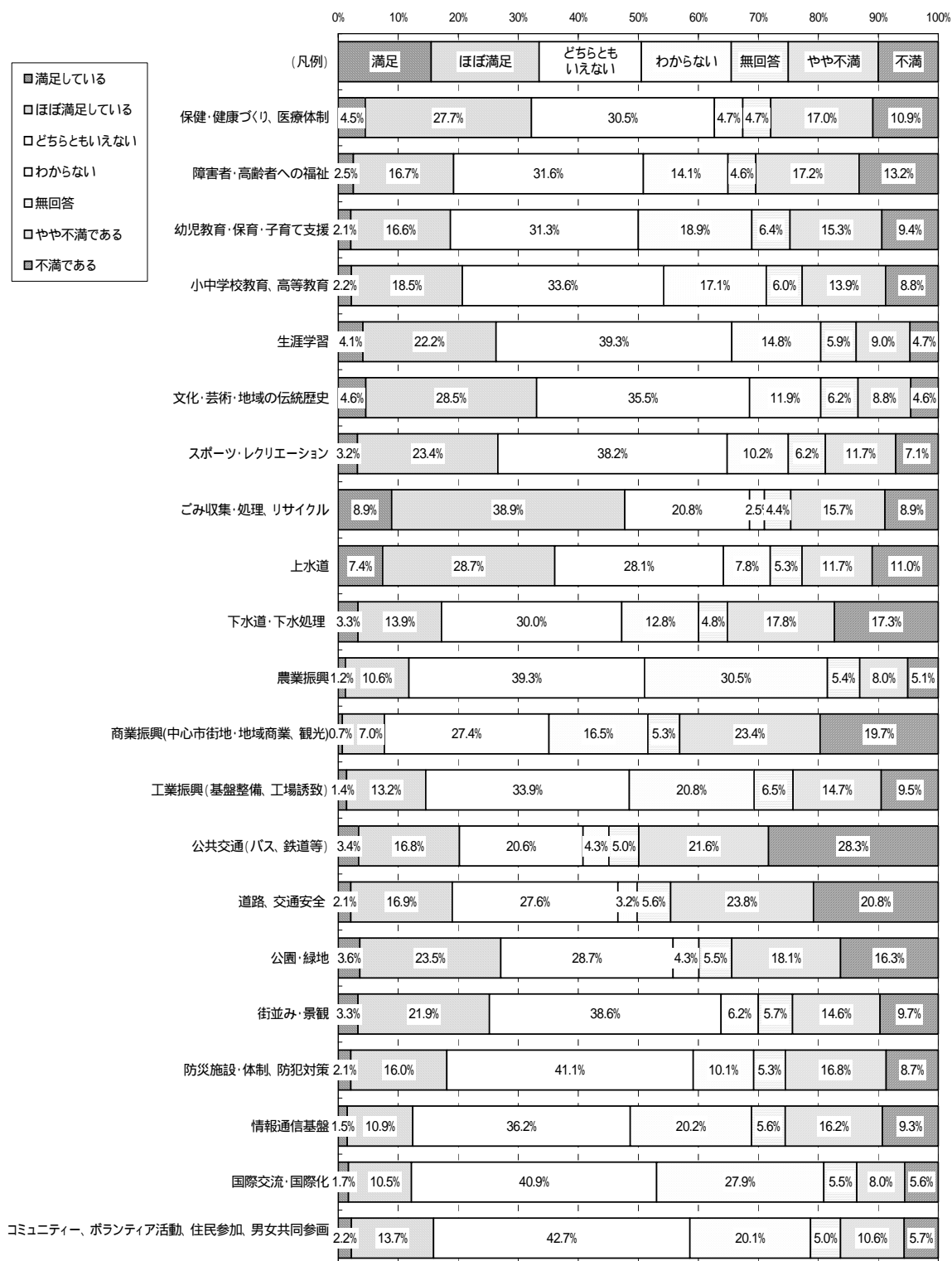
20) 国際交流・国際化

「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は12.2%、「やや不満」「不満」の否定的回答は13.6%である。肯定的回答と否定的回答がほぼ拮抗している。「どちらともいえない」「わからない」が約7割を占める。

21) コミュニティー、ボランティア活動、住民参加、男女共同参画

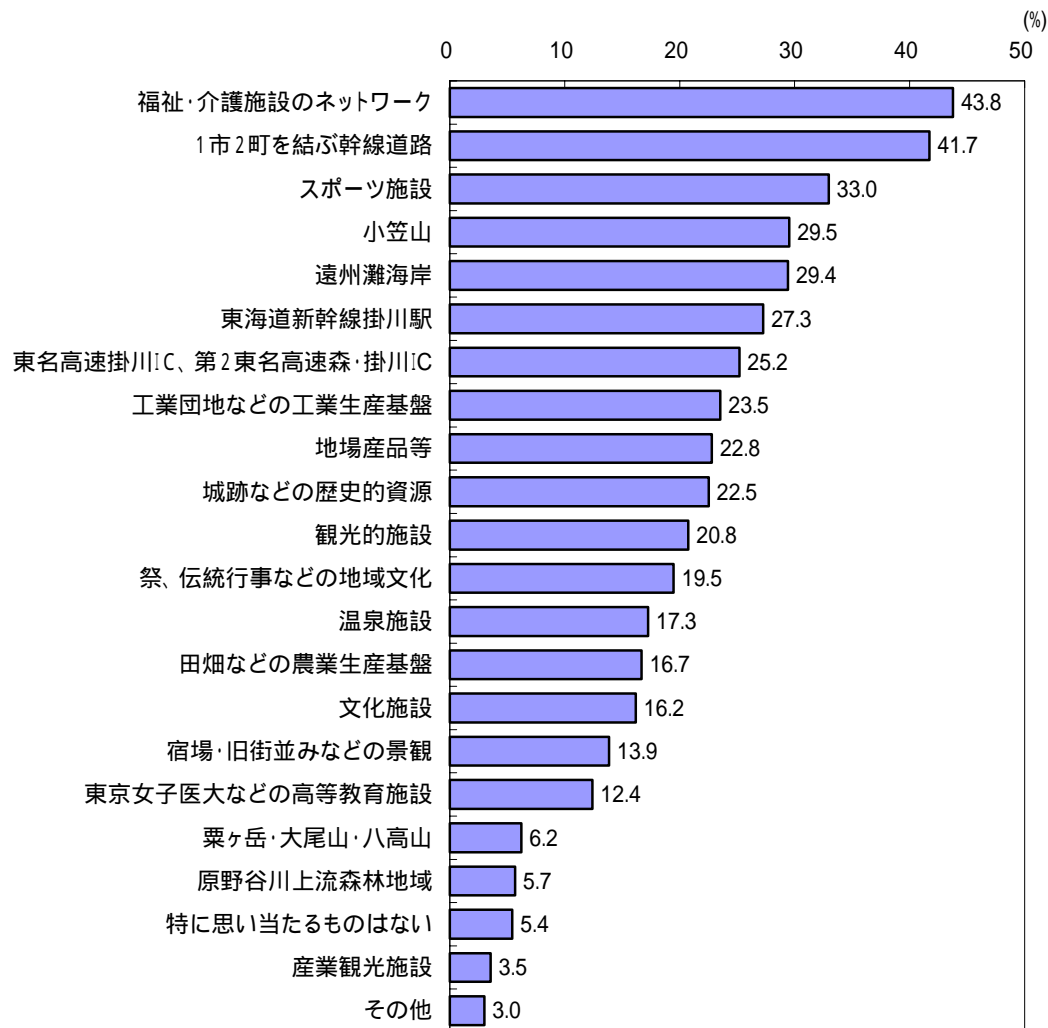
「満足」「ほぼ満足」の肯定的回答は15.9%、「やや不満」「不満」の否定的回答は16.3%である。肯定的回答と否定的回答がほぼ拮抗している。





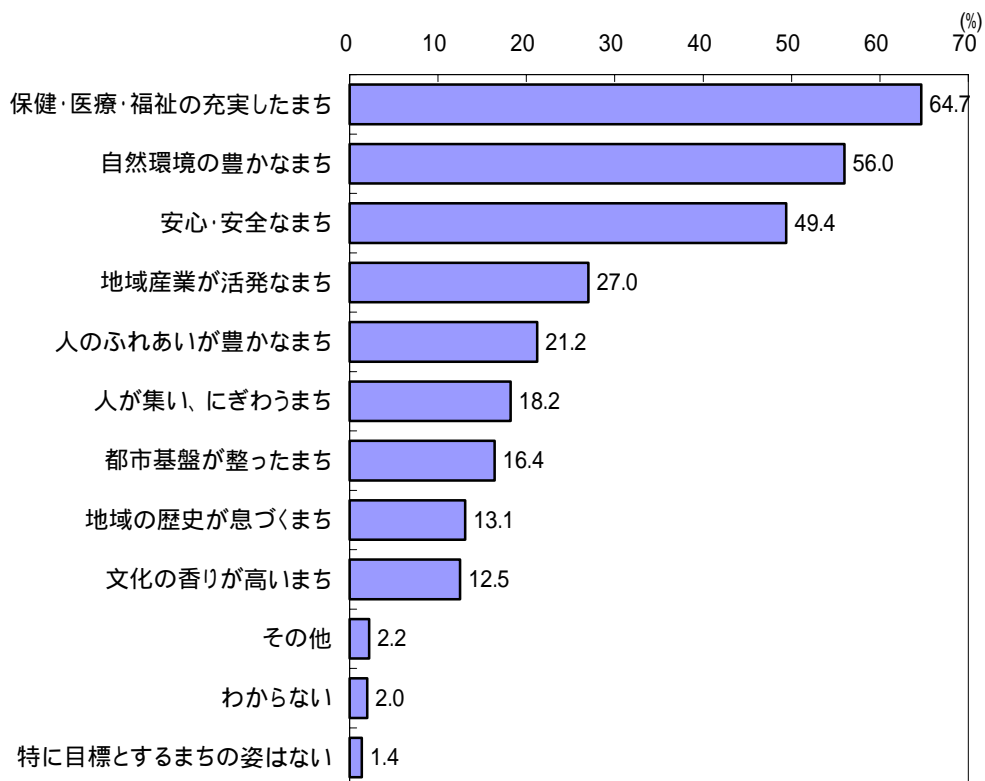
### 新都市のまちづくりに積極的に活用していくべき資源（問 10 複数回答）

まちづくりに活用すべき資源は、「福祉・介護施設のネットワーク」（43.8%）「1市2町を結ぶ幹線道路」（41.7%）「スポーツ施設」（33.0%）が上位を占め、既存施設を積極的に新市のまちづくりに活かす意向がうかがえる。この他「小笠山」（29.5%）「遠州灘」（29.4%）といった自然環境の活用の意向もうかがえる。



### 新都市の望ましい姿（問 11 複数回答）

新都市の望ましい姿は、「保健・医療・福祉の充実したまち」（64.7％）が最も高い。次いで「自然環境の豊かなまち」（56.0％）、「安心・安全なまち」（49.4％）が上位を占める。



### 優先的に取り組むべき施策（問 12 複数回答）

合併した場合、優先的に取り組むべき施策は、「医療や福祉の充実を図ること」(53.9%)が最も高く、問 11 の新市の望ましい姿と同一テーマが選択されている。この他「バス、鉄道等の利便性を高めること」(33.5%)、「行政組織の合理化や財政の健全化を図ること」(33.4%)、「道路を良くすること」(32.3%)、「大地震などの災害に備えること」(30.0%)が上位を占める。



## 4 . クロス集計結果

クロス集計とは、2 つの質問項目を“クロス”(組み合わせ)して集計し、質問間の相互の関係を明らかにするものであり、回答の内容をより詳細に分析したものである。

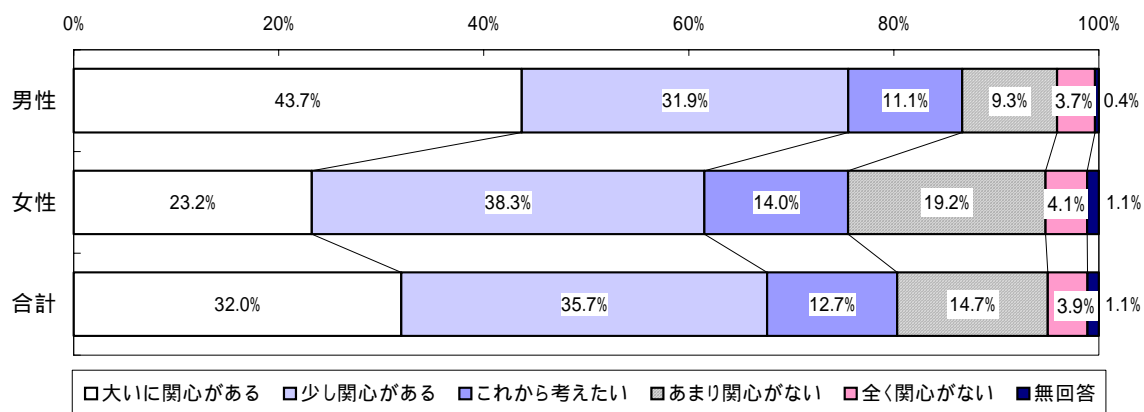
例としては、各質問に対してさらに男女別、年齢別に集計を行うなどがあげられる。

本調査においては、性別、年齢、職業、居住地、居住年数を基本項目としてクロス集計を行い、特徴的なものについて記載している

## ( 1 ) 男女別クロス集計結果

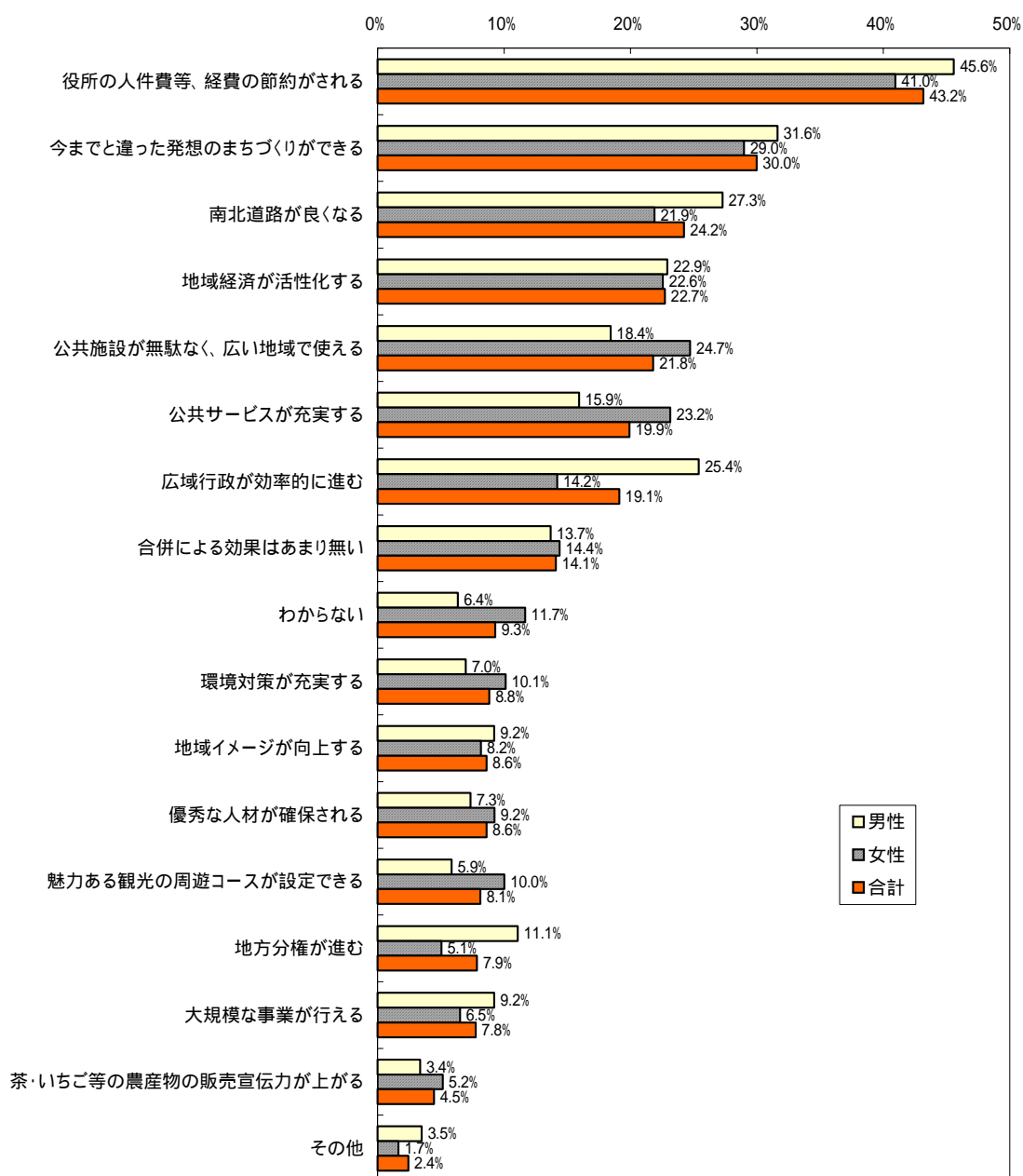
### 合併についての関心 ( 問 6 )

男性は「大いに関心がある」( 43.7% ) が第 1 位回答、次いで「少し関心がある」( 31.9% ) と両者を合計した回答の割合は 75.6% である。これに対して女性は「少し関心がある」( 38.3% ) が第 1 位回答、「大いに関心がある」( 23.2% ) とであり、男性よりも女性の関心が低いことがうかがえる。



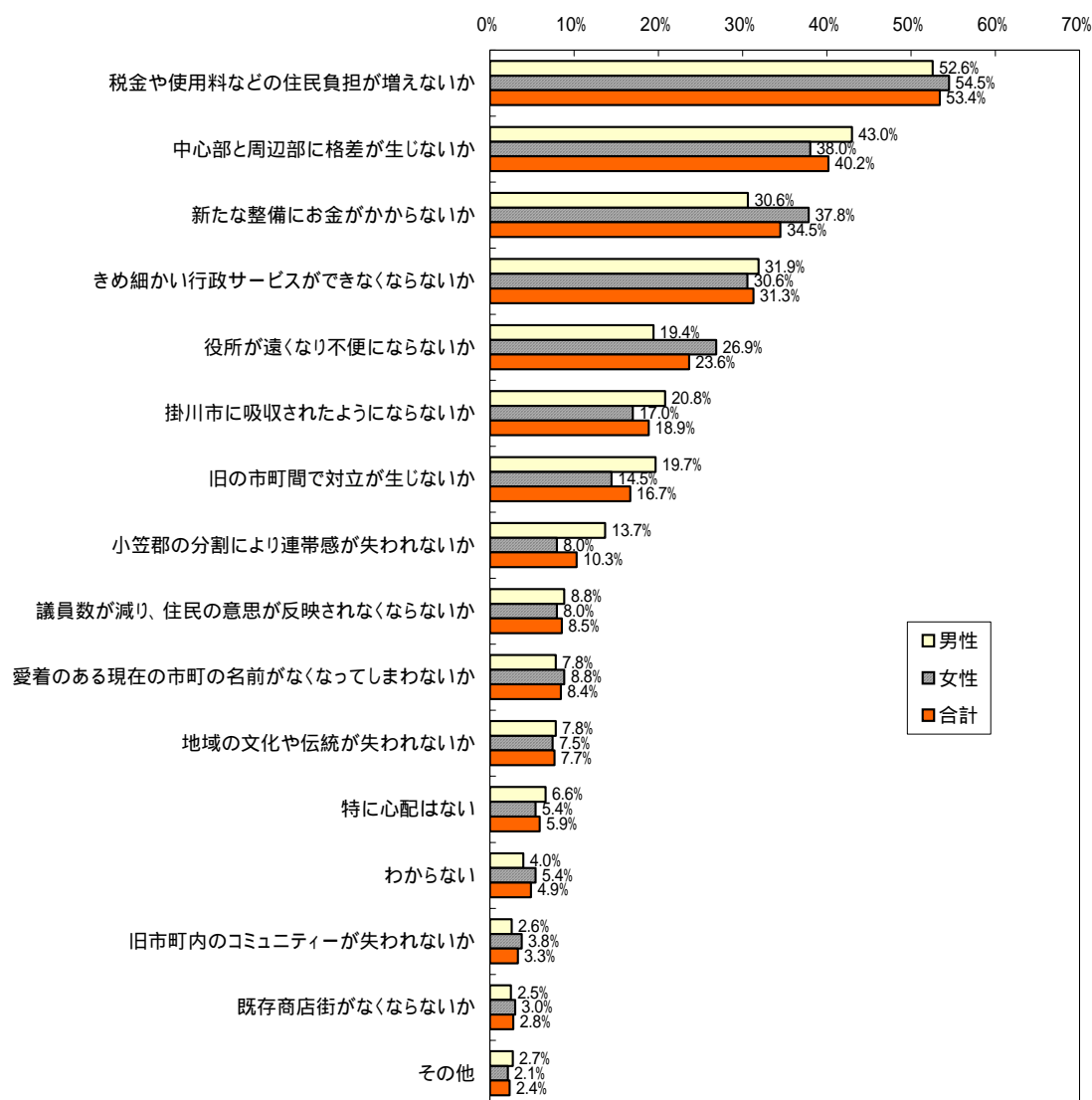
## 合併に期待する効果（問7 複数回答）

男性は「役所の人件費等、経費の節約がされる」（45.6％）が第1位回答、次いで「今までと違った発想のまちづくりができる」（31.6％）、「南北道路が良くなる」（27.3％）が上位回答である。女性も「役所の人件費等、経費の節約がされる」（41.0％）が第1位回答、次いで「今までと違った発想のまちづくりができる」（29.0％）が第2位回答であるが、第3位回答は「公共施設が無駄なく、広い地域で使える」（24.7％）と違いがうかがえる。



## 合併に対する心配（問8 複数回答）

男女とも第1位回答は「税金や使用料などの住民負担が増えないか」（男性 52.6%、女性 54.5%）第2位回答が「中心部と周辺部に格差が生じないか」（男性 43.0%、女性 38.0%）である。しかし、第3位回答は、男性が「きめ細かい行政サービスができなくなるか」（31.9%）に対して、女性は「新たな整備にお金がかからないか」（37.8%）と、違いがうかがえる。





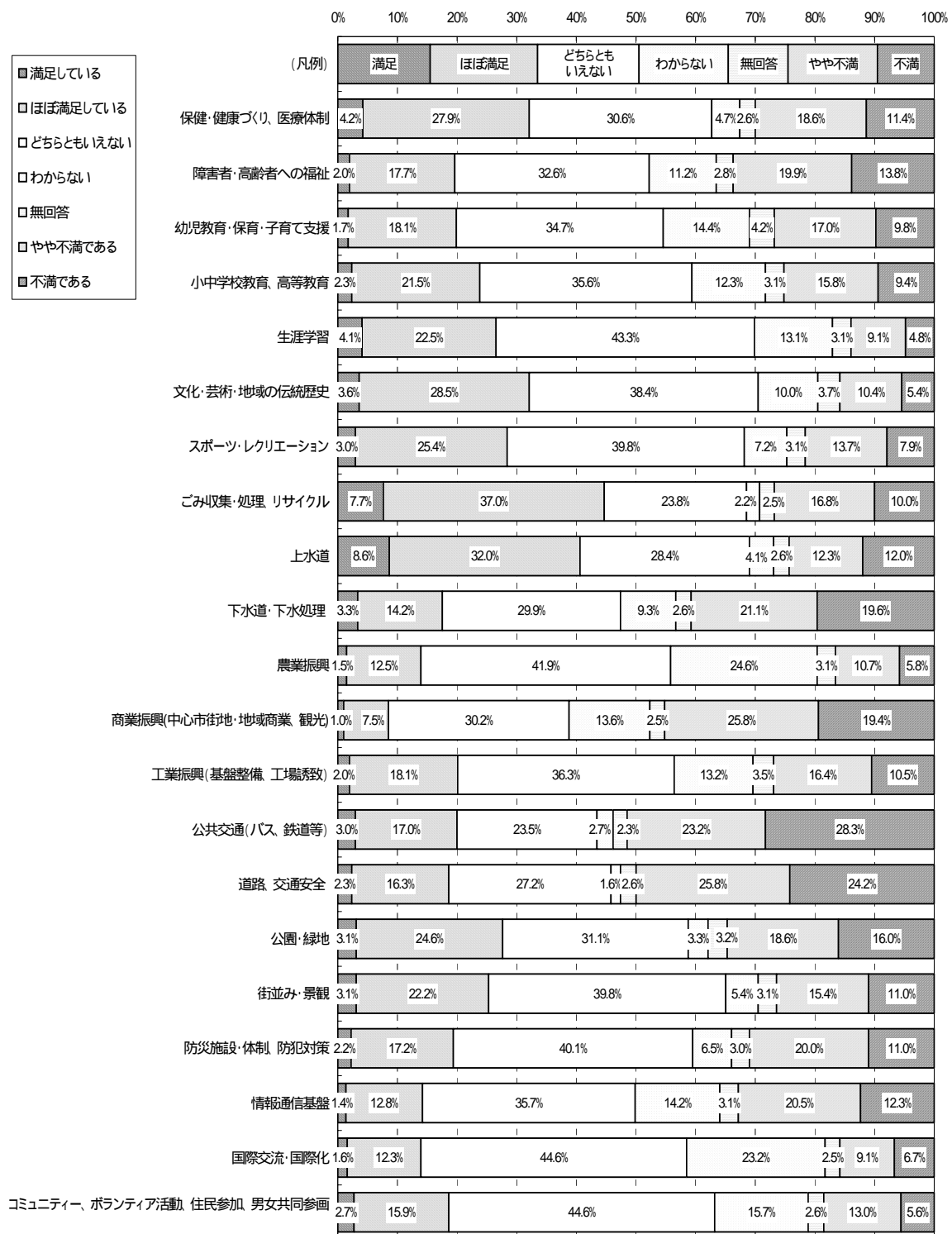
## 現状の行政サービスやまちづくりに対する満足度（問９）

- 1) 保健・健康づくり、医療体制  
男女差はほとんどみられず、肯定的回答が上回る。
- 2) 障害者・高齢者への福祉  
男女差はほとんどみられず、否定的回答が上回る。
- 3) 幼児教育・保育・子育て支援  
男女差はほとんどみられず、否定的回答が上回る。
- 4) 小中学校教育、高等教育  
男女差はほとんどみられず、肯定的回答と否定的回答がほぼ拮抗する。
- 5) 生涯学習  
男女差はほとんどみられず、肯定的回答が上回る。
- 6) 文化・芸術・地域の伝統歴史  
男女差はほとんどみられず、肯定的回答が上回る。
- 7) スポーツ・レクリエーション  
男女とも肯定的回答が上回る。男性の方が否定的割合が高い。
- 8) ごみ収集・処理、リサイクル  
男女とも肯定的回答が上回る。女性の方が肯定的割合が高い。
- 9) 上水道  
男女差はほとんどみられず、肯定的回答が上回る。
- 10) 下水道・下水処理  
男女差はほとんどみられず、否定的回答が上回る。
- 11) 農業振興  
男女とも「どちらともいえない」「わからない」が7割を占める。男性の方が否定的割合が高い。
- 12) 商業振興（中心市街地・地域商業、観光）  
男女差はほとんどみられず、否定的回答が上回る。
- 13) 工業振興（基盤整備、工場誘致）  
男女とも否定的回答が上回る。男性の方が肯定的割合が高い。
- 14) 公共交通（バス、鉄道等）  
男女差はほとんどみられず、否定的回答が上回る。
- 15) 道路、交通安全  
男女差はほとんどみられず、否定的回答が上回る。
- 16) 公園・緑地  
男女差はほとんどみられず、否定的回答が上回る。
- 17) 街並み・景観  
男女差はほとんどみられず、肯定的回答と否定的回答がほぼ拮抗する。
- 18) 防災施設・体制、防犯対策  
男女とも否定的回答が上回る。男性の方が否定的割合が高い。
- 19) 情報通信基盤  
男女とも否定的回答が上回る。男性の方が否定的割合が高い。
- 20) 国際交流・国際化  
男女とも「どちらともいえない」「わからない」が7割を占める。男性の方が否定的割合が高い。

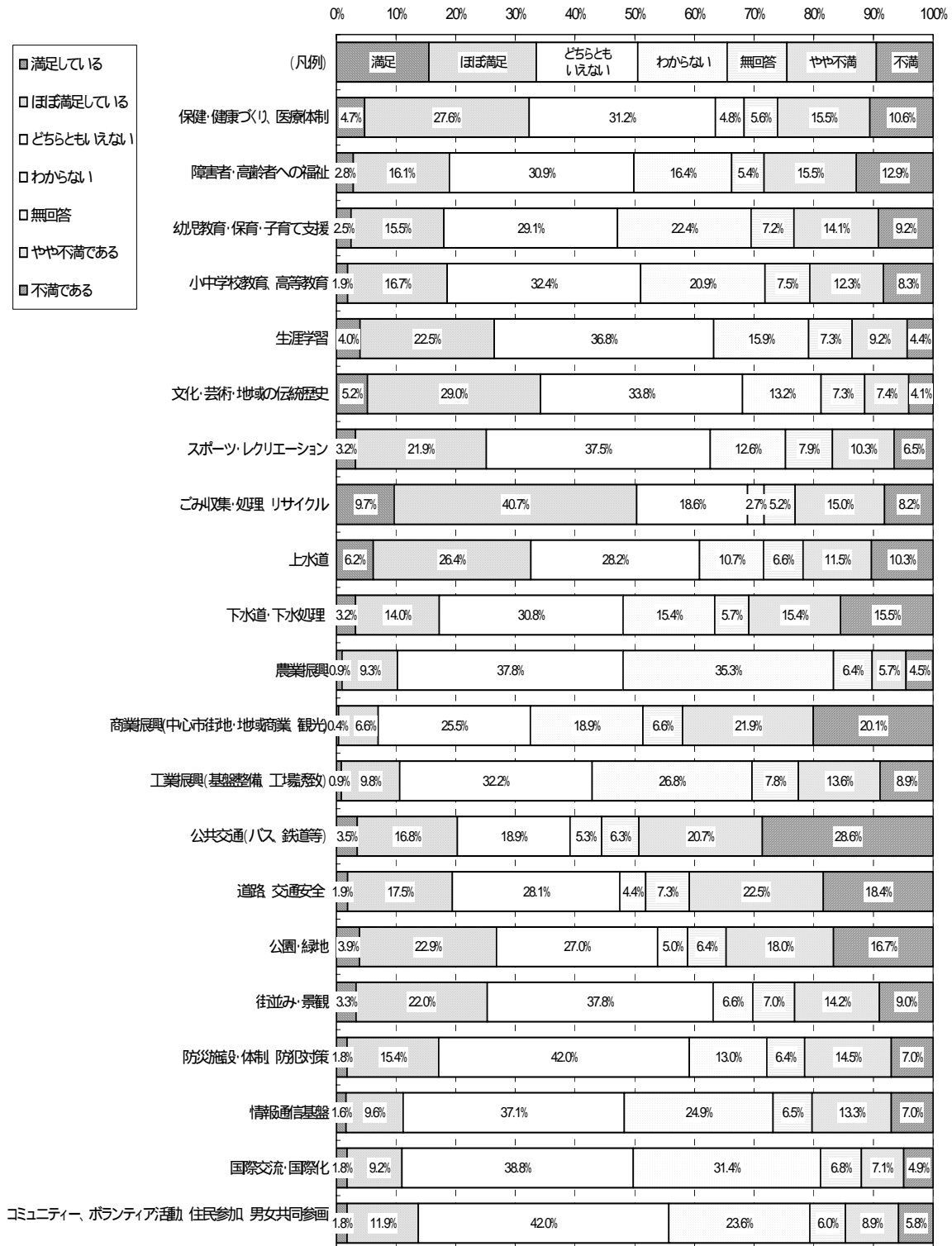
## 21) コミュニティー、ボランティア活動、住民参加、男女共同参画

男女差はほとんどみられず、肯定的回答と否定的回答がほぼ拮抗する。

### 【男性】



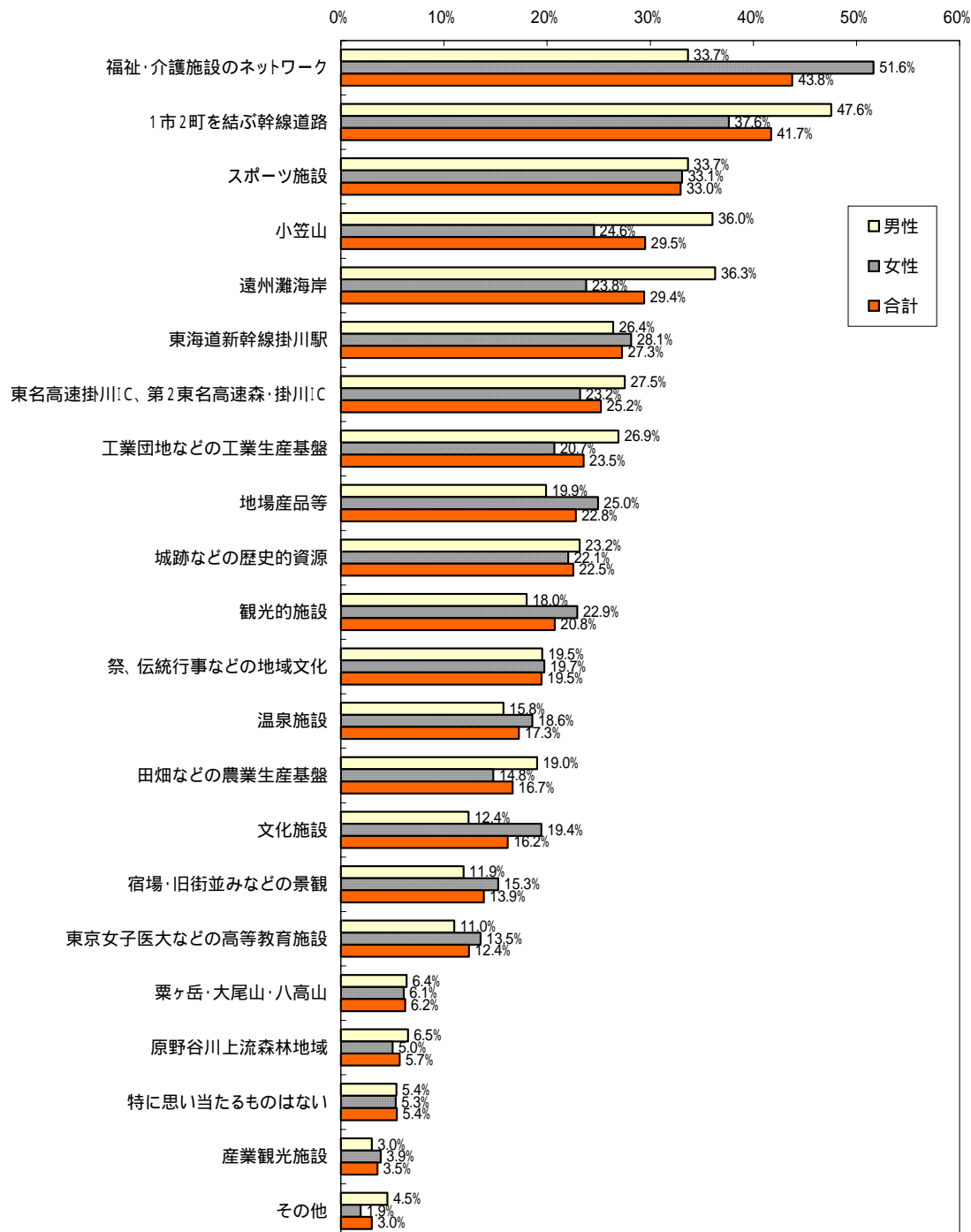
## 【女性】



## 新都市のまちづくりに積極的に活用していくべき資源（問10 複数回答）

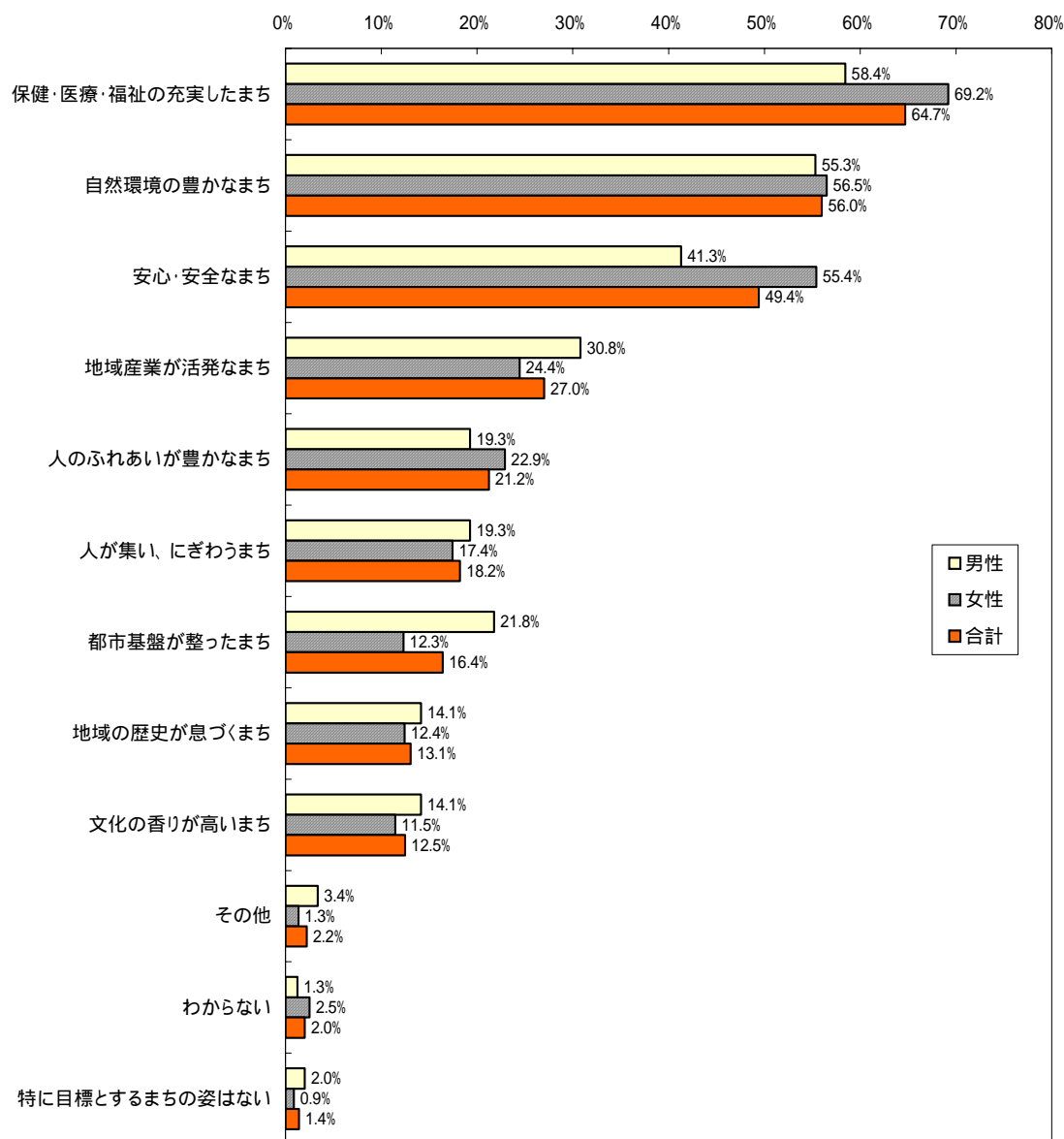
男性は「1市2町を結ぶ幹線道路」（47.6％）が第1位回答であり、次いで「遠州灘海岸」（36.3％）、「小笠山」（36.0％）と、道路と自然が上位を占める。

一方女性では「福祉・介護施設のネットワーク」（51.6％）が第1位回答であり、次いで「1市2町を結ぶ幹線道路」（37.6％）、「スポーツ施設」（33.1％）が上位である。



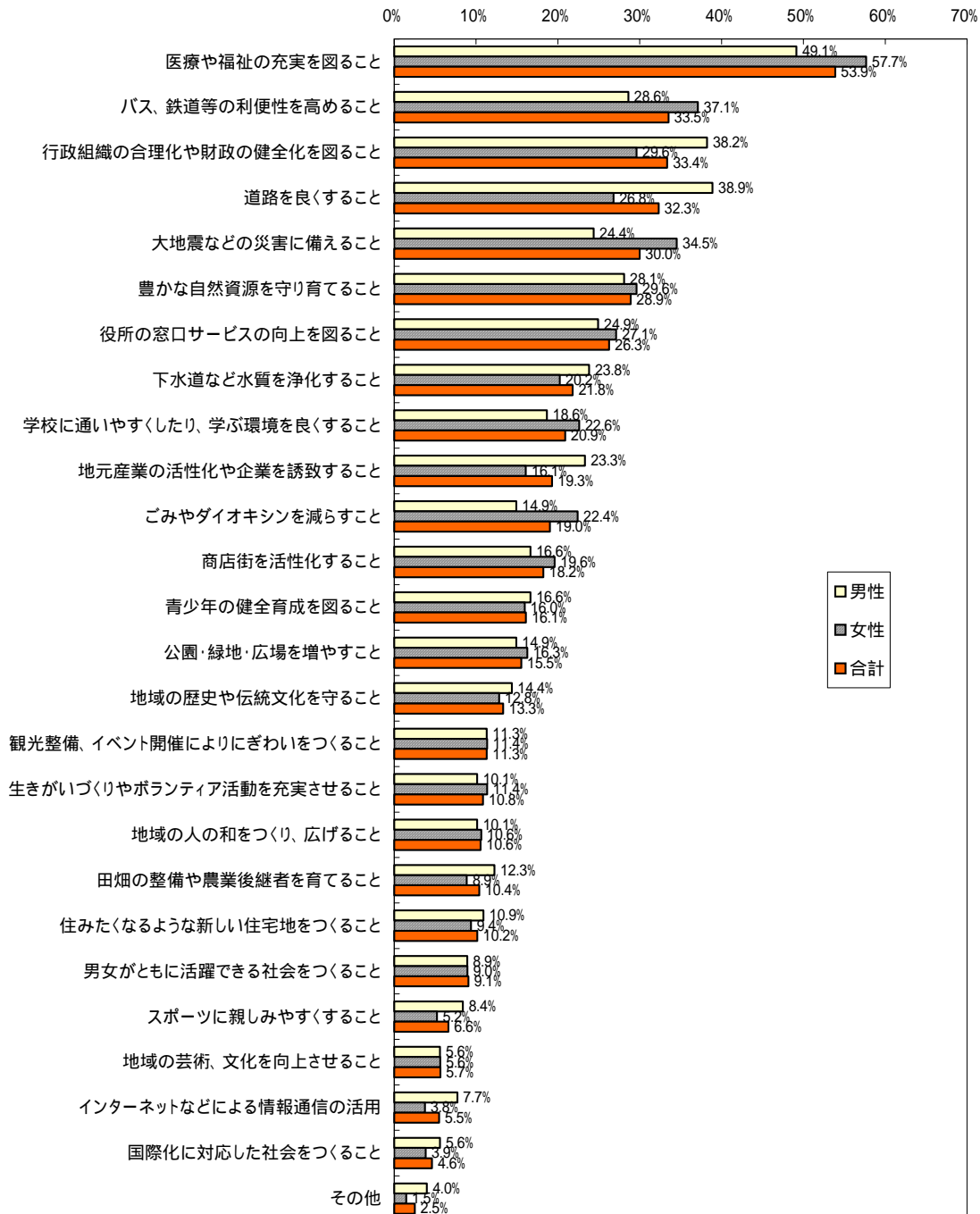
## 新都市の望ましい姿（問 11 複数回答）

男女とも上位回答は同じであり、第 1 位回答は「保健・医療・福祉の充実したまち」（男性 58.4%、女性 69.2%）、第 2 位回答が「自然環境の豊かなまち」（男性 55.3%、女性 56.5%）、第 3 位回答は「安心・安全なまち」（男性 41.3%、女性 55.4%）であった。



## 優先的に取り組むべき施策（問 12 複数回答）

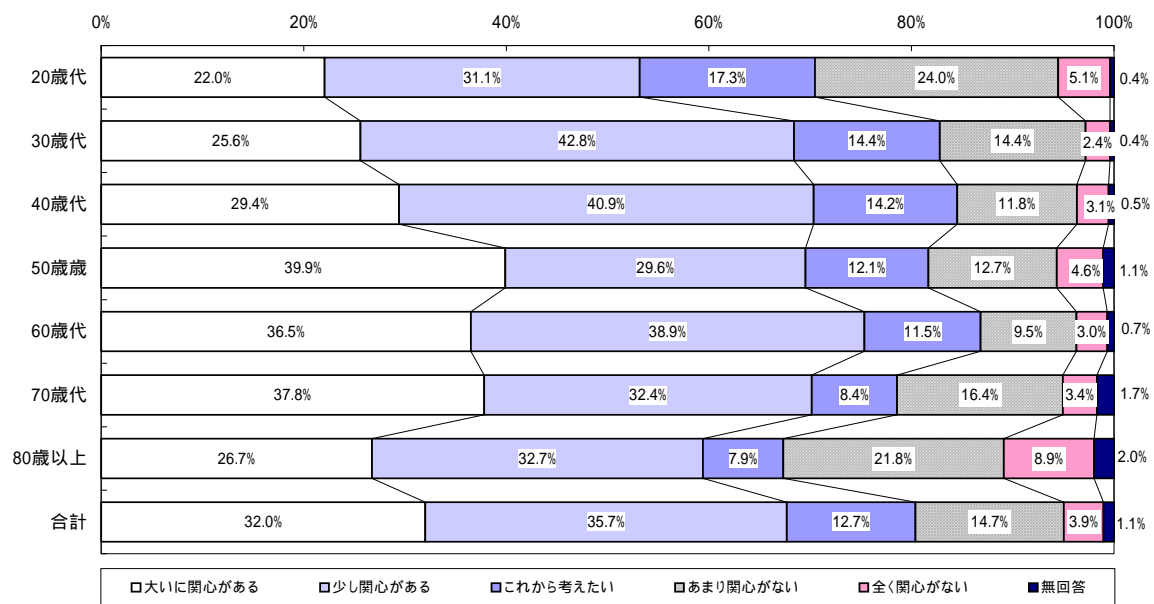
男女ともに第1位回答は「医療や福祉の充実を図ること」（男性 49.1%、女性 57.7%）であった。男性の第2位回答は「道路を良くすること」（38.9%）、第3位回答は「行政組織の合理化や財政の健全化を図ること」（38.2%）であった。一方女性の第2位回答は「バス、鉄道等の利便性を高めること」（37.1%）、第3位回答は「大地震などの災害にそなえること」（34.5%）であった。



## ( 2 ) 年齢別クロス集計結果

### 合併についての関心 ( 問 6 )

合併について「大いに関心がある」割合が高い年代は 50 歳代、次いで 70 歳代である。一方、「全く関心がない」「あまり関心がない」という無関心の割合が高い年代は 80 歳以上と 20 歳代である。

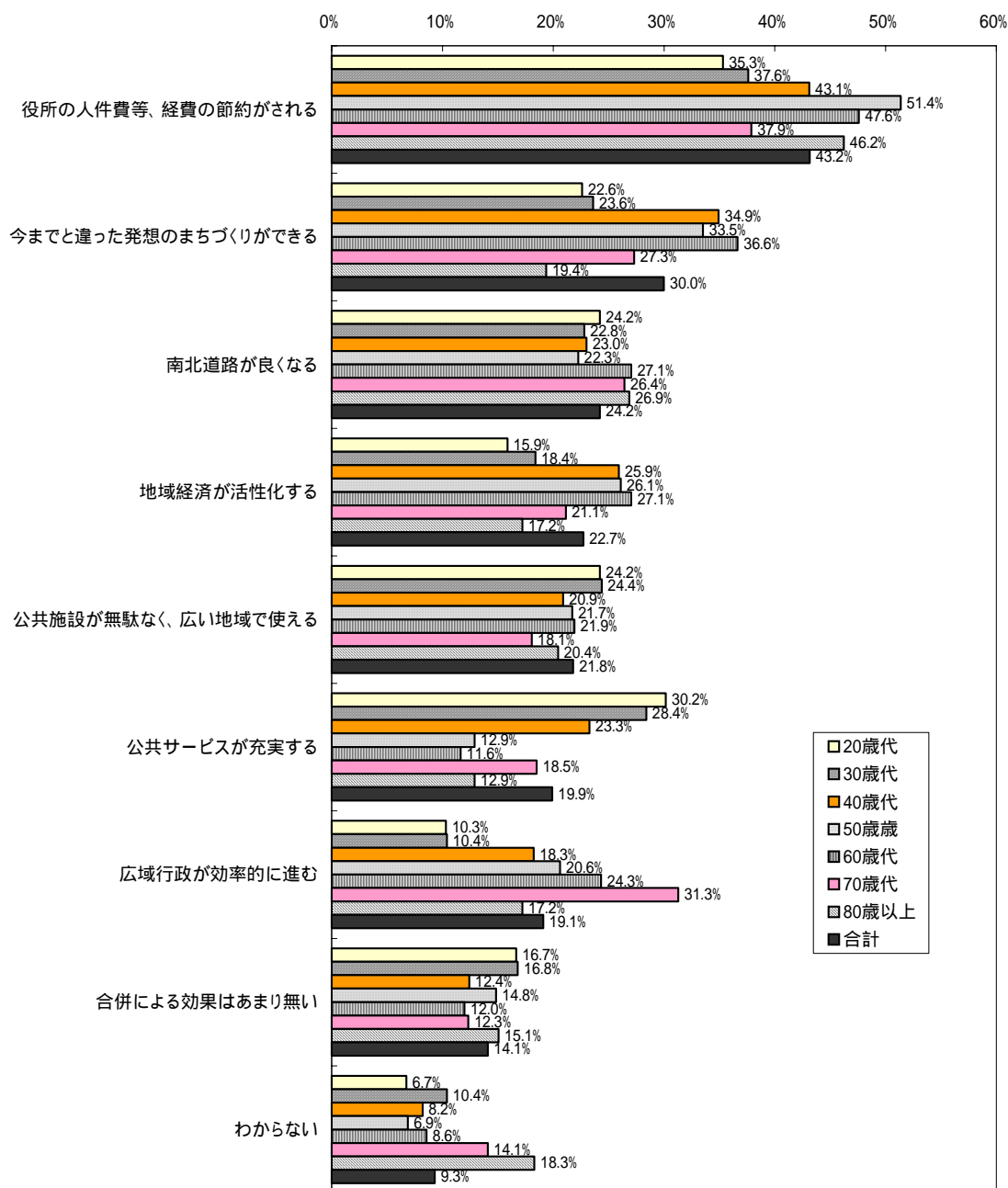


## 合併に期待する効果（問7 複数回答）

「役所の人件費等、経費の節約がされる」どの年代でも第1位回答である。20歳代、30歳代では第2位回答が「公共サービスが充実する」、第3位回答が「公共施設が無駄なく、広い地域で使える」であり、サービス向上と効率化が期待されている。

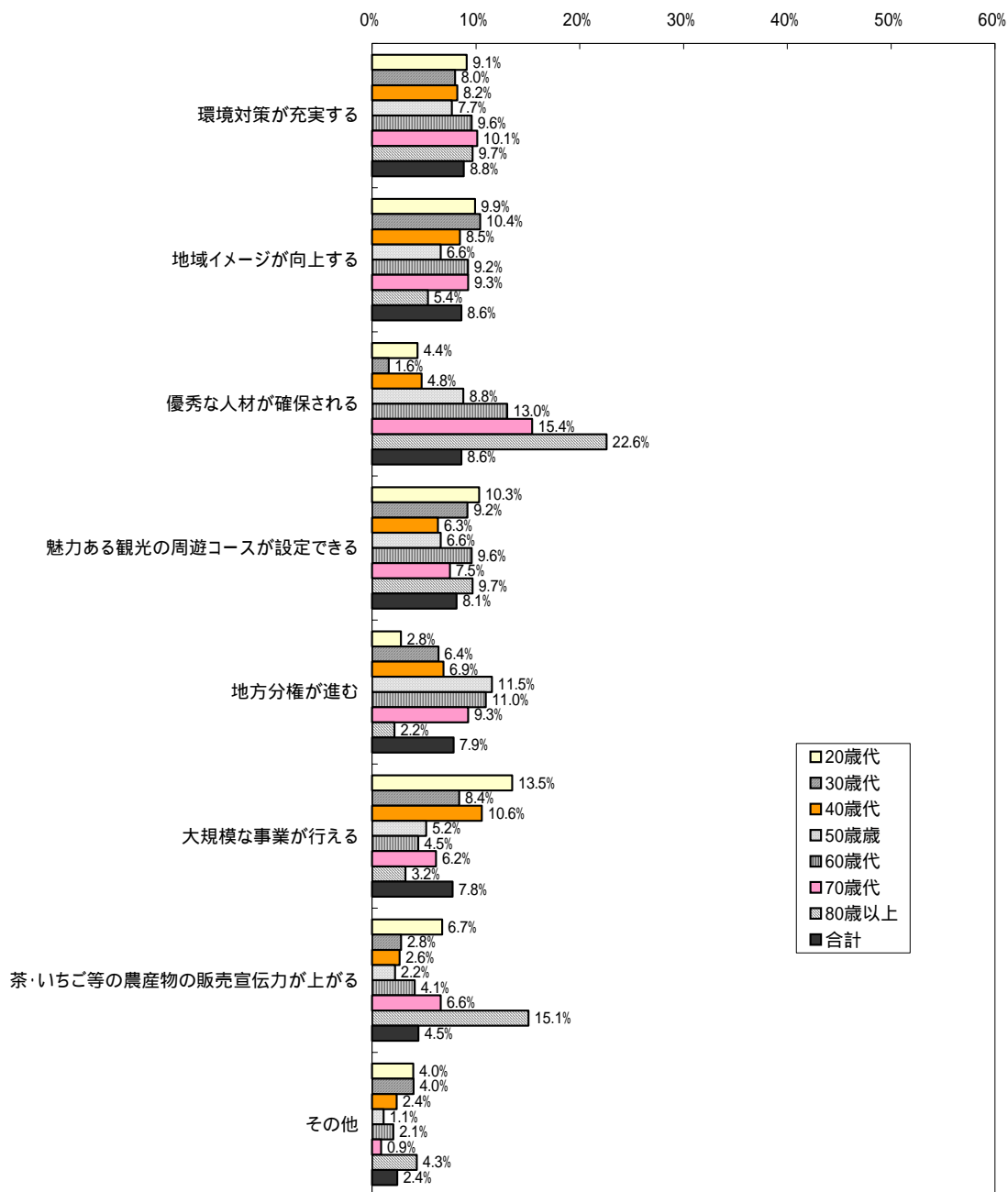
一方、40歳代、50歳代、60歳代の第2位回答は「今までと違った発想のまちづくりができる」、第3位回答は「地域経済が活性化する」であり、経済的效果に対する期待がうかがえる。

（その1）





( その 2 )

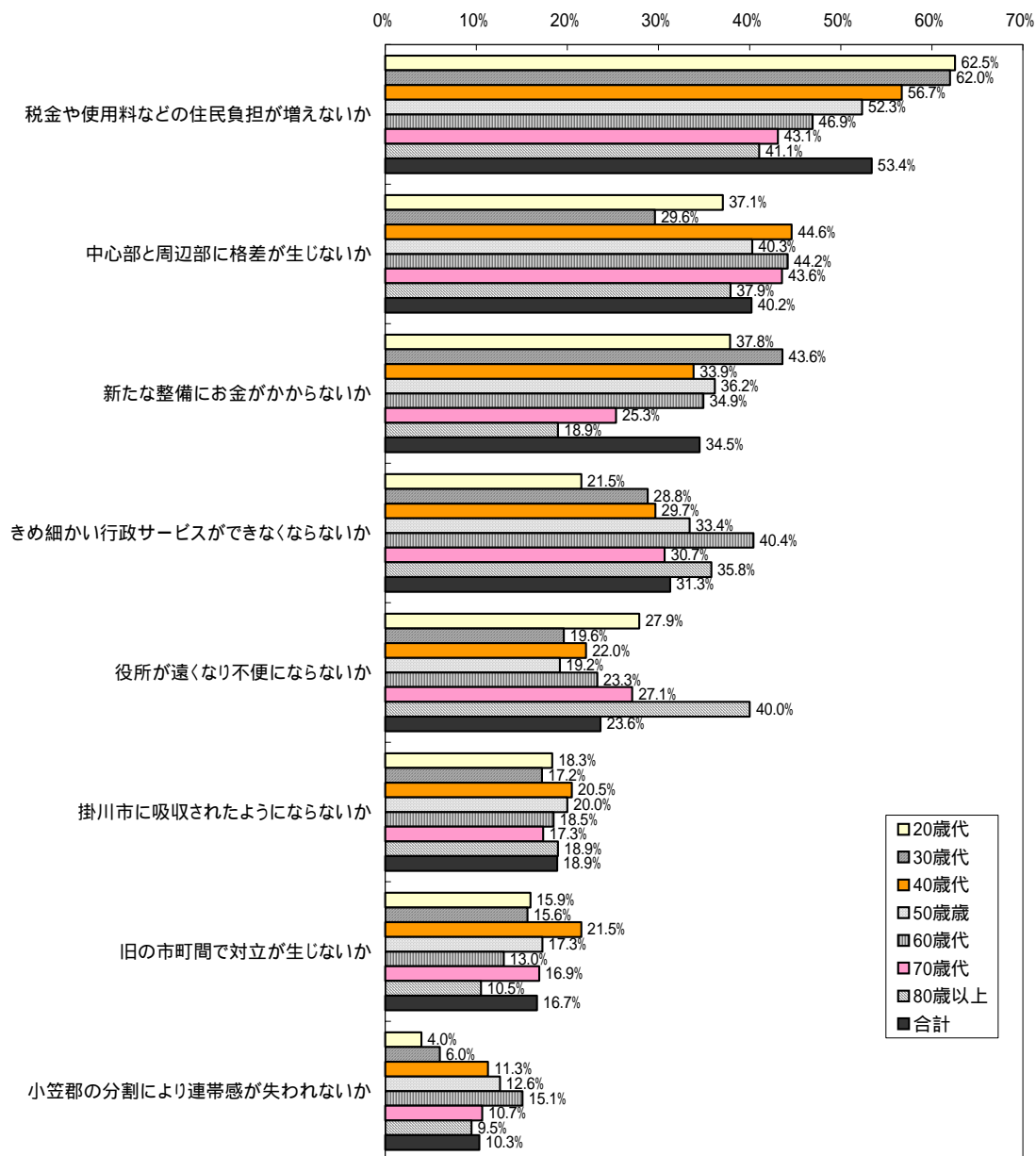


## 合併に対する心配（問8 複数回答）

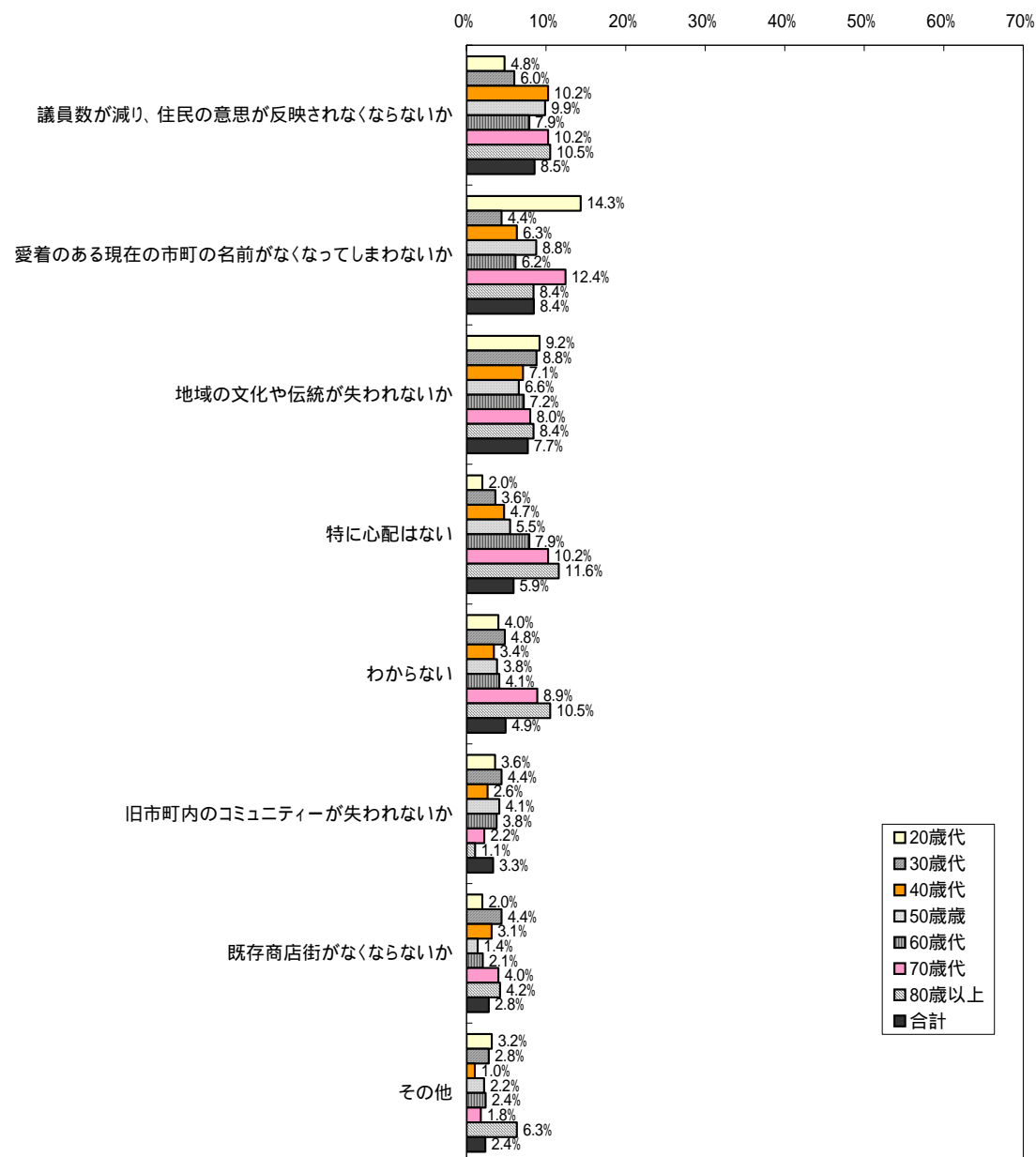
20 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代の合併に対する心配は、「税金や使用料などの住民負担が増えないか」「新たな整備にお金がかからないか」「中心部と周辺部に格差が生じないか」が上位3位となり、経済面や地域格に対する心配がうかがえる。

60 歳代、70 歳代の合併に対する心配は、「税金や使用料などの住民負担が増えないか」「中心部と周辺部に格差が生じないか」に次いで、「きめ細かい行政サービスができなくなるか」が第3位回答となる。さらに80 歳以上では「役所が遠くなり不便にならないか」が第2位回答となり、年齢が上昇するにつれて、サービスや利便性後退に対する心配がうかがえる。

（その1）



( その 2 )



## 現状の行政サービスやまちづくりに対する満足度（問９）

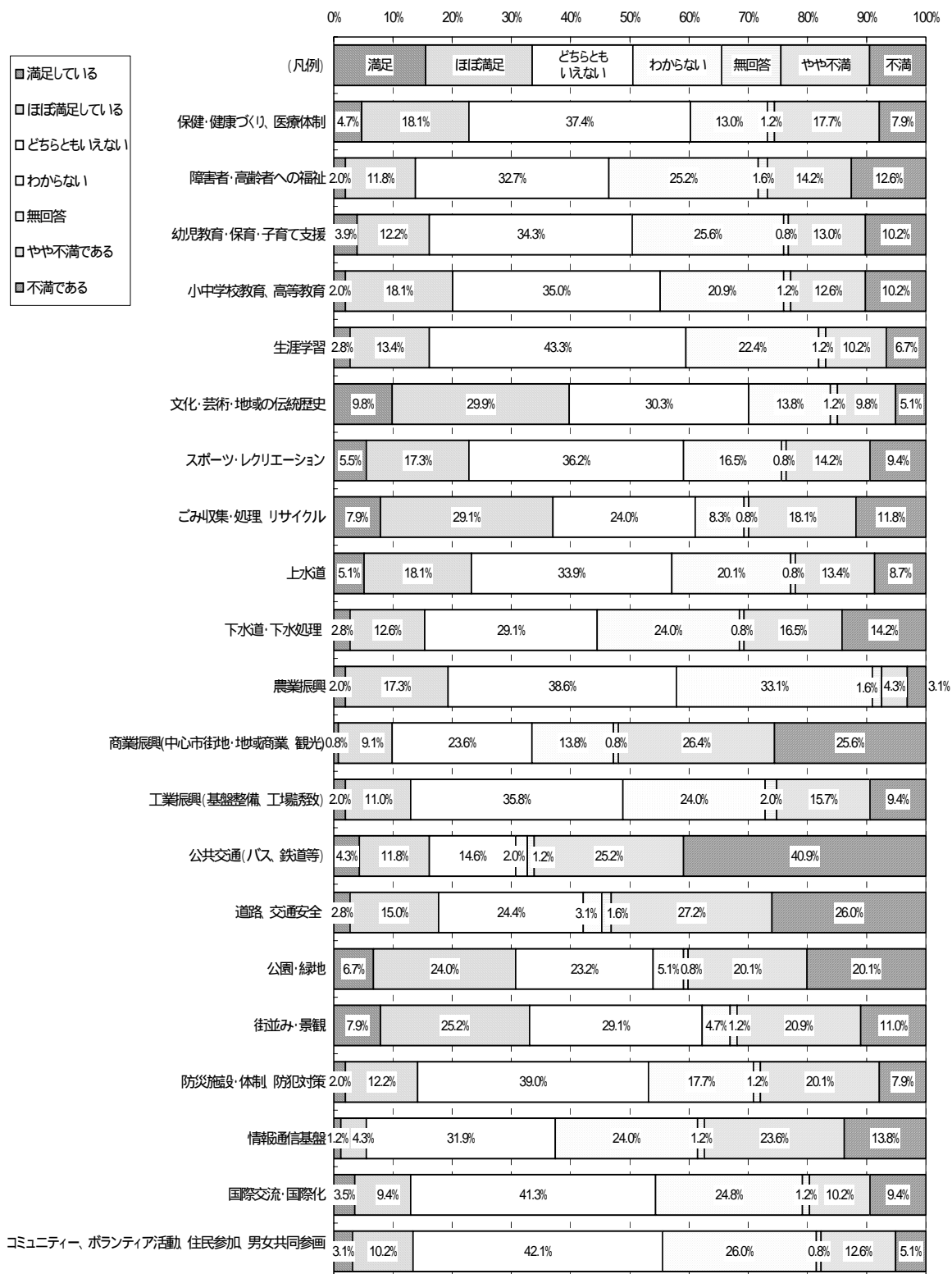
- 1) 保健・健康づくり、医療体制  
年代が高くなるほど、肯定的回答の割合が高くなる。
- 2) 障害者・高齢者への福祉  
年代が高くなるほど、肯定的回答の割合が高くなる。
- 3) 幼児教育・保育・子育て支援  
子育て年代である 30 歳代は、否定的回答割合が 4 割を超える。
- 4) 小中学校教育、高等教育  
他の年代に比べて、30 歳代、40 歳代の否定的回答割合が高い。
- 5) 生涯学習  
年代が高くなるほど、肯定的回答の割合が高くなる。
- 6) 文化・芸術・地域の伝統歴史  
他の年代に比べて、20 歳代は「満足している」割合が高い。
- 7) スポーツ・レクリエーション  
30 歳代は肯定的回答割合が低く、同時に否定的回答割合が高い。
- 8) ごみ収集・処理、リサイクル  
60 歳代以上の年代では肯定的回答割合が高く、否定的回答割合が低い。
- 9) 上水道  
年代が高くなるほど、肯定的回答の割合が高くなる。
- 10) 下水道・下水処理  
40 歳代から 60 歳代では、否定的回答割合が高い。
- 11) 農業振興  
すべての年代で「どちらともいえない」「わからない」が 7 割を占める。
- 12) 商業振興（中心市街地・地域商業、観光）  
20 歳代、30 歳代、40 歳代は、否定的回答割合が 5 割を超える。
- 13) 工業振興（基盤整備、工場誘致）  
40 歳代が、最も否定的回答割合が高い。
- 14) 公共交通（バス、鉄道等）  
若い世代ほど、否定的回答割合が高い。20 歳代は否定的回答が 6 割を超える。
- 15) 道路、交通安全  
20 歳代、30 歳代、40 歳代は、否定的回答割合が 5 割を占める。
- 16) 公園・緑地  
30 歳代が、最も否定的回答割合が高い。
- 17) 街並み・景観  
20 歳代が最も肯定的回答割合が高い。
- 18) 防災施設・体制、防犯対策  
20 歳代から 50 歳代にかけて、否定的回答割合が高い。
- 19) 情報通信基盤  
若い年代ほど、肯定的回答割合が低く、逆に否定的回答割合が高い。
- 20) 国際交流・国際化  
男女とも「どちらともいえない」「わからない」が 7 割を占める。20 歳代、30 歳代は否定的

回答割合が高い。

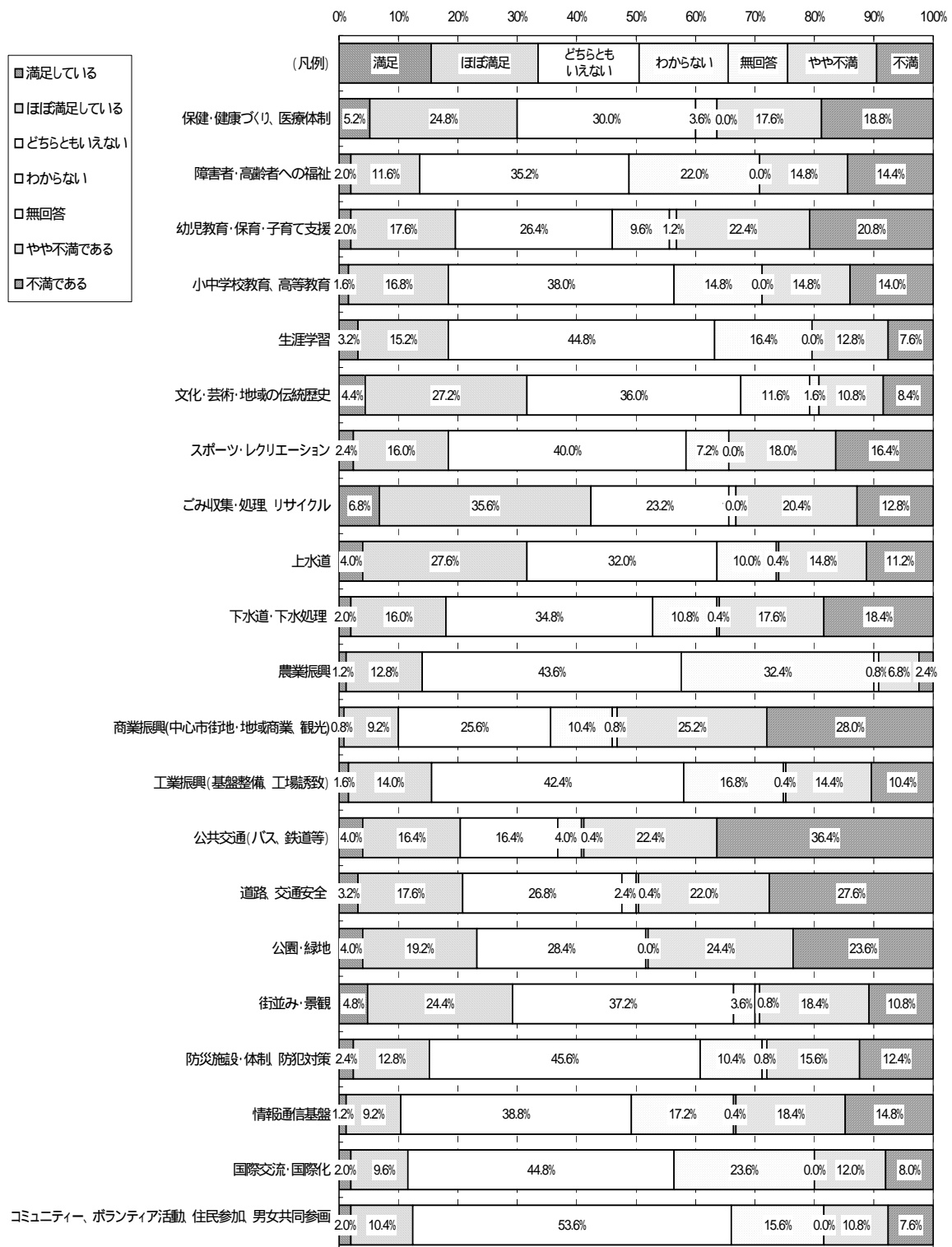
## 2 1) コミュニティー、ボランティア活動、住民参加、男女共同参画

50 歳代までの年代は否定的回答が上回り、60 歳以上の年代は肯定的回答が上回る。

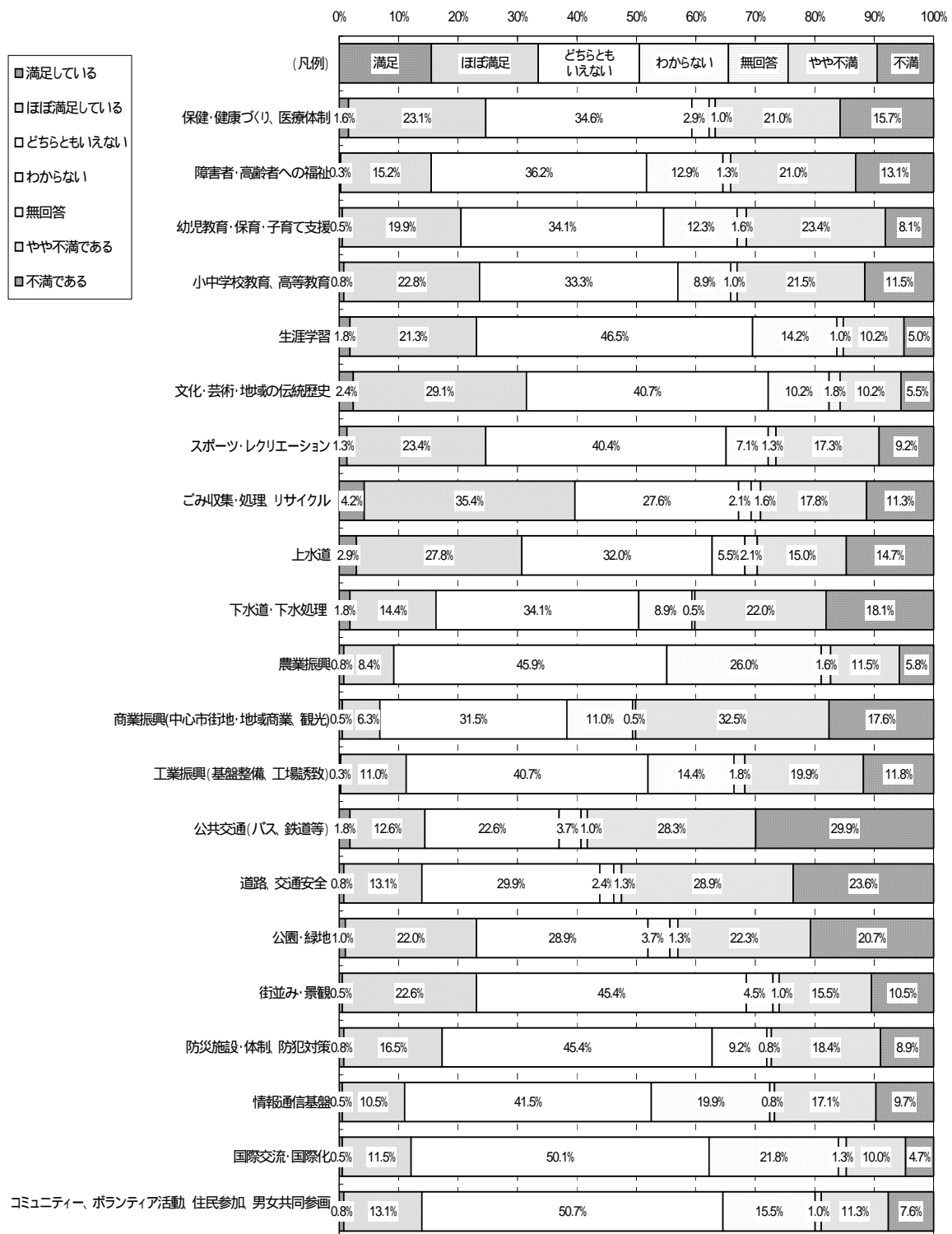
### 【20 歳代】



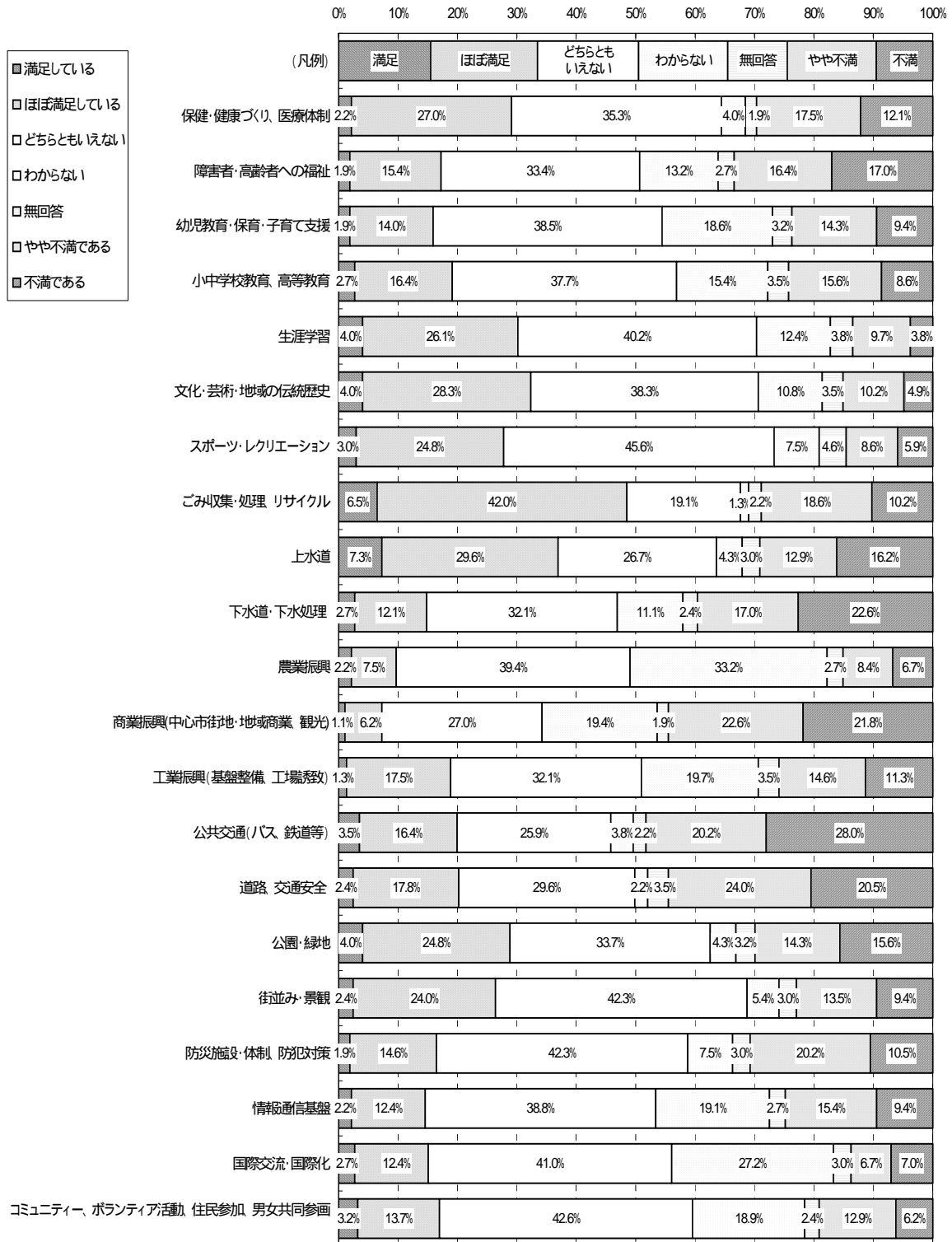
## 【30 歳代】



# 【40 歳代】

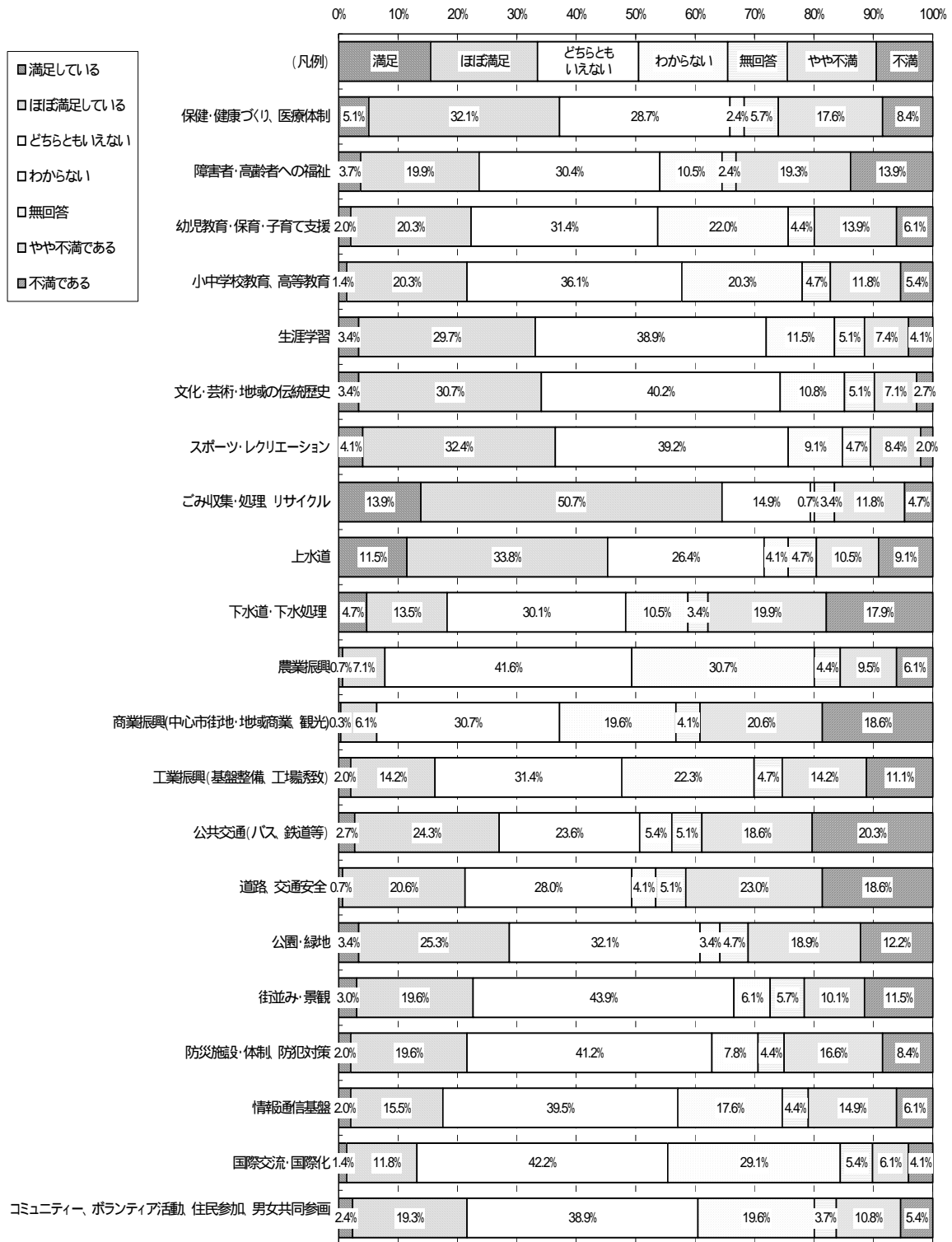


## 【50 歳代】

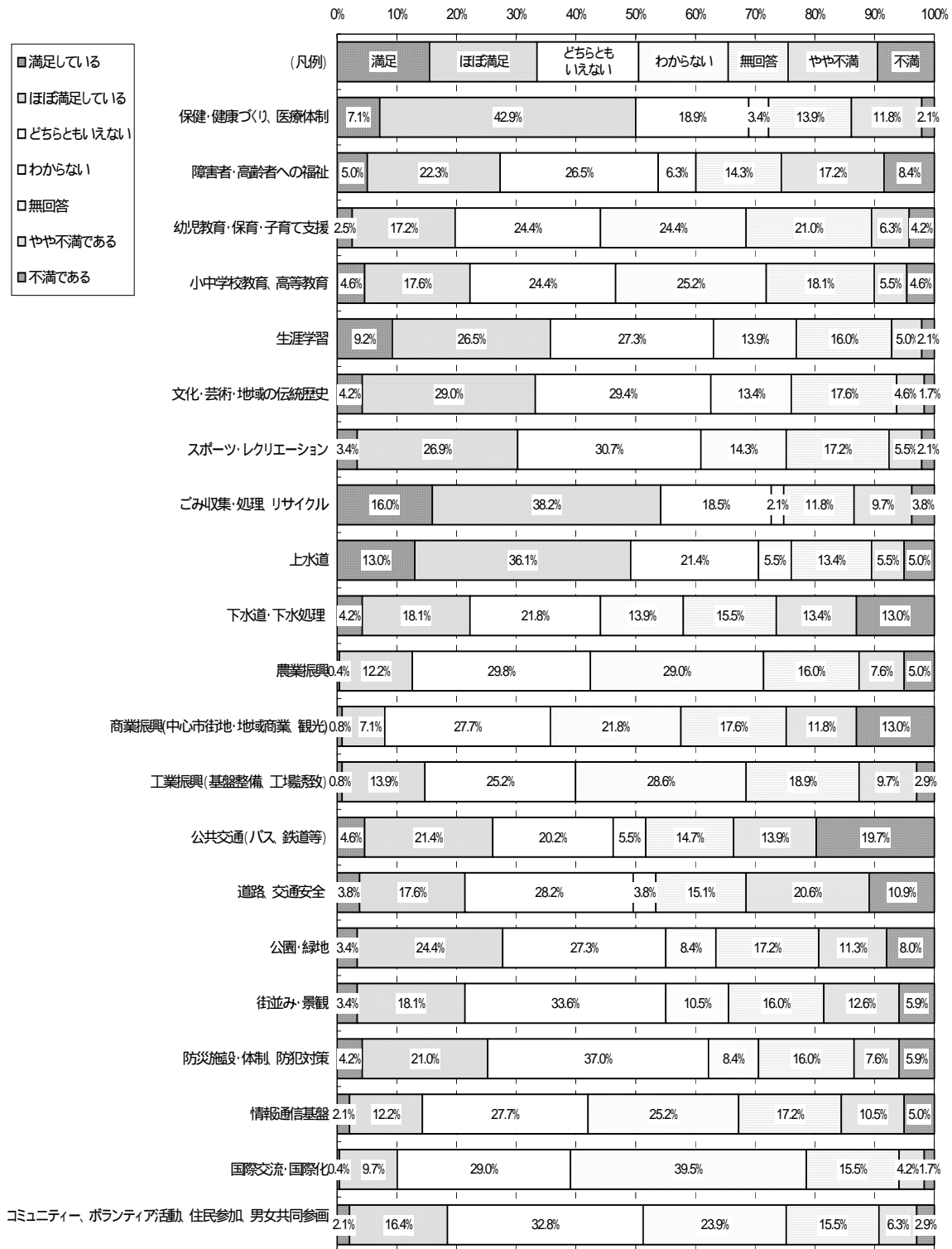




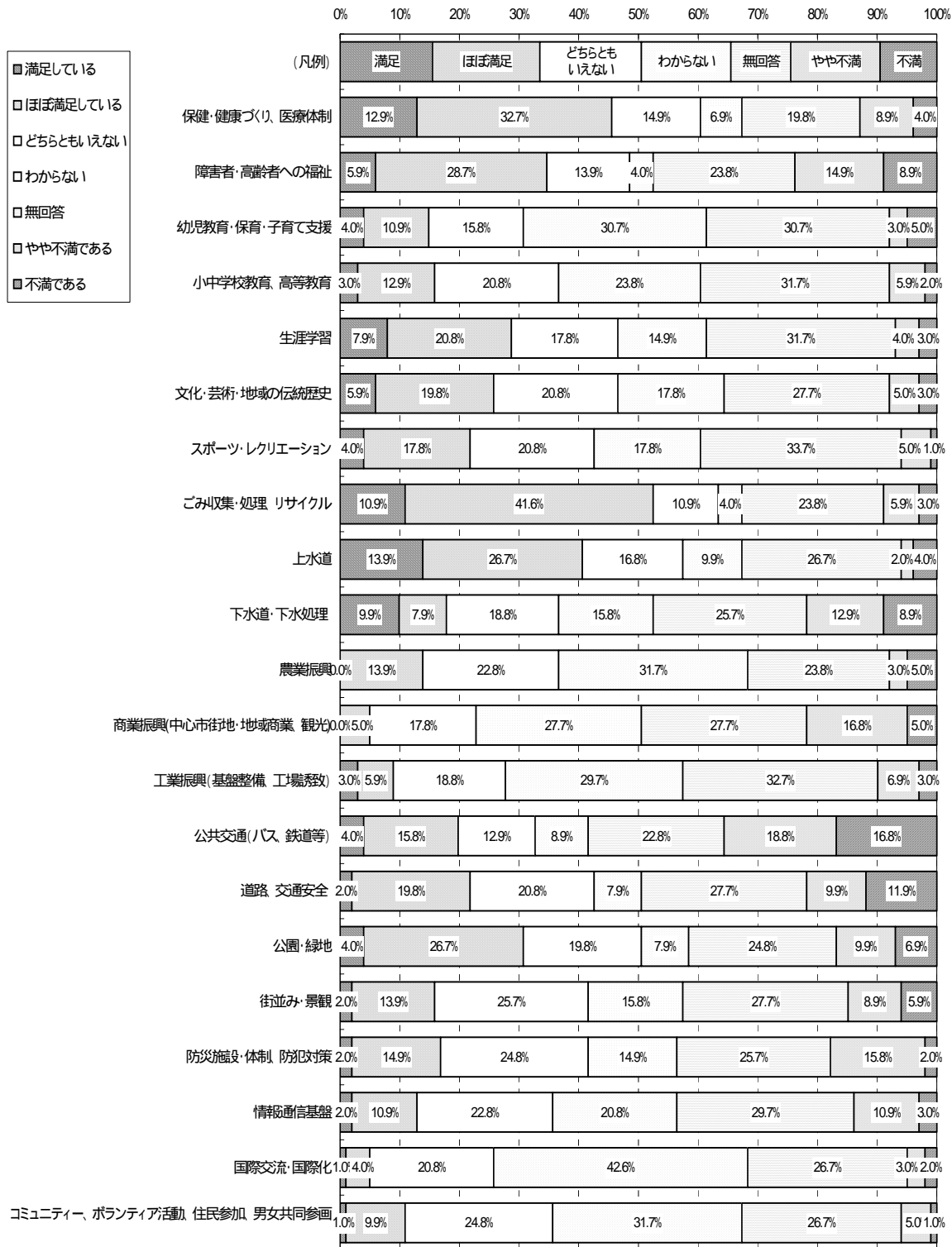
## 【60 歳代】



## 【70 歳代】



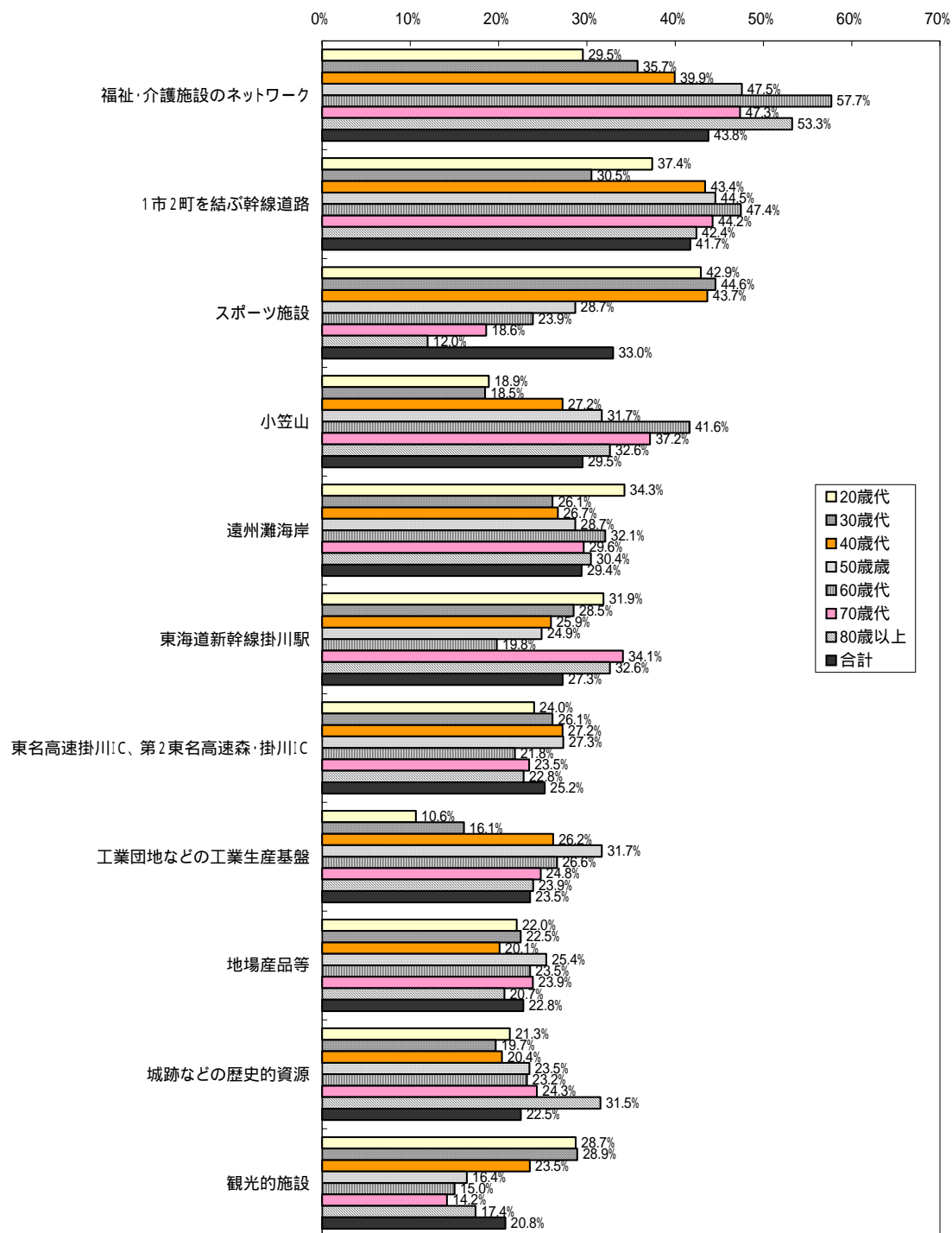
# 【80 歳以上】



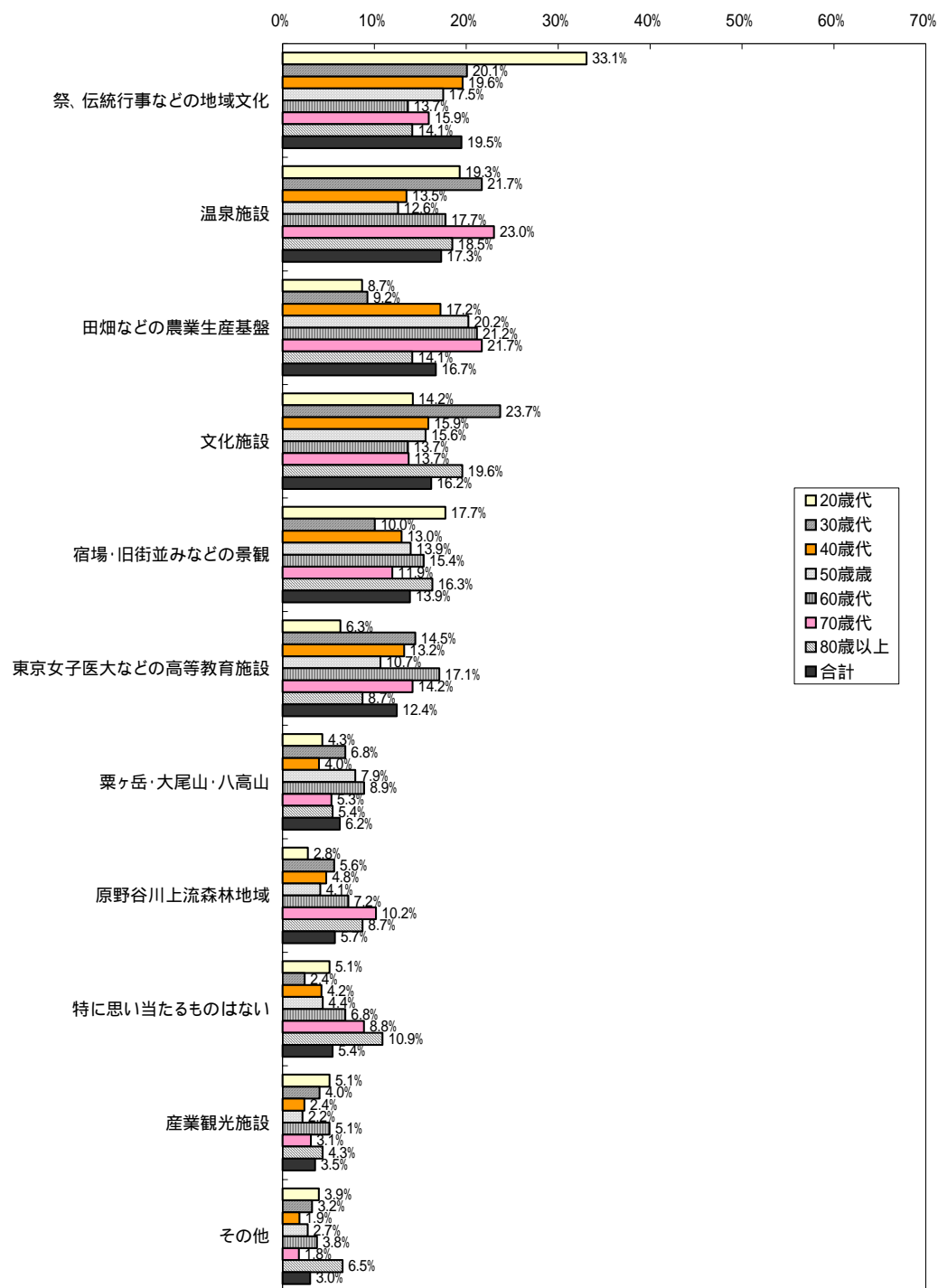
## 新都市のまちづくりに積極的に活用していくべき資源（問10 複数回答）

20 歳代、30 歳代、40 歳代は、まちづくりに積極的に活用していくべき資源として「スポーツ施設」を第1位回答としている。50 歳代以上の年代では、「福祉・介護施設のネットワーク」を第1位回答としている。また、どの年代においても「1市2町を結ぶ幹線道路」は上位に選択されている。

（その1）

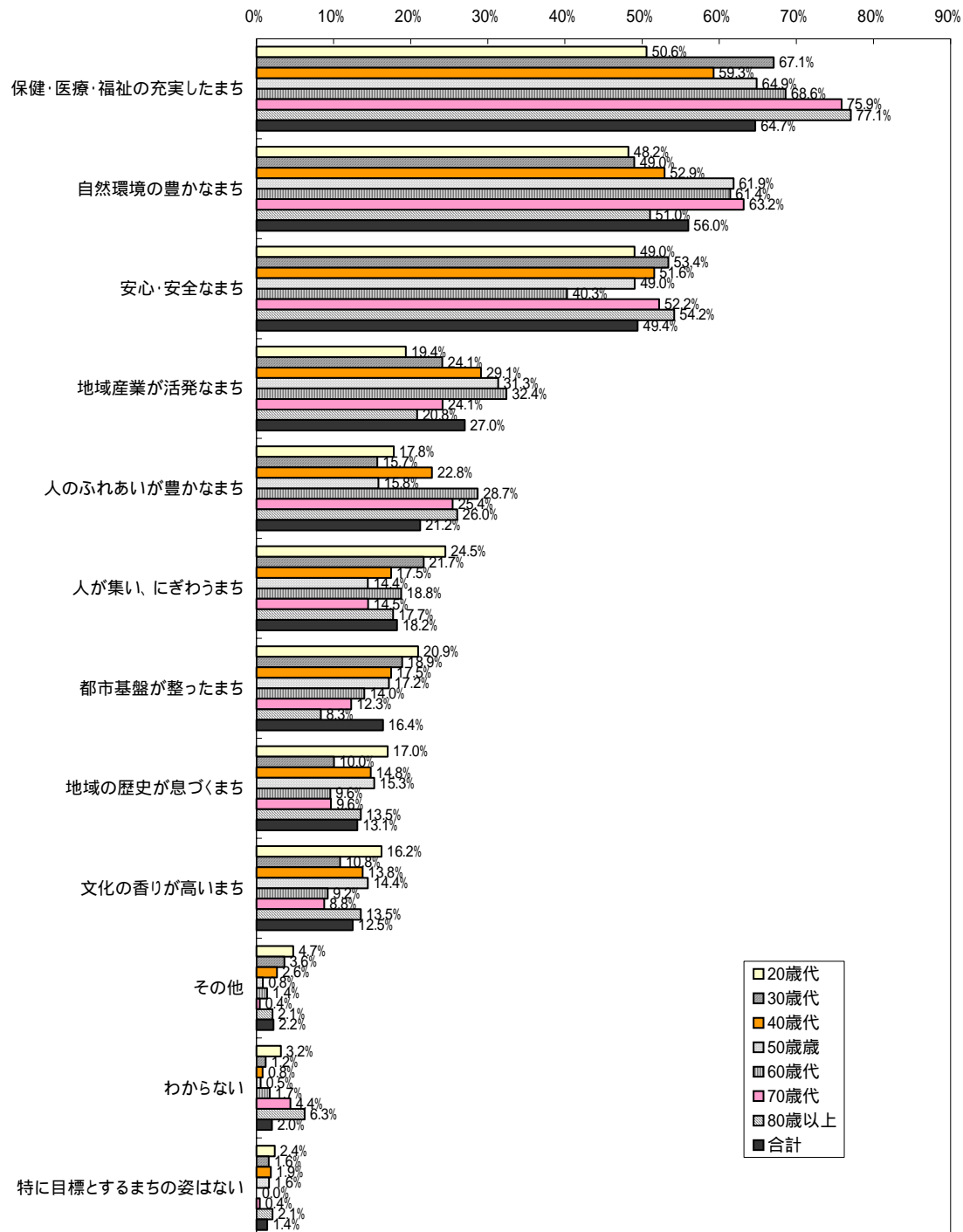


(その2)



## 新都市の望ましい姿（問 11 複数回答）

どの年代も上位回答は同じであり、第 1 位回答は「保健・医療・福祉の充実したまち」である。そして第 2 位回答もしくは第 3 位回答には、「自然環境の豊かなまち」「安心・安全なまち」が選択されている。

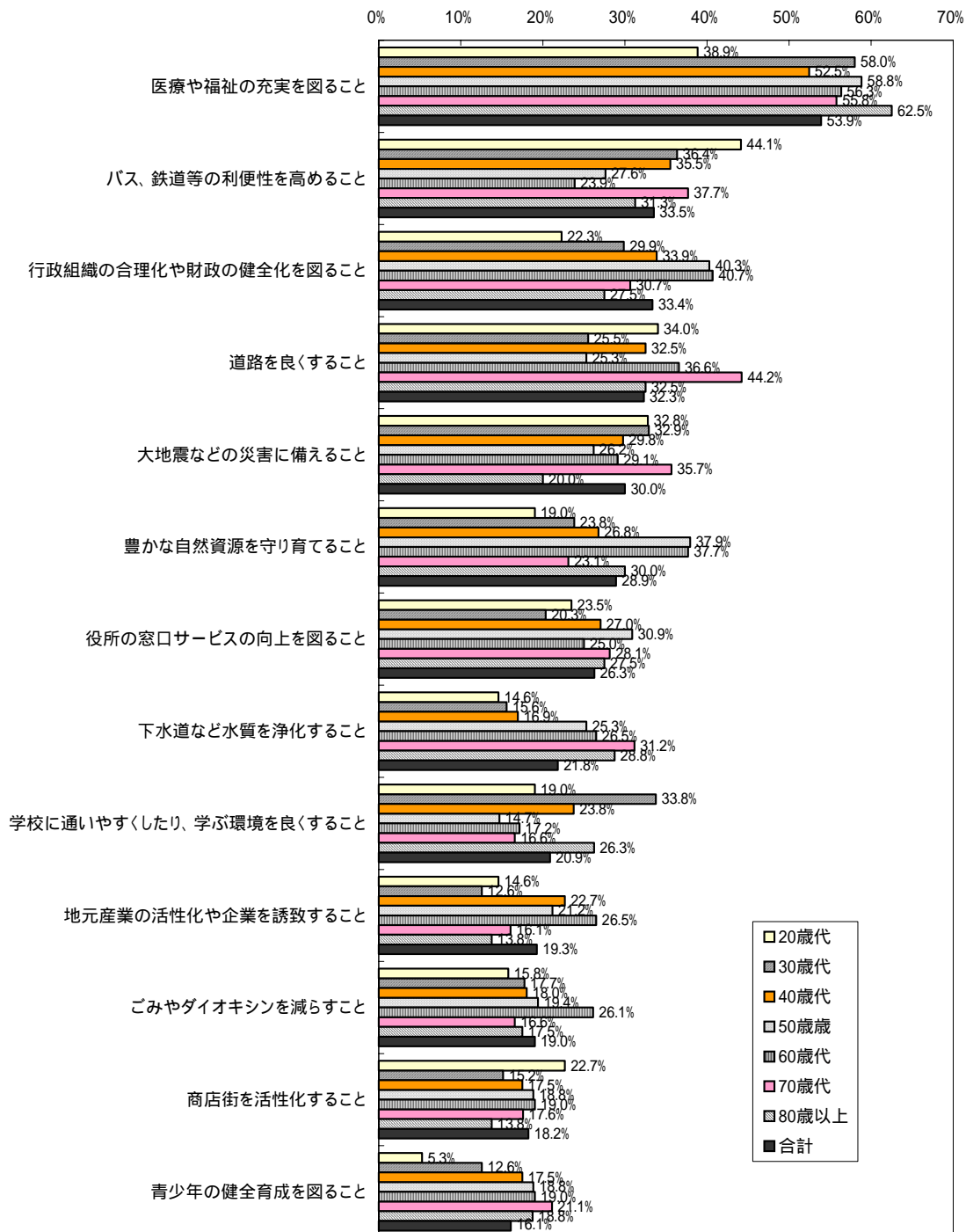


## 優先的に取り組むべき施策（問 12 複数回答）

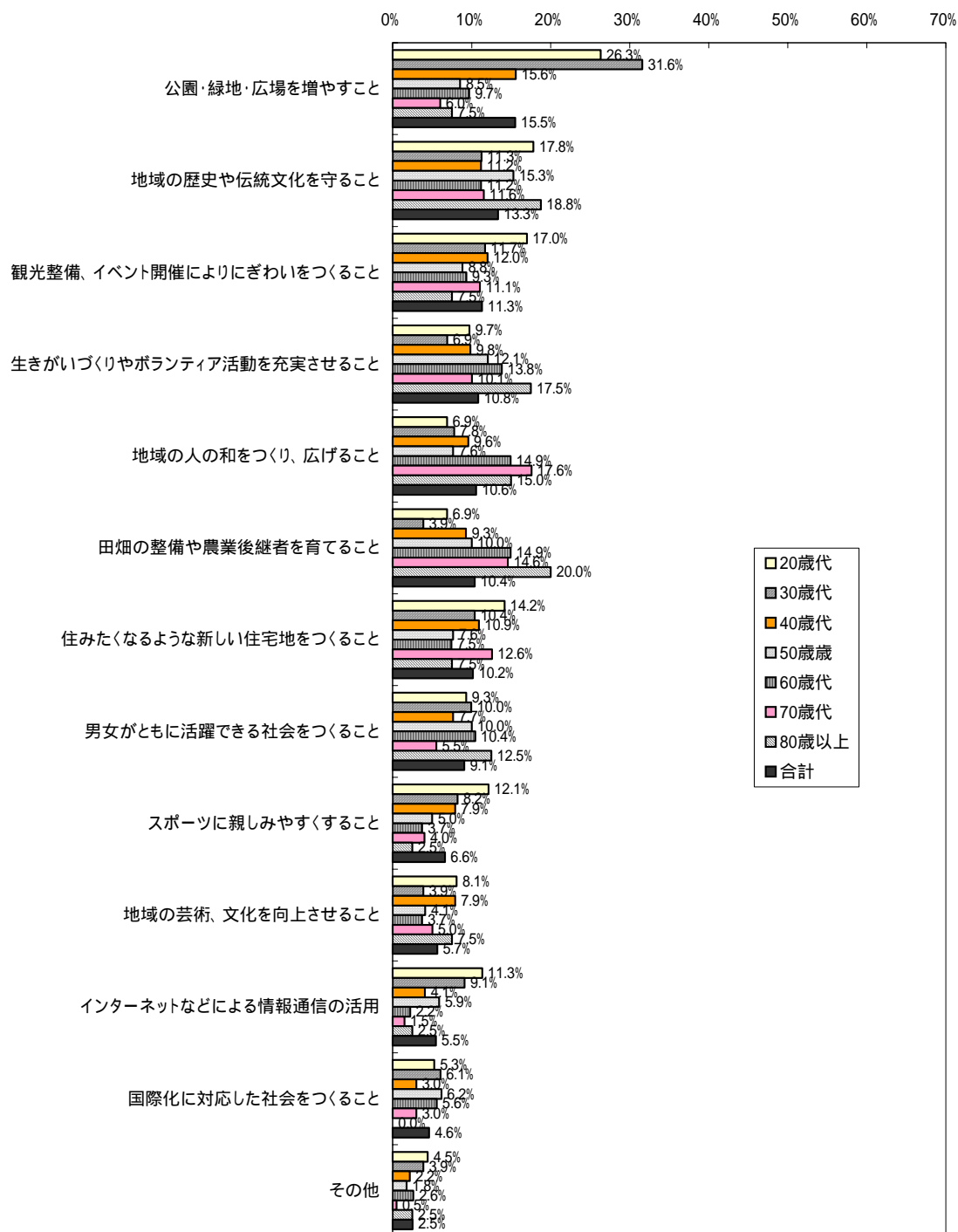
20 歳代の第 1 位回答は「バス、鉄道等の利便性を高めること」であるが、それ以外の年代では「医療や福祉の充実を図ること」が第 1 位回答である。

50 歳代、60 歳代では、これらの施策とともに「豊かな自然環境を守り育てること」「行政組織の合理化や財政の健全化を図ること」が上位に選択されている。

（その 1）



(その2)

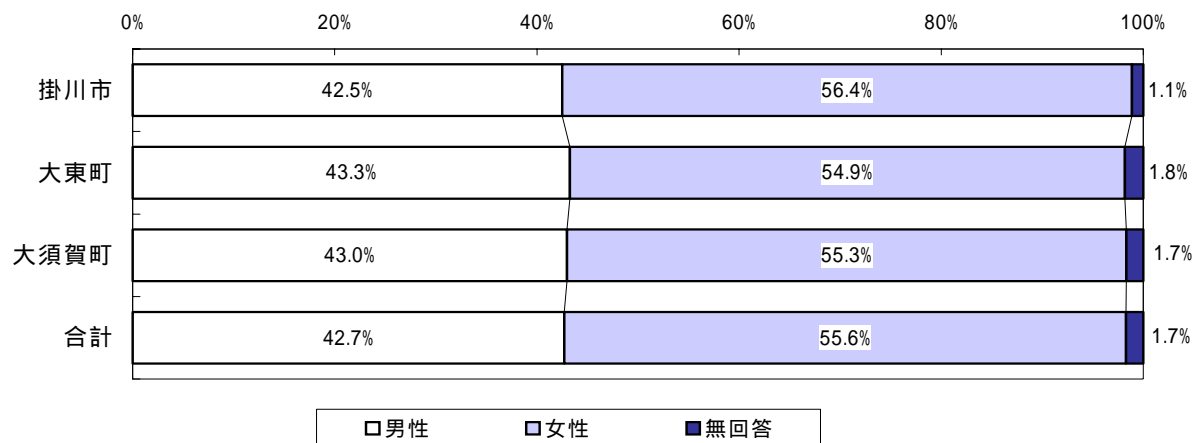




### ( 3 ) 地域別クロス集計結果

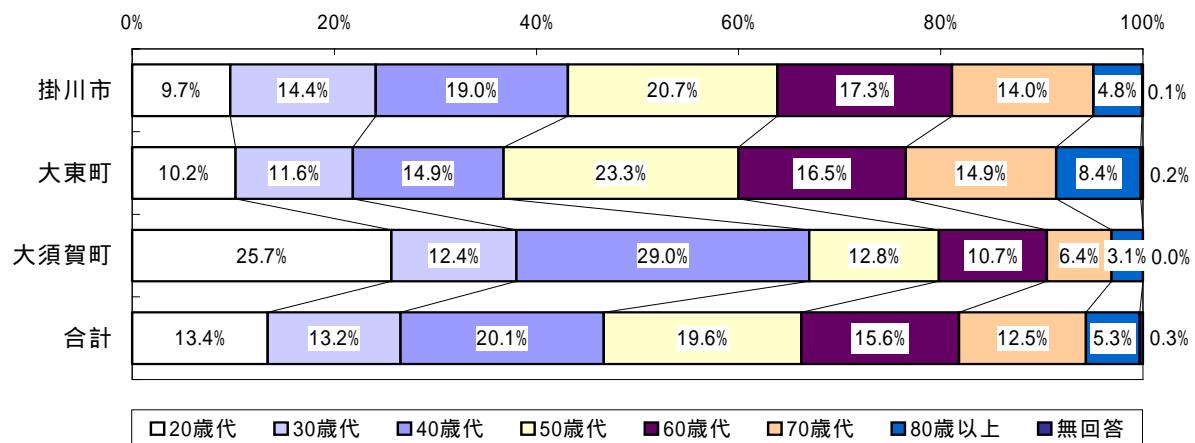
#### 性別（問 1 ）

1 市 2 町とも、回答者の男女比は、ほぼ同様である。



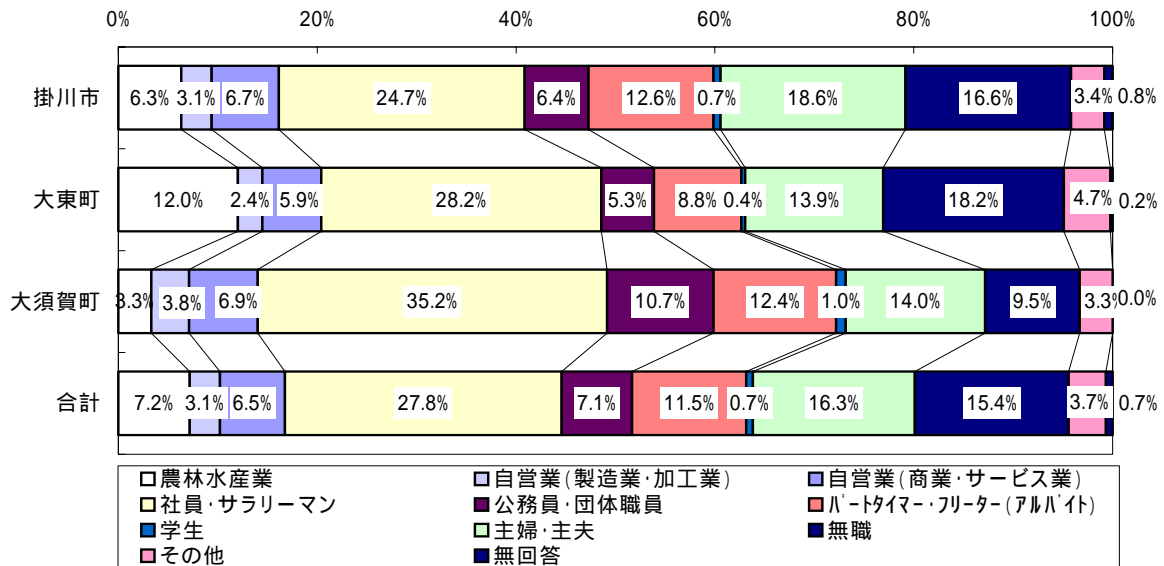
#### 年齢（問 2 ）

大須賀町では、掛川市や大東町に比べて 20 歳代、40 歳代の割合が高い。



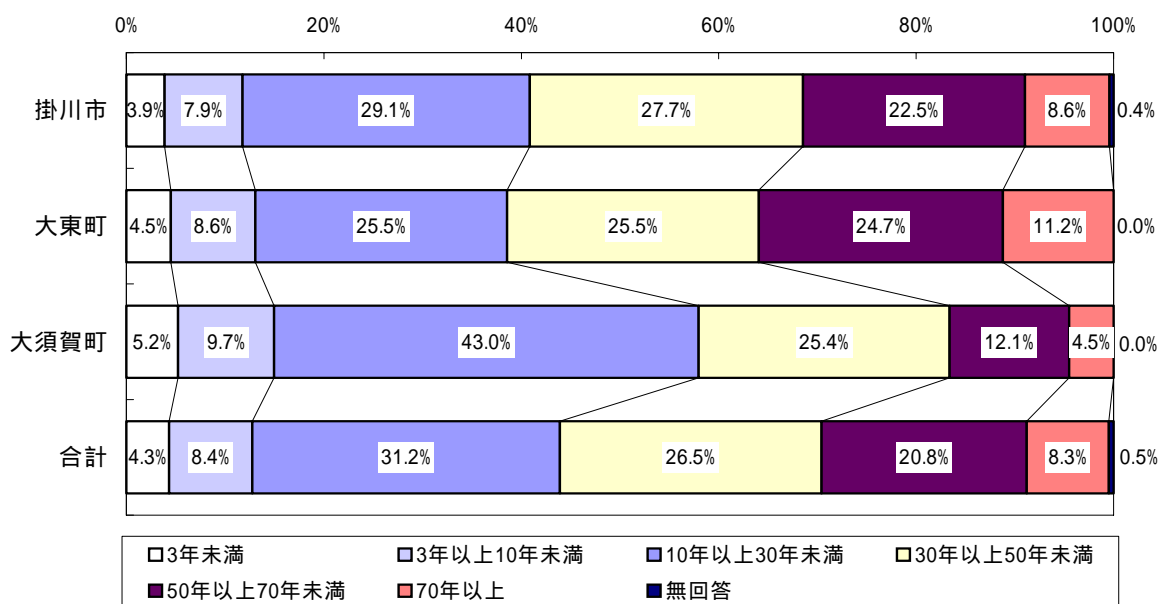
### 職業（問3）

大東町では「農林水産業」の構成比が他市町に比べて高く、大須賀町では「社員・サラリーマン」の構成比が高い。



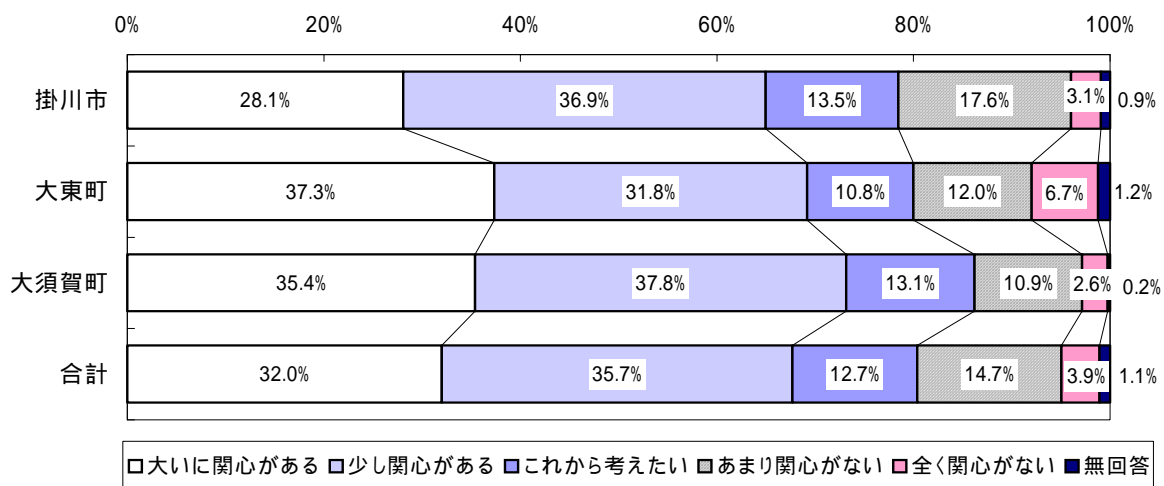
### 居住年数（問5）

大須賀町では、掛川市や大東町に比べて、居住年数30年未満の構成比が高い。



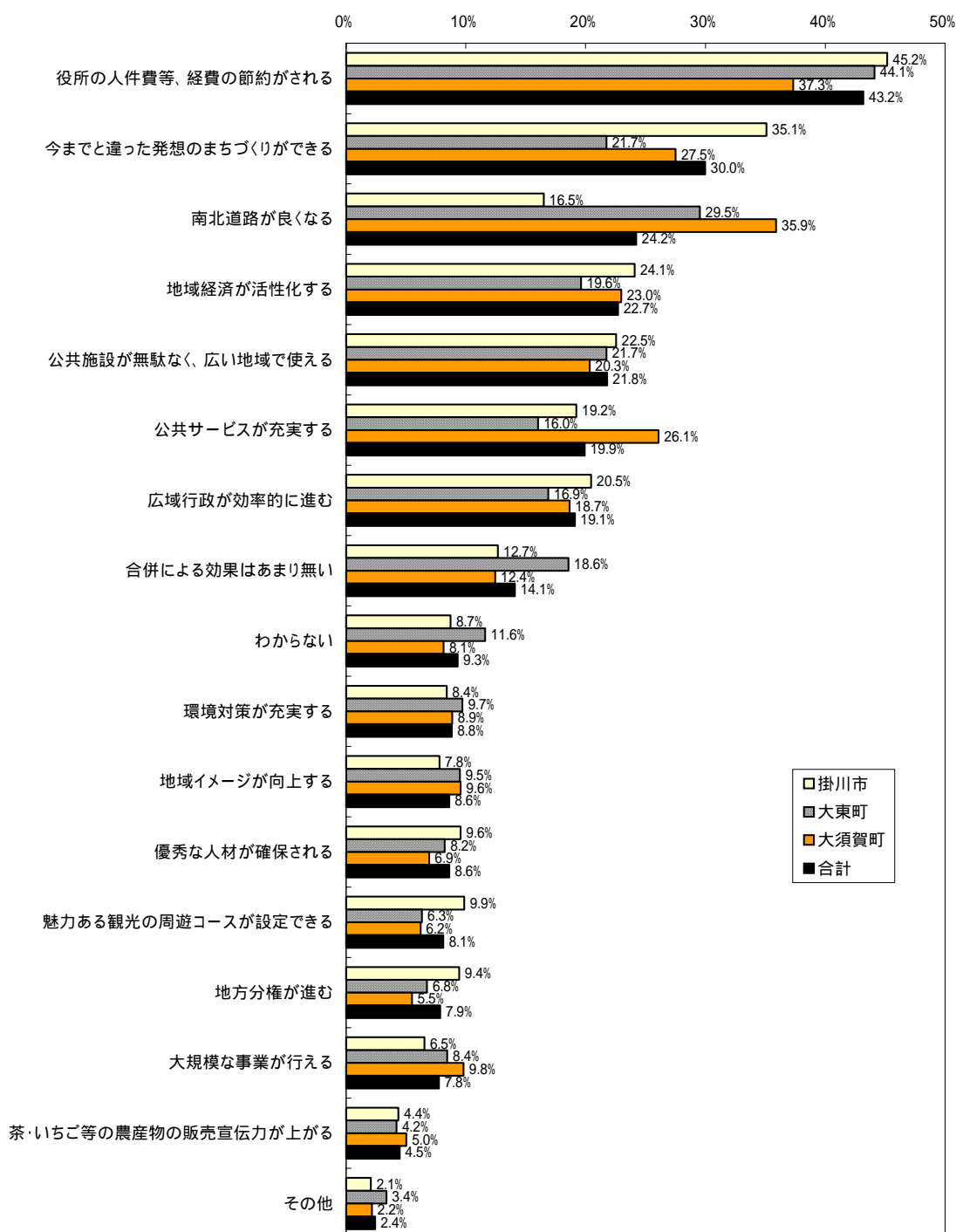
## 合併についての関心（問 6）

「大いに関心がある」「少し関心がある」の両者を合計した回答の割合を地域別に見ると、掛川市が 65.0%、大東町が 69.1%、大須賀町が 73.2%であり、地域による差が見られた。



## 合併に期待する効果（問7 複数回答）

「役所の人件費等、経費の節約がされる」が1市2町とも第1位回答であった。しかし、掛川市の第2位回答は「今までと違った発想のまちづくりができる」（35.1%）、第3位回答は「地域経済が活性化する」（24.1%）であることに対して、大東町と大須賀町の第2位回答は「南北道路が良くなる」（大東町 29.5%、大須賀町 35.9%）であり、道路整備に対する期待がうかがえる。

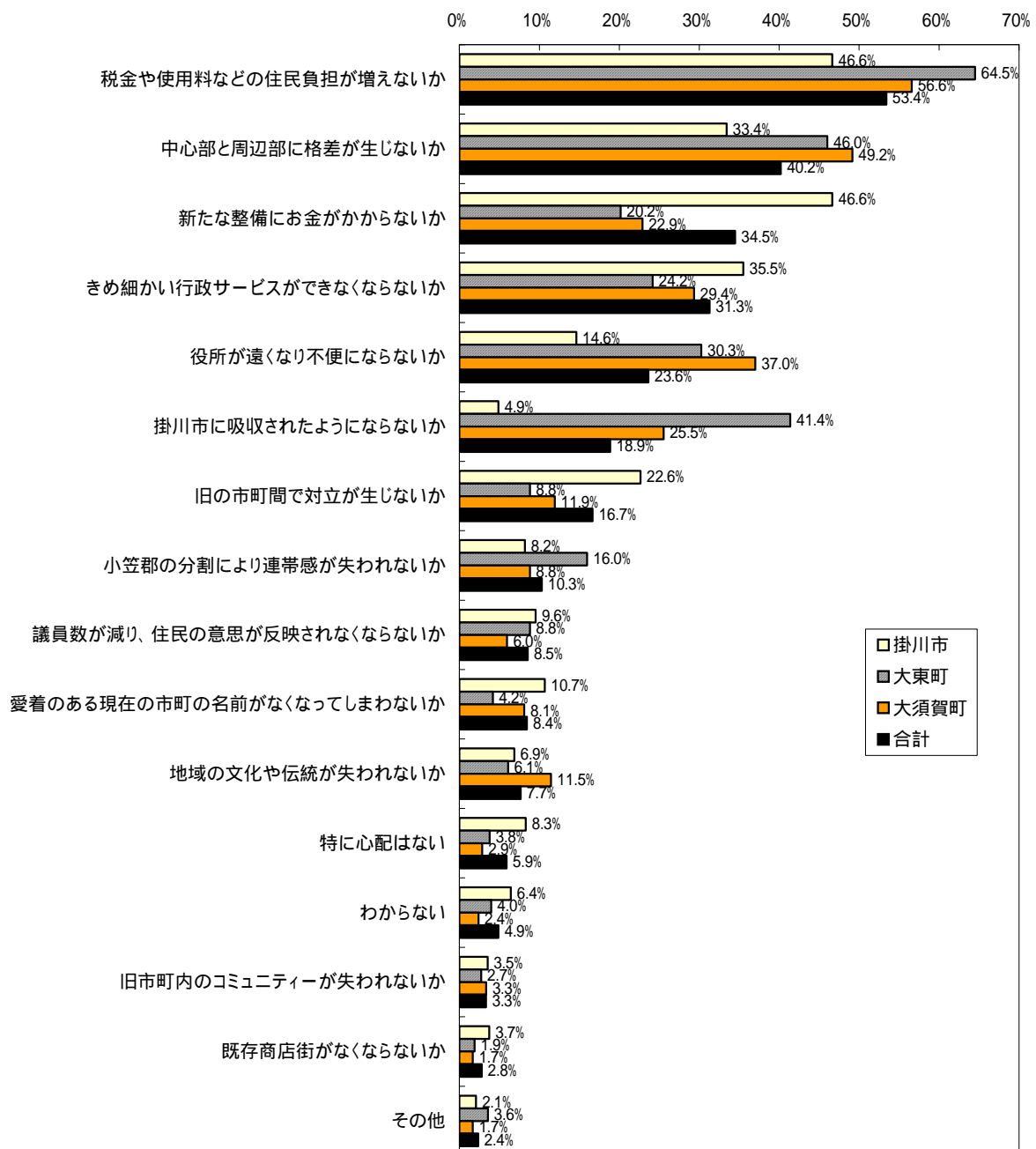


## 合併に対する心配（問8 複数回答）

掛川市では「住民負担が増えないか」（46.6%）「新たな整備にお金がかからないか」（46.6%）「きめ細かい行政サービスができなくなるか」（35.5%）と、経済的側面と行政サービス後退に関する心配が上位を占める。

大東町では「住民負担が増えないか」（64.5%）「中心部と周辺部に格差が生じないか」（46.0%）「掛川市に吸収されたようにならないか」（41.4%）と、経済的側面に加えて地域格差や吸収に対する心配が上位を占める。

大須賀町では「住民負担が増えないか」（56.6%）「中心部と周辺部に格差が生じないか」（49.2%）「役所が遠くなり不便にならないか」（37.0%）と、経済的側面に加えて地域格差や距離に関する心配が上位を占める。



## 現状の行政サービスやまちづくりに対する満足度（問９）

### １）保健・健康づくり、医療体制

掛川市では肯定的回答が 34.1%、否定的回答が 26.9%である。また大東町では肯定的回答が 36.1%、否定的回答が 24.1%である。しかし、大須賀町では肯定的回答が 23.7%、否定的回答が 34.4%と否定的回答が上回る。

### ２）障害者・高齢者への福祉

掛川市では肯定的回答が 14.9%、否定的回答が 34.9%である。また大東町では肯定的回答が 24.3%、否定的回答が 24.5%、大須賀町では肯定的回答が 23.5%、否定的回答が 27.4%である。大東町では肯定的回答と否定的回答が拮抗するが、掛川市と大須賀町では否定的回答が上回る。

### ３）幼児教育・保育・子育て支援

掛川市では肯定的回答が 15.7%、否定的回答が 28.7%である。一方、大東町では肯定的回答が 21.7%、否定的回答が 20.4%、大須賀町では肯定的回答が 22.6%、否定的回答が 20.4%である。掛川市では否定的回答が上回るが、大東町と大須賀町では肯定的回答が上回る。

### ４）小中学校教育、高等教育

掛川市では肯定的回答が 19.8%、否定的回答が 23.5%である。大東町では肯定的回答が 16.1%、否定的回答が 25.3%、大須賀町では肯定的回答が 28.3%、否定的回答が 17.6%である。掛川市と大東町では否定的回答が上回るが、大須賀町では肯定的回答が上回る。

### ５）生涯学習

掛川市では肯定的回答が 33.5%、否定的回答が 12.3%である。大東町では肯定的回答が 19.3%、否定的回答が 15.9%、大須賀町では肯定的回答が 18.3%、否定的回答が 14.7%である。掛川市、大東町、大須賀町とも肯定的回答が上回る。

### ６）文化・芸術・地域の伝統歴史

掛川市では肯定的回答が 30.6%、否定的回答が 14.2%である。大東町では肯定的回答が 27.8%、否定的回答が 12.5%、大須賀町では肯定的回答が 45.4%、否定的回答が 12.9%である。掛川市、大東町、大須賀町とも肯定的回答が上回る。

### ７）スポーツ・レクリエーション

掛川市では肯定的回答が 28.1%、否定的回答が 19.8%である。大東町では肯定的回答が 29.2%、否定的回答が 13.3%、大須賀町では肯定的回答が 20.4%、否定的回答が 23.1%である。掛川市と大東町では肯定的回答が上回るが、大須賀町では否定的回答が上回る。

### ８）ごみ収集・処理、リサイクル

掛川市では肯定的回答が 48.2%、否定的回答が 26.2%である。大東町では肯定的回答が 48.5%、否定的回答が 21.6%、大須賀町では肯定的回答が 46.4%、否定的回答が 24.3%である。掛川市、大東町、大須賀町とも肯定的回答が上回る。

### ９）上水道

掛川市では肯定的回答が 37.2%、否定的回答が 26.7%である。大東町では肯定的回答が 40.4%、否定的回答が 14.4%、大須賀町では肯定的回答が 29.2%、否定的回答が 23.3%である。掛川市、

大東町、大須賀町とも肯定的回答が上回る。

#### 10) 下水道・下水処理

掛川市では肯定的回答が19.6%、否定的回答が37.5%である。大東町では肯定的回答が16.8%、否定的回答が35.1%、大須賀町では肯定的回答が12.3%、否定的回答が29.7%である。掛川市、大東町、大須賀町とも否定的回答が上回る。

#### 11) 農業振興

掛川市では肯定的回答が11.1%、否定的回答が12.6%である。大東町では肯定的回答が12.2%、否定的回答が15.7%、大須賀町では肯定的回答が12.9%、否定的回答が11.2%である。掛川市、大東町では否定的回答が上回り、大須賀町では肯定的回答が上回る。しかし、1市2町とも「どちらともいえない」「わからない」が約7割を占める。

#### 12) 商業振興（中心市街地・地域商業、観光）

掛川市では肯定的回答が5.6%、否定的回答が50.2%である。大東町では肯定的回答が11.0%、否定的回答が31.0%、大須賀町では肯定的回答が9.0%、否定的回答が41.3%である。掛川市、大東町、大須賀町とも否定的回答が上回る。

#### 13) 工業振興（基盤整備、工場誘致）

掛川市では肯定的回答が17.8%、否定的回答が18.6%である。大東町では肯定的回答が17.1%、否定的回答が22.7%、大須賀町では肯定的回答が4.3%、否定的回答が39.5%である。掛川市、大東町、大須賀町とも否定的回答が上回る。

#### 14) 公共交通（バス、鉄道等）

掛川市では肯定的回答が28.9%、否定的回答が41.1%である。大東町では肯定的回答が11.8%、否定的回答が56.1%、大須賀町では肯定的回答が10.3%、否定的回答が63.9%である。掛川市、大東町、大須賀町とも否定的回答が上回る。

#### 15) 道路、交通安全

掛川市では肯定的回答が21.5%、否定的回答が42.0%である。大東町では肯定的回答が18.5%、否定的回答が42.8%、大須賀町では肯定的回答が14.3%、否定的回答が52.7%である。掛川市、大東町、大須賀町とも否定的回答が上回る。

#### 16) 公園・緑地

掛川市では肯定的回答が27.7%、否定的回答が36.8%である。大東町では肯定的回答が29.2%、否定的回答が24.2%、大須賀町では肯定的回答が23.0%、否定的回答が41.3%である。掛川市、大須賀町では否定的回答が上回り、大東町では肯定的回答が上回る。

#### 17) 街並み・景観

掛川市では肯定的回答が27.0%、否定的回答が26.6%である。大東町では肯定的回答が19.5%、否定的回答が22.7%、大須賀町では肯定的回答が28.0%、否定的回答が21.2%である。掛川市、大須賀町では肯定的回答が上回り、大東町では否定的回答が上回る。

#### 18) 防災施設・体制、防犯対策

掛川市では肯定的回答が18.9%、否定的回答が24.8%である。大東町では肯定的回答が20.6%、否定的回答が25.1%、大須賀町では肯定的回答が13.3%、否定的回答が27.8%である。掛川市、

大東町、大須賀町とも否定的回答が上回る。

#### 19) 情報通信基盤

掛川市では肯定的回答が13.3%、否定的回答が22.8%である。大東町では肯定的回答が13.2%、否定的回答が26.3%、大須賀町では肯定的回答が9.3%、否定的回答が31.3%である。掛川市、大東町、大須賀町とも否定的回答が上回る。

#### 20) 国際交流・国際化

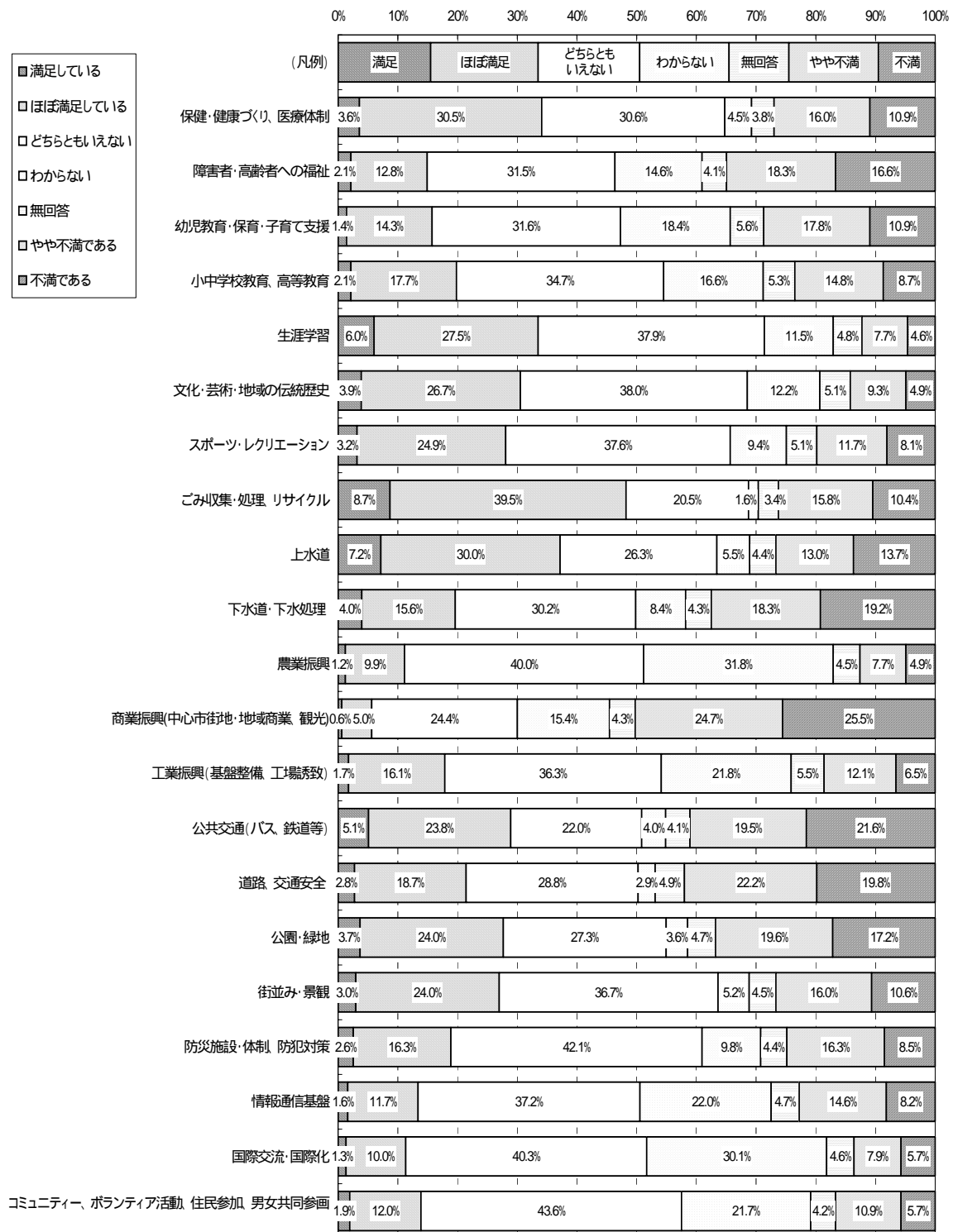
掛川市では肯定的回答が11.3%、否定的回答が13.6%である。大東町では肯定的回答が8.1%、否定的回答が15.9%、大須賀町では肯定的回答が19.3%、否定的回答が11.0%である。掛川市、大東町では否定的回答が上回り、大須賀町では肯定的回答が上回る。

#### 21) コミュニティー、ボランティア活動、住民参加、男女共同参画

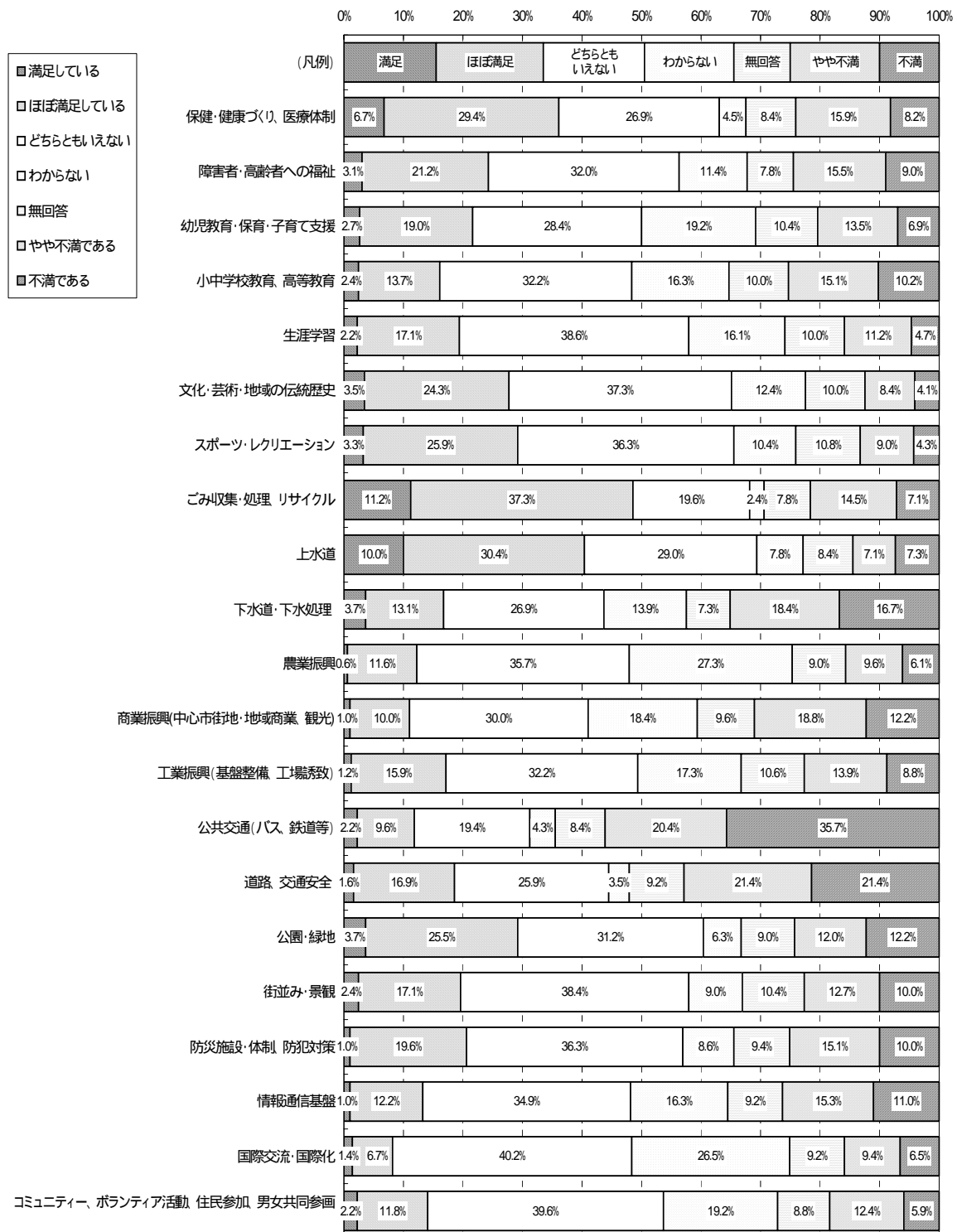
掛川市では肯定的回答が13.9%、否定的回答が16.6%である。大東町では肯定的回答が14.0%、否定的回答が18.3%、大須賀町では肯定的回答が22.6%、否定的回答が13.3%である。掛川市、大東町では否定的回答が上回り、大須賀町では肯定的回答が上回る。



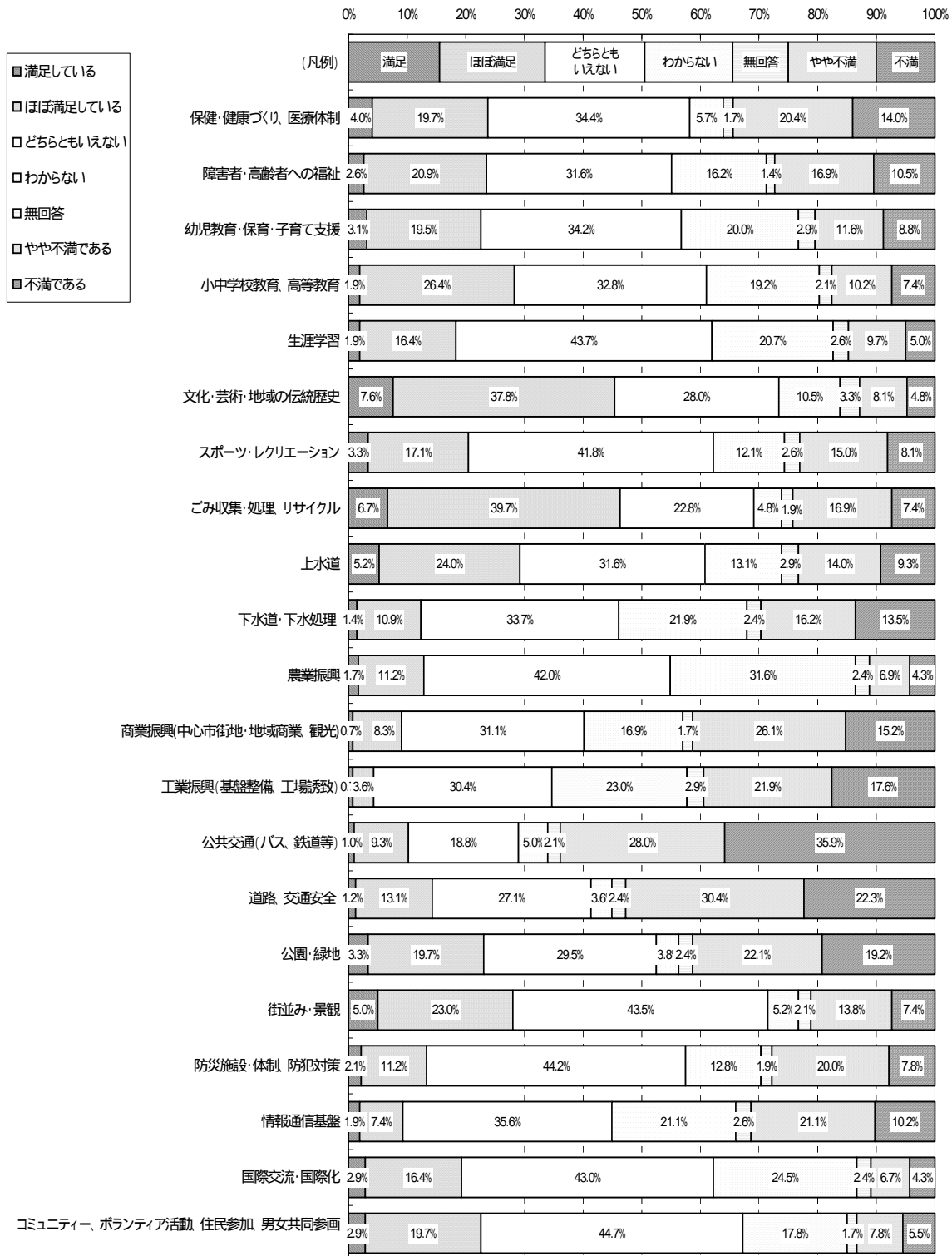
## 【掛川市】



## 【大東町】

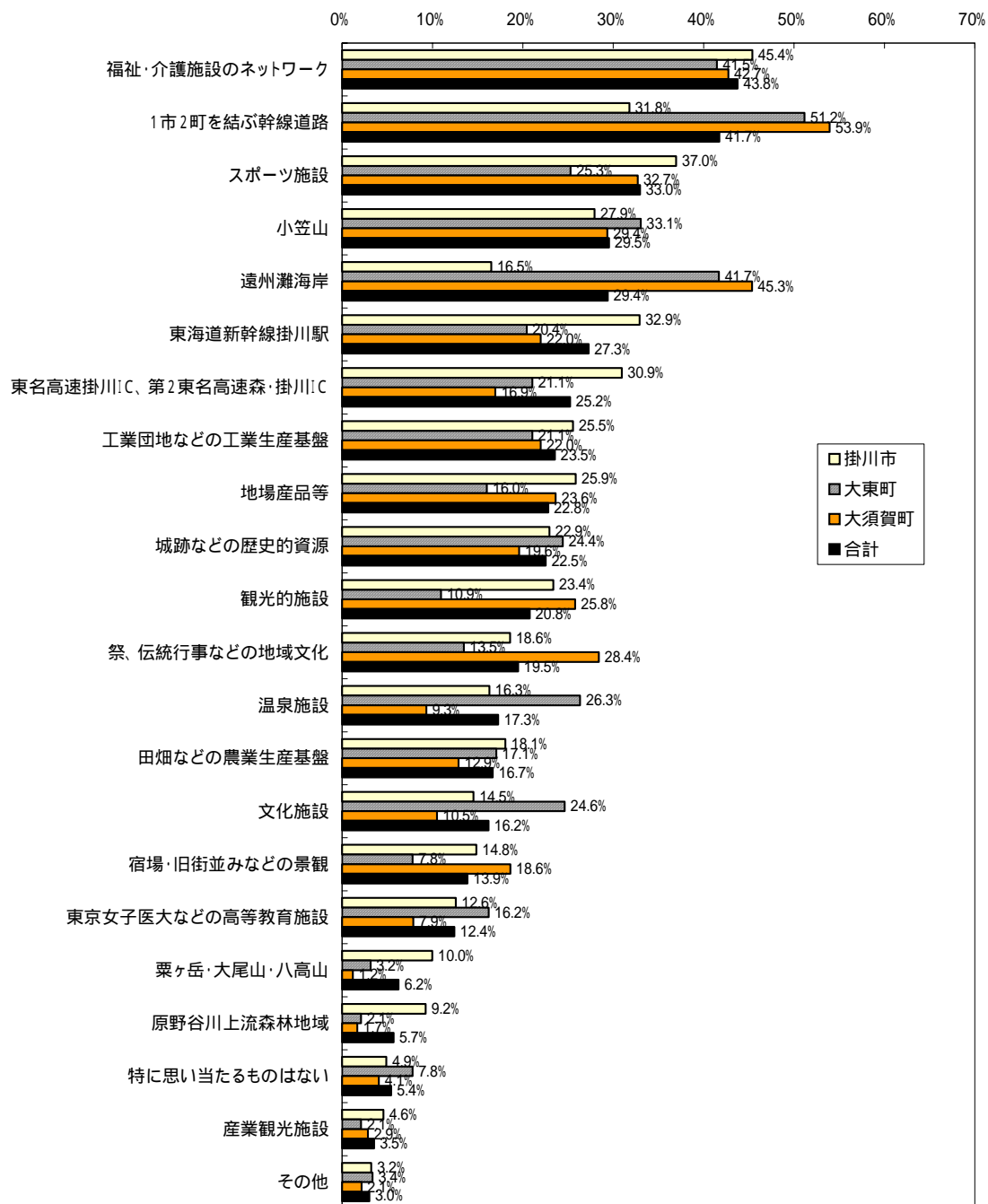


## 【大須賀町】



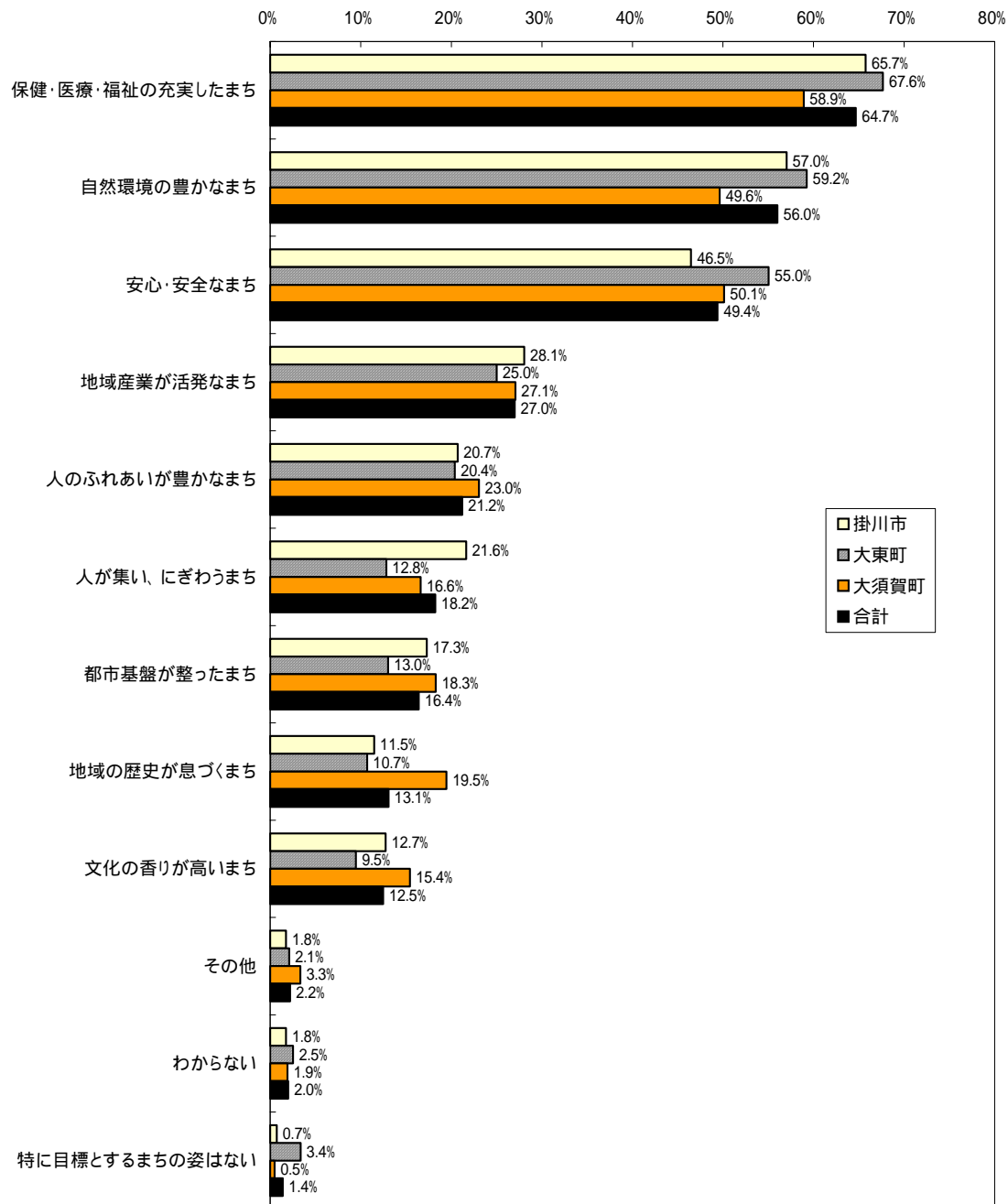
## 新都市のまちづくりに積極的に活用していくべき資源（問10 複数回答）

掛川市では「福祉・介護施設のネットワーク」（45.4%）「スポーツ施設」（37.0%）「東海道新幹線掛川駅」（32.9%）が上位となっている。大東町と大須賀町では第1位から第3位回答の順番が同じであり、「1市2町を結ぶ幹線道路」（大東町 51.2%、大須賀町 53.9%）「遠州灘」（大東町 41.7%、大須賀町 45.3%）「福祉・介護施設のネットワーク」（大東町 41.5%、大須賀町 42.7%）が上位となっている。



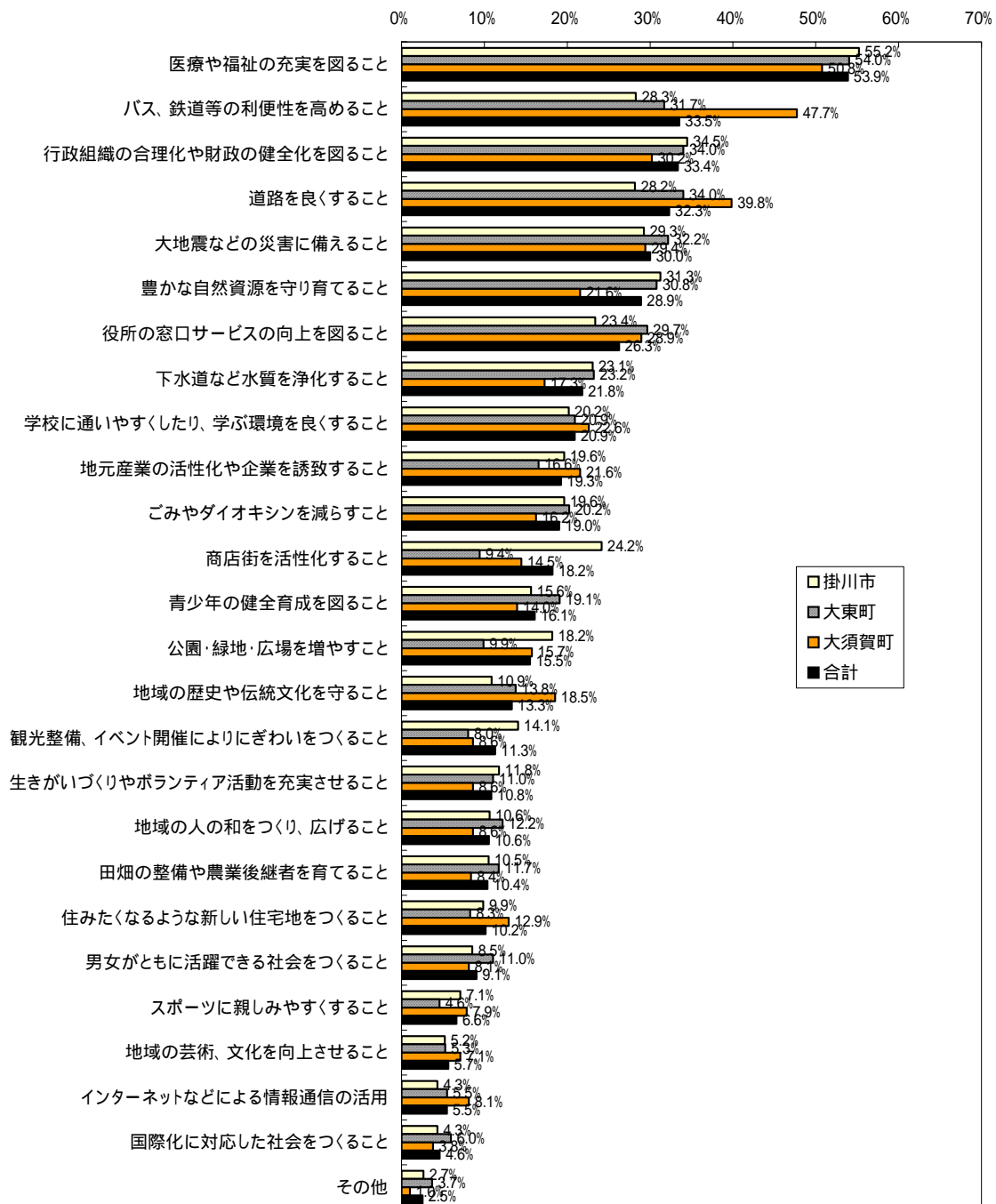
### 新都市の望ましい姿（問 11 複数回答）

掛川市、大東町、大須賀町ともに「保健・医療・福祉の充実したまち」が第 1 位回答（掛川市 65.7%、大東町 67.6%、大須賀町 58.9%）である。次いで掛川市と大東町の第 2 位回答は「自然環境の豊かなまち」（掛川市 57.0%、大東町 59.2%）第 3 位回答は「安心・安全なまち」（掛川市 46.5%、大東町 55.0%）である。一方、大須賀町では、第 2 位回答は「安心・安全なまち」（50.1%）、第 3 位回答は「自然環境の豊かなまち」（49.6%）である。



## 優先的に取り組むべき施策（問 12 複数回答）

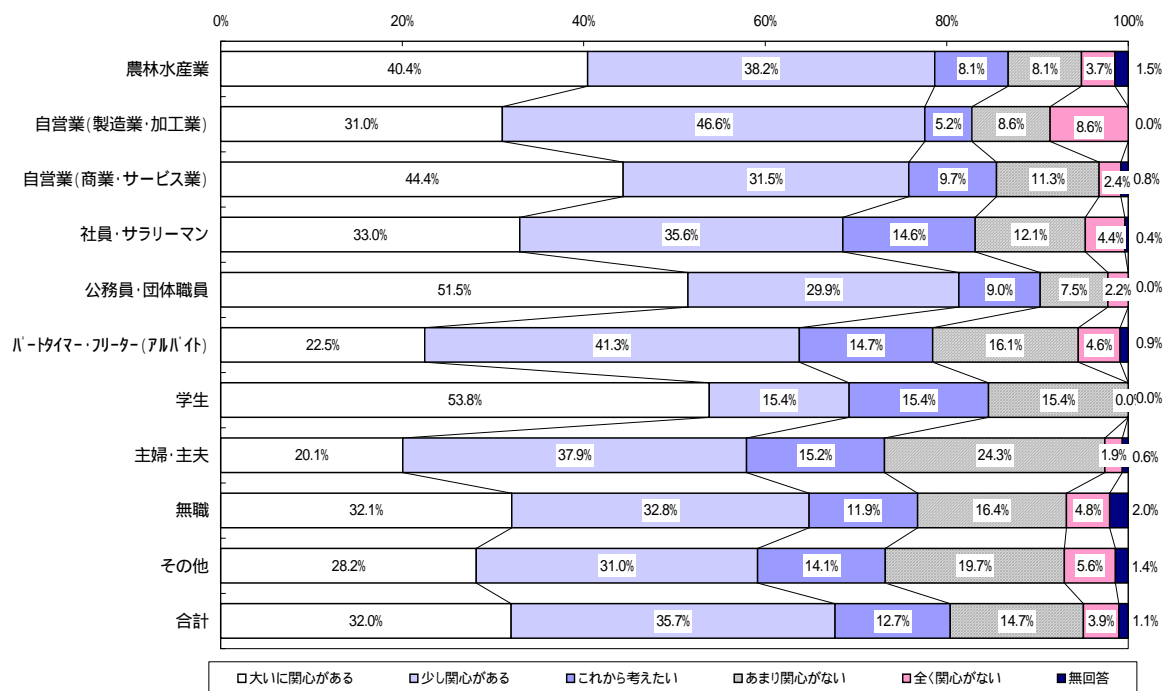
掛川市、大東町、大須賀町ともに「医療や福祉の充実を図ること」が第1位回答（掛川市 55.2%、大東町 54.0%、大須賀町 50.8%）である。掛川市では次いで「行政組織の合理化や財政の健全化を図ること」（34.5%）「豊かな自然資源を守り育てること」（31.3%）が上位である。大東町では「行政組織の合理化や財政の健全化を図ること」（34.0%）「道路を良くすること」（34.0%）が上位となっている。大須賀町では「バス、鉄道等の利便性を高めること」（47.7%）「道路を良くすること」（39.8%）が上位である。



## ( 4 ) その他のクロス集計結果

### 合併についての関心 ( 問 6 )

合併について「大いに関心がある」割合は、「学生」「公務員・団体職員」「自営業(商業・サービス業)」「農林水産業」の順で高い。

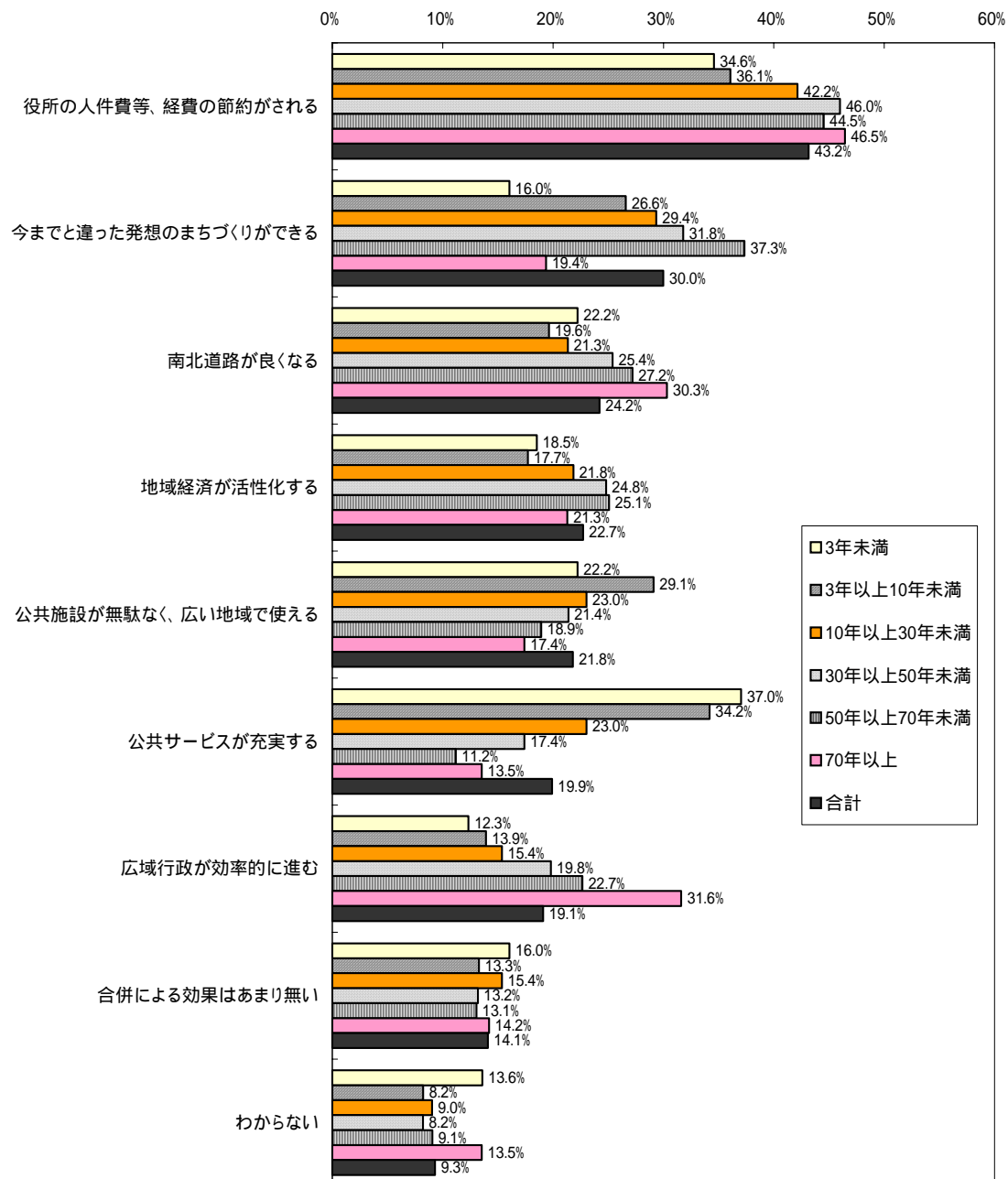


## 合併に期待する効果（問7 複数回答）

「役所の人件費等、経費の節約がされる」は、居住年数にかかわらず第1位回答である。居住年数が10年以上の回答者の方が、「役所の人件費等、経費の節約がされる」ことを期待している。

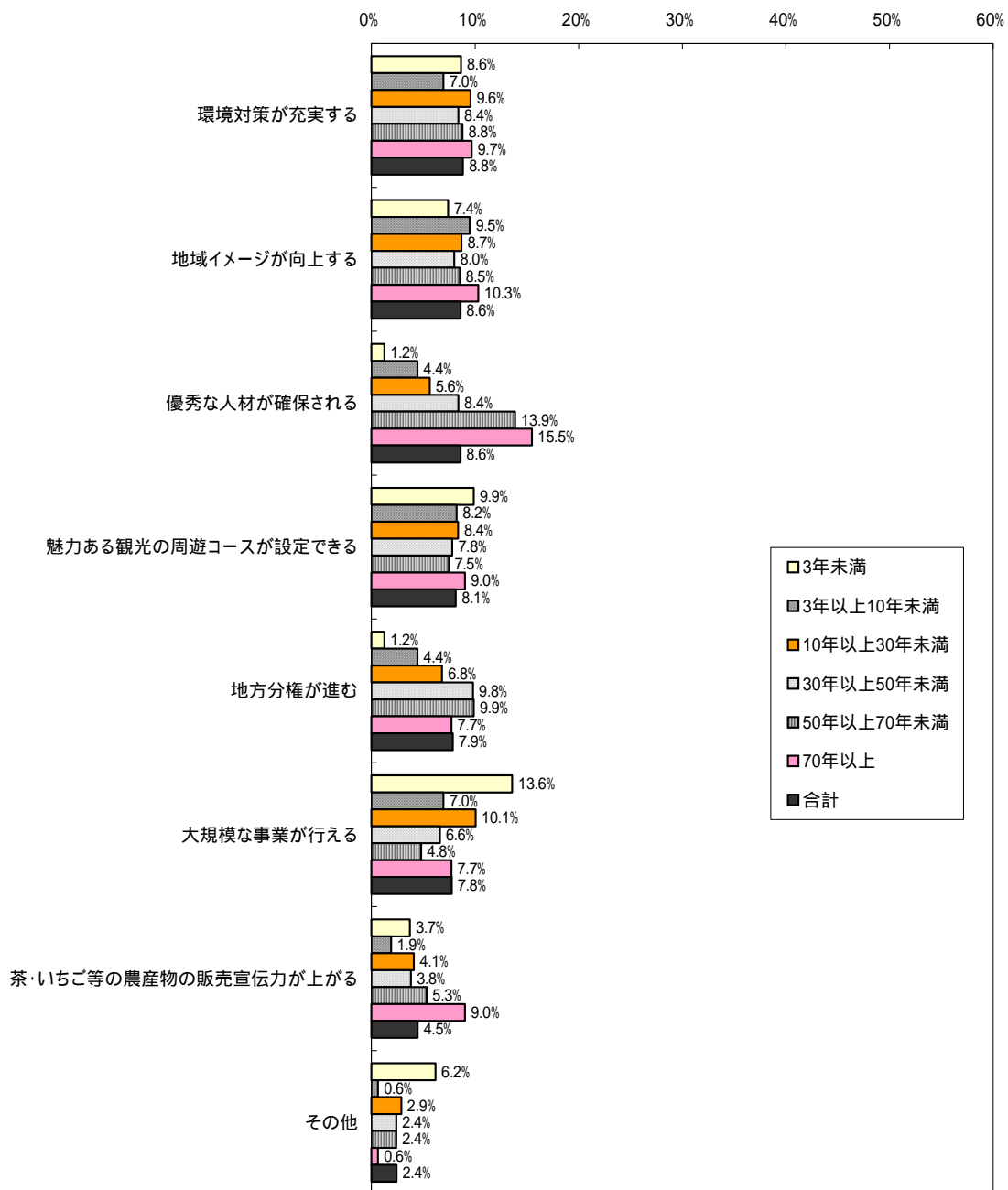
「今までと違った発想のまちづくりができる」は、居住年数が長いほど回答率が高い。「行政サービスが充実する」は居住年数が短いほど回答率が高い。

（その1）





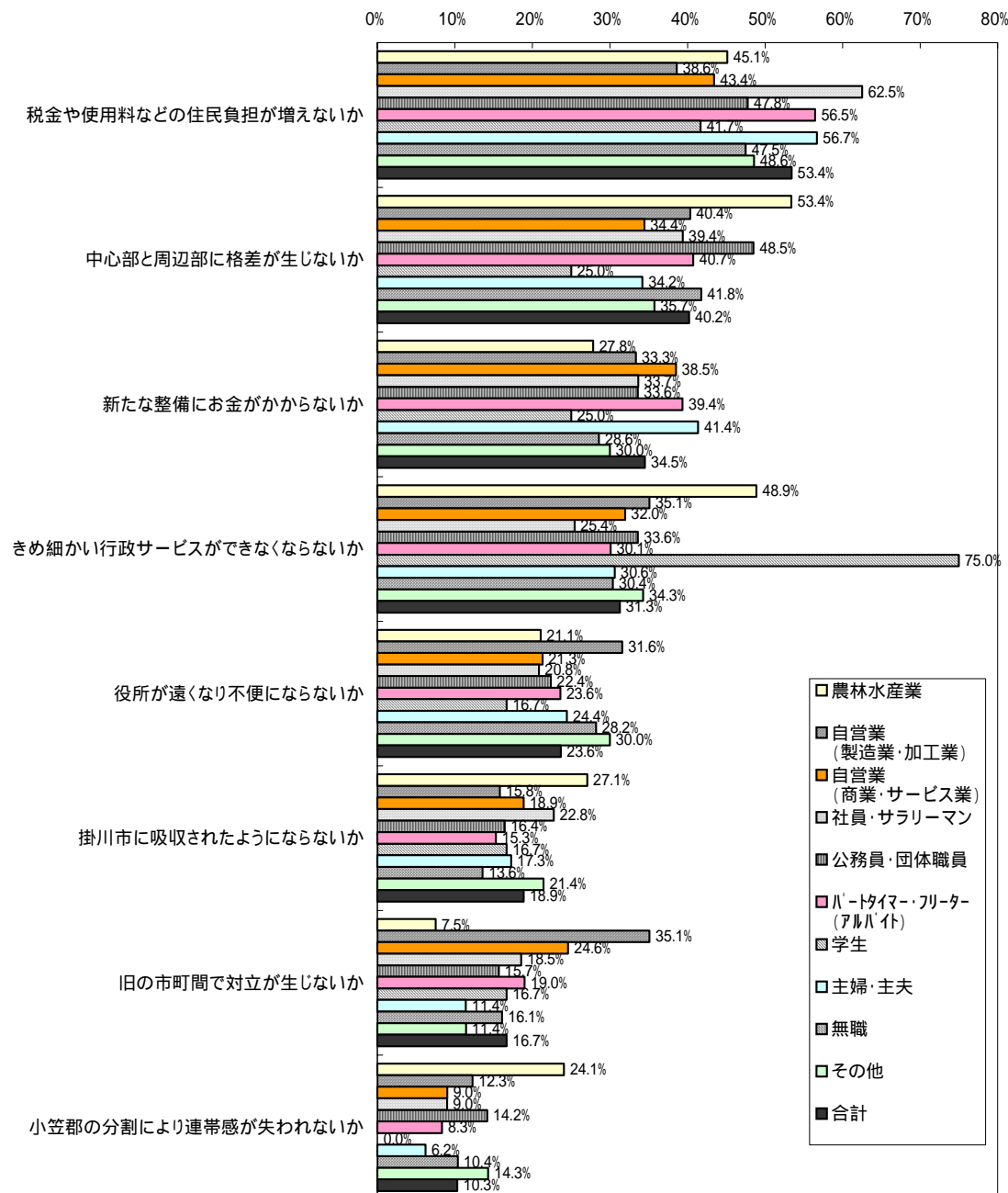
( その 2 )



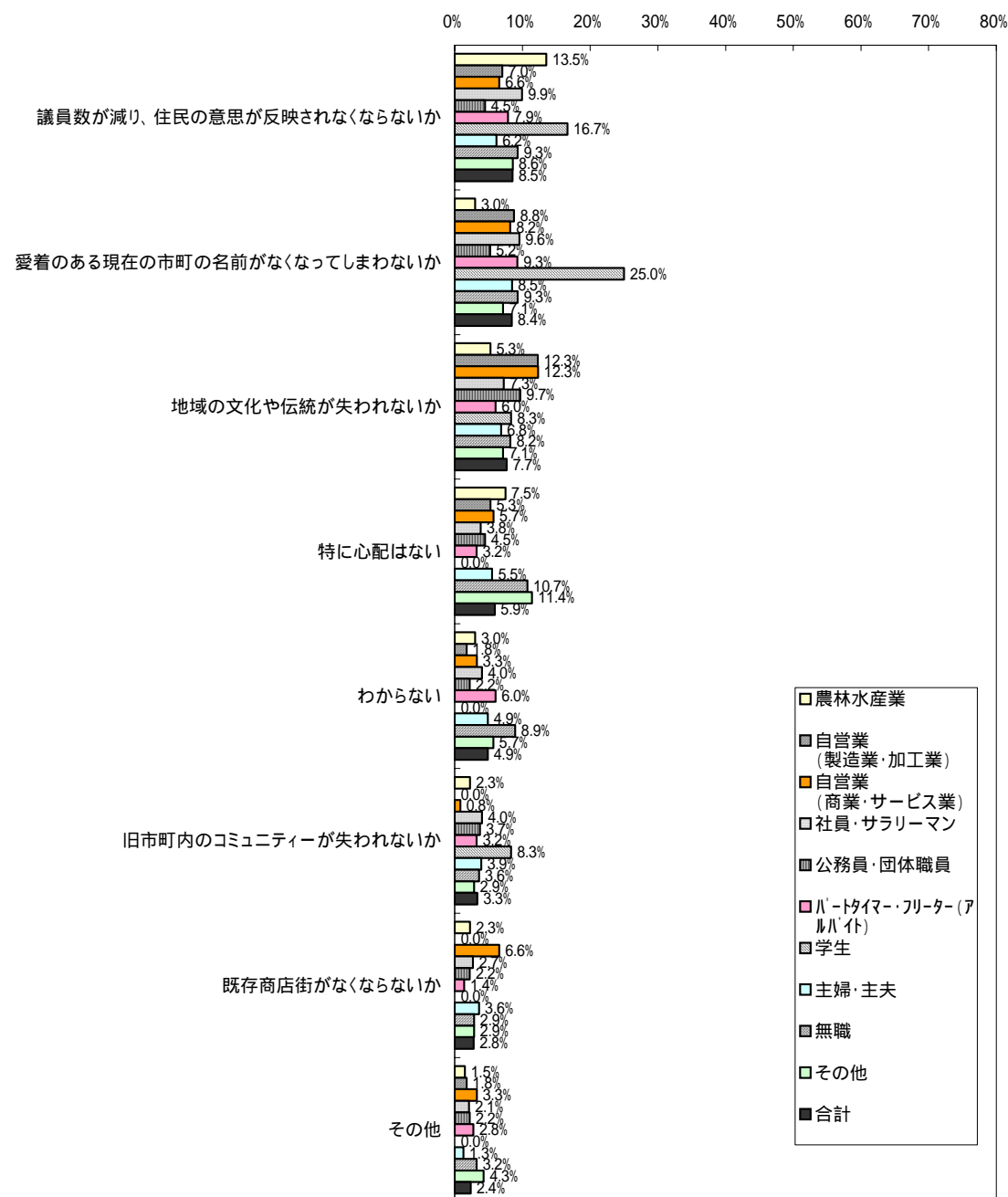
## 合併に対する心配（問8 複数回答）

農林水産業、自営業（製造業・加工業）、公務員・団体職員を職業とする回答者は、「中心部と周辺部に格差が生じないか」が第1位回答である。自営業（商業・サービス業）、社員・サラリーマン、パートタイマー・フリーターを職業とする回答者は、「税金や使用料などの住民負担が増えないか」が第1位回答であり、合併に対して最も心配している事項に違いがみられる。

（その1）



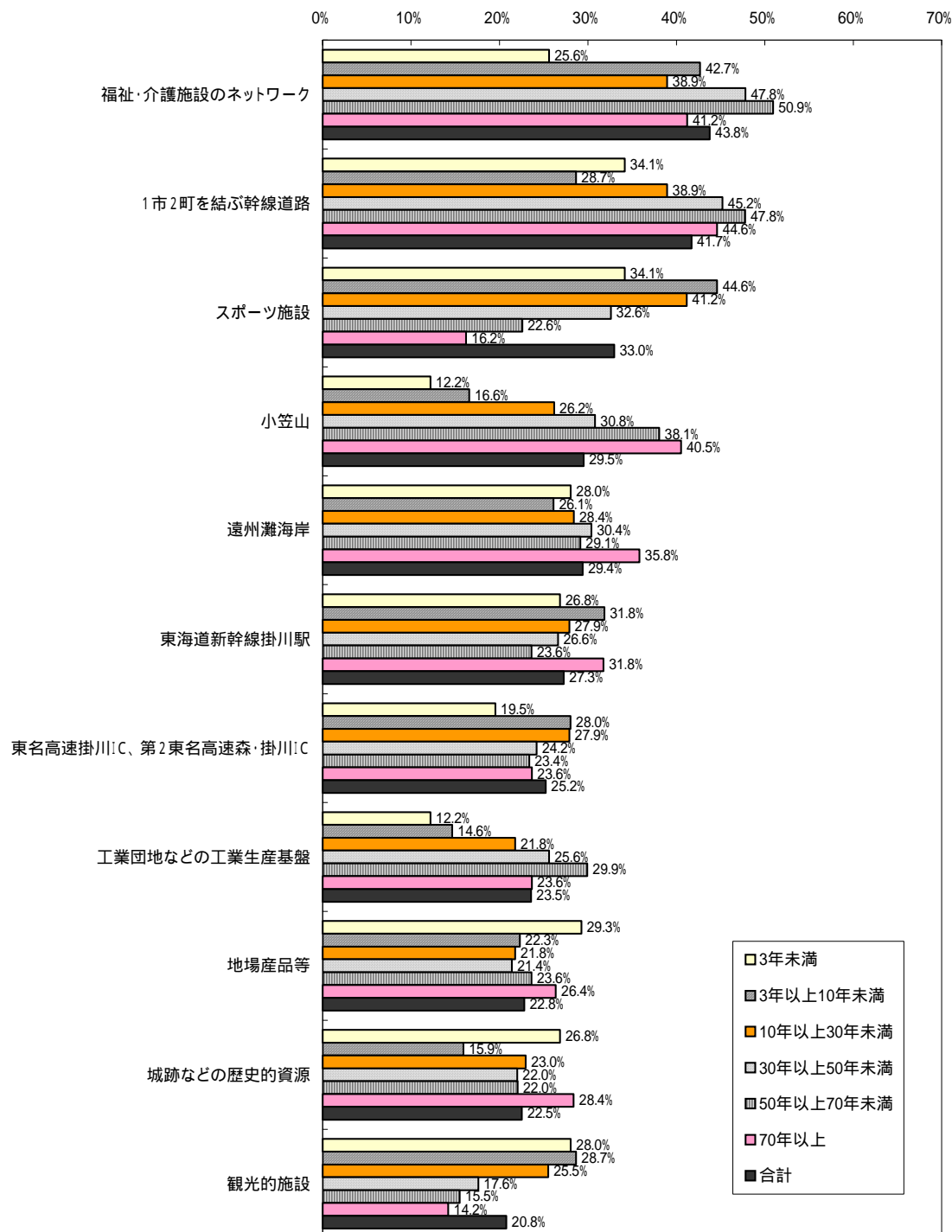
(その2)



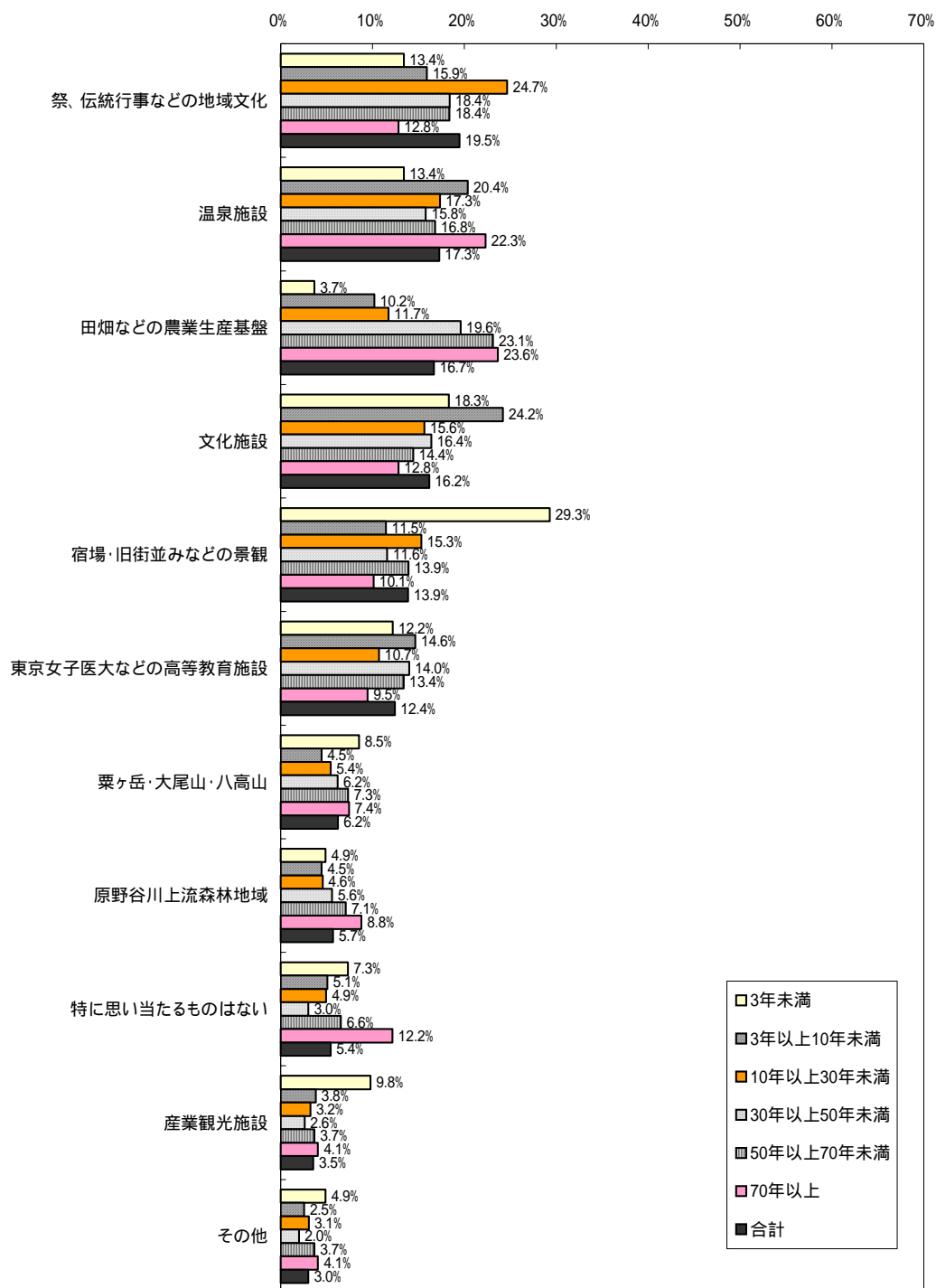
## 新都市のまちづくりに積極的に活用していくべき資源（問10 複数回答）

まちづくりに積極的に活用していくべき資源としての「小笠山」は、居住年数が長くなるほど回答率が高くなる。「1市2町を結ぶ幹線道路」についても、居住年数30年以上の回答者の方が、回答率が高くなる。

（その1）

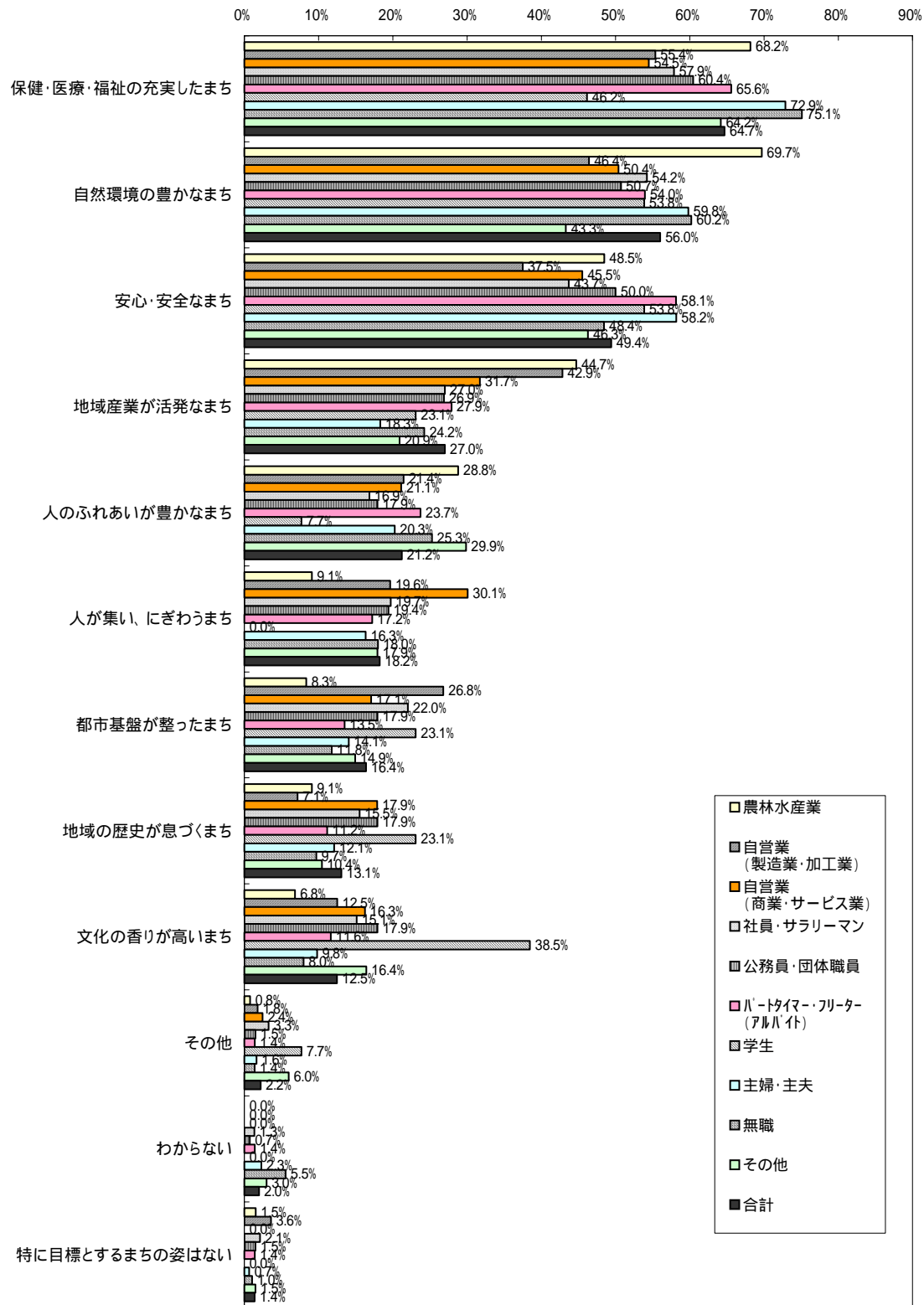


(その2)



## 新都市の望ましい姿（問 11 複数回答）

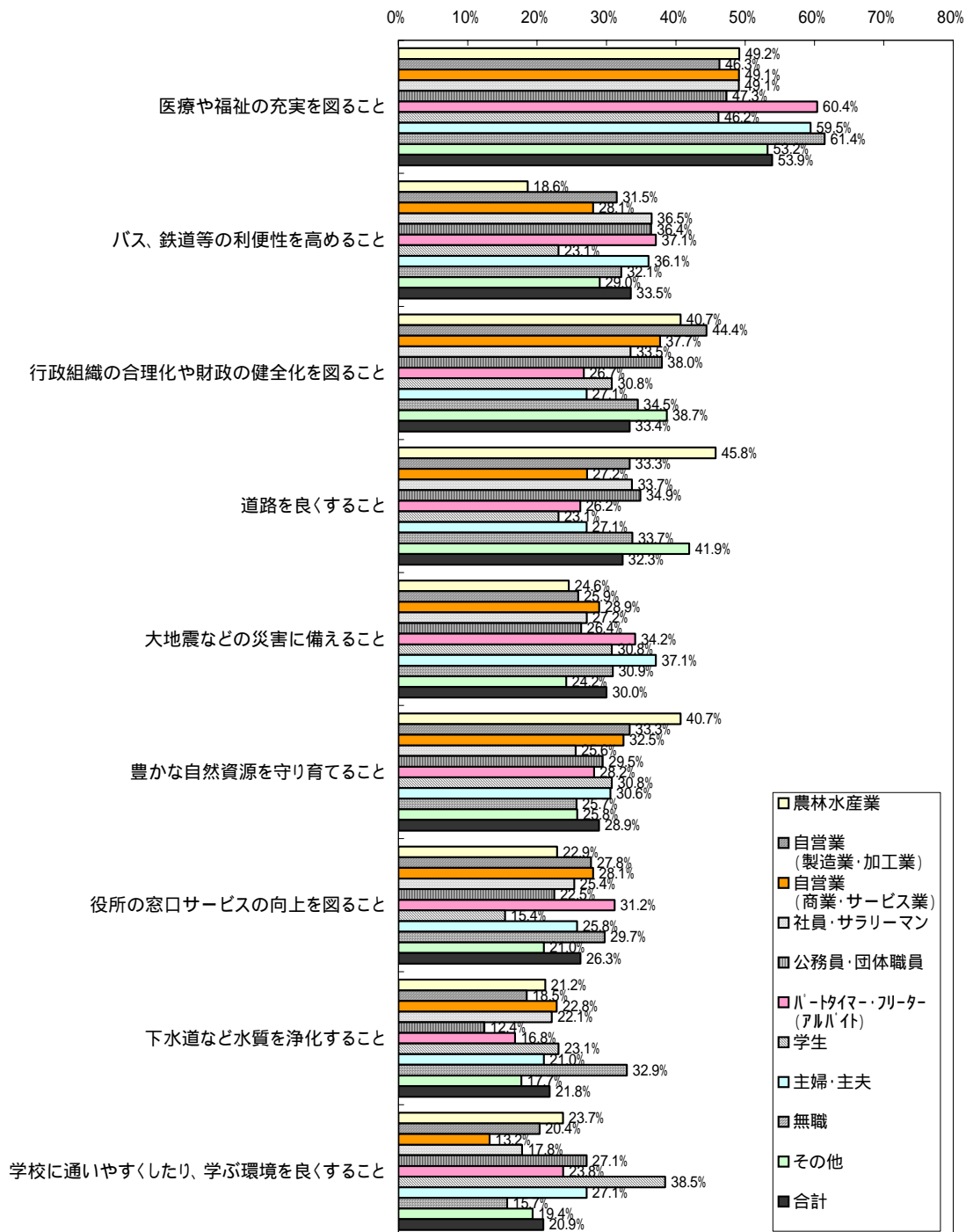
農林水産業と学生の第 1 位は「自然環境の豊かなまち」である。これ以外の職業の回答者の第 1 位回答は、「保健・医療・福祉の充実したまち」である。特に主婦・主夫、無職の回答者は、回答率が高くなっている。



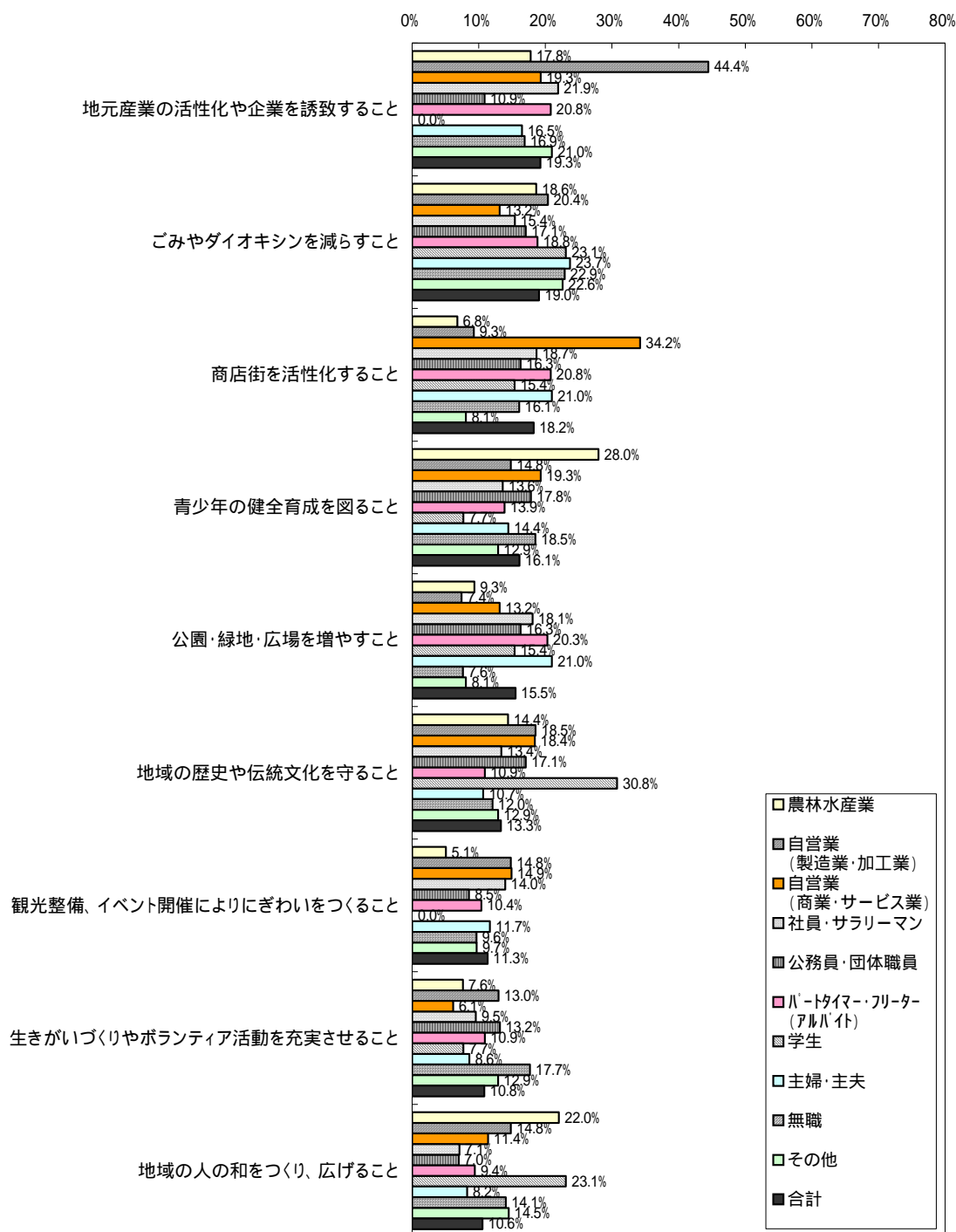
## 優先的に取り組むべき施策（問 12 複数回答）

職業の違いがあっても、第 1 位回答は「医療や福祉の充実を図ること」である。農林水産業では「田畑の整備や農業後継者を育てること」、自営業（製造業・加工業）では「地元産業の活性化や企業を誘致すること」、自営業（商業・サービス業）では「商店街を活性化すること」といった自らの仕事に直結する施策が、比較的に高い回答率になっている。

（その 1）

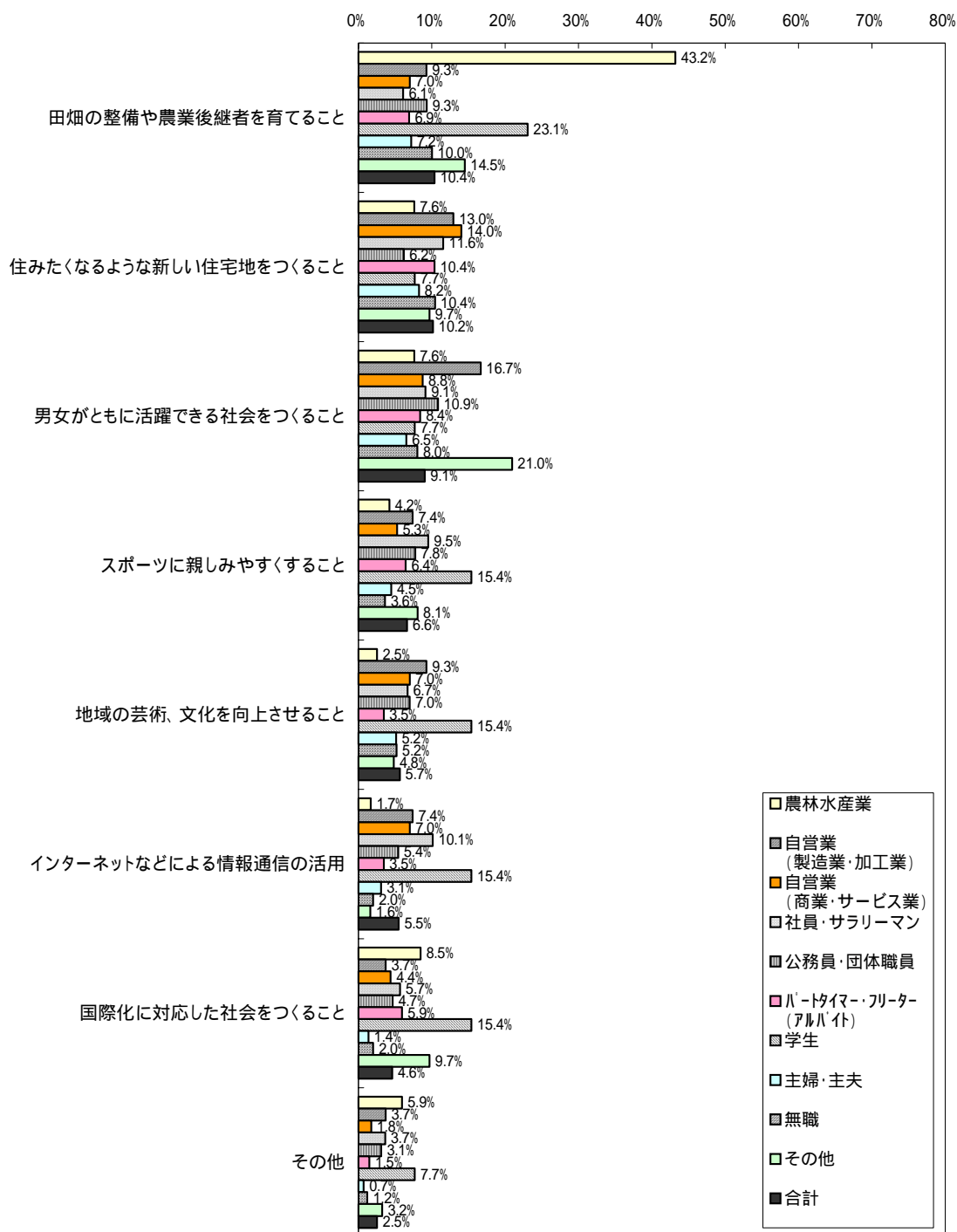


( その 2 )





(その3)





## 5 . 自由回答結果

## ( 1 ) 問 1 3 自由回答欄の概要

問 1 3 の自由回答欄は、865 人の回答者からご意見を頂いた。その主要な趣旨を分類して集計すると次のような結果となった。

「医療や福祉の充実」「南北幹線道路の充実」「バスなどの公共交通の充実」「合併の枠組みを広げる」「効率的な行政運営の実現」などの意見が多く寄せられた。さらに「合併には反対」の意見も上位を占めた。

### 自由回答欄の概要

	自由解答欄の概要
1	医療や福祉の充実（老後も安心できるまち）
2	南北幹線道路の充実
3	バスなどの公共交通の充実
4	合併の枠組みを広げる（１市２町から１市４町、２市６町などへ拡大）
5	効率的な行政運営の実現
6	住民負担の軽減
7	住みたくなるまちの実現
8	合併には反対
9	山、海など豊かな自然環境を大切にしたまち
10	子供たちの健全な育成、教育の充実
11	公園やスポーツ施設の充実
12	歴史や文化を大切にしたまち
13	商業振興
14	子育てしやすいまち
15	企業誘致など地域経済の活性化
16	合併のメリット、デメリットの明示
17	イベントの開催
18	レジャー施設の充実
19	情報の周知・共有化
20	農業振興

## ( 2 ) 主要なご意見、提案

自由解答欄に記載された主要なご意見、提案を掲載した。

### 「医療や福祉の充実」に関するご意見

掛川市もいろいろ考えているようですが福祉の問題に力を入れていただきたいです。これからは高齢者が多くなる為、家では看られない人たちの施設もたくさんお願いします。

年も取ってしまった今、生活の安定が一番の課題です 医療もさる事、年金生活で本当に心配しております。老後の豊かな社会にしてほしいと思うのです。

高齢化社会を迎える今後の最大の課題は、医療機関の充実と老人福祉の整備を早急に進める事が大切だと思います。

### 「南北幹線道路の充実」に関するご意見

大須賀町に住んでいます。大東町、浜岡町に行くには、交通が便利ですが、掛川市に行くに不便を感じています。大東、浜岡、大須賀に比べ、掛川の買物をする店のほうが魅力を感じるのに、遠く感じ、行く機会をのがしてしまいます。山道を登ったりおりたりではなく、いい道ができたらいいな...と思います。

掛川 - 大東町、又は掛川 - 大須賀を結ぶ道路がもっと整備され朝夕の渋滞が無くなる事を望みます。

合併の第一希望は南北の道路の速やかな完成である。現在途中でとぎれているので朝通勤者は非常に困っている。特に掛川地区の問題が多いのか現在計画されているのでしょうか早く完成することを願う者である。

### 「バスなどの公共交通の充実」に関するご意見

南北間の交通の便が悪い事に加え、老年人口が増加し、老人の行動範囲が狭まっている。小型の( 10人~20人乗程度 )バスを安く使用できるようにしてほしい。市内循環のバスの範囲をもっと広げてほしい。

是非お願いしたい事は須賀町から直接公共乗物バスを走らせてほしい。病院、電車に乗るのが不便・会合等交流も多くなると予想されるので公共の交通手段がほしい。

お年寄りも、年々、増える時代なので高齢者の方々でもバスや、公共の乗物が簡単に使用でき、行きたい所へ行くことや買い物など、不便さが、なくなると良いと思います。

### 「合併の枠組みを広げる」に関するご意見

1市2町だけでなく小笠町と菊川町とも合併するように進めていてもらいたいです。掛川市と小笠郡の合併になった方がもっとメリットがでてくるのではないのでしょうか？
1市2町の連携を強固にしつつ、将来的に隣りの袋井市、菊川町、小笠町との合併にも話を広げてもらいたい。最低でもこれくらいの規模でないと、本当の意味での広域行政の効率化や大胆な発想でのまちづくりは進まないと思う。
合併に対する期限が決まっているのは、理解できるが、もう少し時間をかけて（合併特例を気にしないで）菊川、小笠との合併も含めて、話し合って欲しい。

### 「効率的な行政運営の実現」に関するご意見

無駄な財政をしないで税金はもっと有効に使ってほしい。そして皆が安心できる町づくりにしてほしい。シャレた建物はいりません。充実した楽しい町にほしい。
合併時に既得権を一旦すべてリセットスリムで効率的な行政システムの構築をしていただきたい。
1市2町合併により、新しい建物、整備をする必要はない。今ある施設をもっと充実させた利用をするべきだと思う。

### 「住民負担の軽減」に関するご意見

とにかく掛川市は税金等が高すぎて住みづらい。お金を掛けない行政ができるはずです。合理的に判断して下さい。
私は合併してもあまりこれ以上の地域活性は望めないと思っております。現存の施設を十分に活用し、少しでも市民の税金の負担を軽減していただけるよう、合併して良かったと思える新市にしたいと思っています。
合併の結果、住民税や公共料金が値上りし、役所はますます遠くなり、各種サービスが減らされて、理念とはウラハラの住みにくい社会になってしまうのではないかと心配です。

### 「住みたくなるまちの実現」に関するご意見

外に働きかけることより、ここに住む人が生活しやすい環境を整えてほしい。袋井市などに比べ公園やスポーツやスポーツ施設の整備が不十分だと思います。ただし、財政の健全化を図ることが大切ですので、ハコ物をつくることはあまり考えないでほしい。無理のない範囲ですみやすい地域づくりをお願いします。
山、田、畑、海、1市2町の合併によって自然環境が整う。利便性だけを求めるのでな

く住みやすく、住んでよかった市になる事を求めます。
地域を築立った若者が戻ってきてずっと住みたくなるような町になるといいですね。そのためには働く場所があること、働く場所まで通いやすいことが必要だと思います。

#### 「合併には反対」に関するご意見

一部の人たちが密室の中で決定したような合併は反対です。なぜもっと議論しないのか？合併を一つの選択枝として考えないのか？最初から合併ありきのすすめ方は大いに問題があります。
掛川市と合併するよりも菊川町小笠町と合併する方が安心した生活が送られると絶対思う。(税金が上がると生活が苦しくなる人も多くあり)。掛川市との合併は絶対、反対します。
1市2町の合併は反対です。小笠4町が合併してから、後々、掛川と合併するならいいと思う。

#### 「山、海など豊かな自然環境を大切にしたいまち」に関するご意見

山と海の自然を活かし、豊かな環境の中で、子供からお年寄りまで、楽しく、暮らせる、新しい市をつくって下さい。20才以下の子供達の意見や夢も調査すると思います。
小笠山を中心に自然を残す努力をしてほしい。地域活性化の名目だけで、公共工事をしないでほしい。コンクリートで固められた河川岸は夢も希望も失う気がする。水の浄化も併せ、今一度自然の河川を取り戻したい。そんな行政なら進んで参画したい。
小笠山、粟ヶ岳、遠州灘海岸など、自然のものは自然のまま残しておいていただきたい。

#### 「子供たちの健全な育成、教育の充実」に関するご意見

教育に投資を増やしていただきたいと思います。子ども達の心を豊かにする自然体験の場を増やしたり学びを深める学校の人員確保(教員の)を行ったりと、未来を担う子ども達が夢をいっぱい抱いて、生きられるように。
教育の力を入れてほしい。水準の高い教育文化活動ができる場をほしい。生涯学習の楽しめる町。
1市2町になった場合、最低でも短大や専門学校を2～3校造っていただきたい。また国際化が進むのでコミュニティー英語会話教室をつくってほしい。

## 「公園やスポーツ施設の充実」に関するご意見

スポーツをする機会が少ないのでプールの水泳教室やテニスコートの貸出などその他のスポーツ教室を作って欲しい。
代々木公園や砧公園のような、休日に家族が無料でいろんな物事、人にふれあえるような場所が必要です。是非御検討下さい。
1市2町ではなく、小笠郡下と袋井市を含める合併を考えてほしい。エコパの利用を考えてほしい。サッカーだけでなく、野球やその他のスポーツに使用できる様にしてほしい。

## 「歴史や文化を大切にしまち」に関するご意見

今回の1市2町は共に城下町として今に到っています。そこで、歴史的資源を表に出しさらなる観光名所にすべきだと思います。掛川城の天守復元は成りましたが横須賀城、高天神城はいまだ跡地として知る人も少ないのが現状です。天守閣ひとつの復元で町そのものが活気づくと思います。町のシンボルとして復元に全力を注いでほしいです。
孫達が、地域の祭りをとても大切にしています。合併しても、伝統文化を守ってほしいと思います。
歴史、文化都市宣言をかかげる。掛川には掛川城が存在し大須賀町には横須賀城跡、大東町は高天城跡がある。それぞれ城を建築し、観光面をアピールする。経済効果は絶大だ。

## 「商業振興」に関するご意見

商店街の活性化を考えてほしい アミューズメントパーク、アウトレットパークをつくる。ショッピングモールをつくる。
掛川商店街は人が少なくて寝むってしまった様な通りでとてもさみしく感じました。商店街通りだけでも人通りの多い町になるといいと思います。
町中に人が集る町ように。今は町の外へ、買い物客がとられている 町中商店がもっと頑張って協力して人を集めるような町づくりを望む。

## 「子育てしやすいまち」に関するご意見

子供を育てやすい環境を作ってほしい。幼稚園、小学校～高校など、通いやすいように。医療、福祉が充実し、子供からお年よりまで安心してらせる。もう1人子供を産んでも、掛川なら安心！というようなまちづくりを目指してほしい。
子供を豊かに育てていける町にしてほしい。子供達の安全、犯罪のない安心して生活できる町。



高齢化と少子化の問題が一番気になっています。少子化が将来の生産性を低くし果ては高齢化人口の維持問題に発展するとおもっております。安心して子供を産み育てる環境整備をまず第１に考えるべきと考えます。

#### 「企業誘致など地域経済の活性化」に関するご意見

工場用の土地を造成し大都市圏の企業を誘致し地元住民の働く場所の確保、経済の活性化と共に町全体のエネルギーを感じさせる様な都市にしたいと思います。

南北の中心に東西に走る東名、バイパス、新幹線、ＪＲ線があり交通条件は大変良く又山あり海ありの自然豊かな市となり自然と歴史を大事にし工業、農業、商業とも発展する事を望みます。

掛川中心部へ結ぶ幹線道路整備を充実させ、企業の誘致及び交通網の利便性向上に伴う通学アクセスの向上、経済(工業、農業、商業)の活性化へ結び付ける。

#### 「合併のメリット、デメリットの明示」に関するご意見

合併のメリットだけではなく、デメリットも知らせてから住民に意見を聞くべきだと思います。

合併するということについてもっと隅々までその案なり内容をいきわたらせることとしているか？アンケートをとる前にどうして合併する意味があるのか合併するにあたってのメリットデメリットを提示すべき！

掛川市は借金が多いとききます。合併したら負担をしなくてはいけなくなり不安である。合併することによるメリットが良くわからない。

#### 「イベントの開催」に関するご意見

大東町、大須賀町の存在感が少ない為、イベント等の開催を増やし交流を深めてほしい。

市町の合併により、３市町分の広さの町（市？）ができるのでしょから、その中での交流も必要だと思います。イベントや、交流の場等が行なわれれば良いと思うのですが。

合併後、なるべく早く旧市町のこだわりがなくなるようにイベント等を進める。

#### 「レジャー施設の充実」に関するご意見

子供を連れて気軽に遊びに行けるレジャー施設ができればいいと思う。掛川にせっかく新幹線があるのに、観光といえば掛川城ぐらいしかなくて、子供はつまらないと思う。つ

ま恋は高く、あまり楽しくない。
小笠山にスポーツ施設、大きな公園、温泉などを含めた大きなレジャー施設を作る。こちら辺は遊ぶ施設がないから。
もっと家族で遊んだり、出かけられるようなテーマパークを造ってほしい。

#### 「情報の周知・共有化」に関するご意見

合併ありきで議論が進んでいるが、「なぜ合併が必要なのか」「合併した場合の利点とリスクはどうなのか」を広く地域住民に知らせてほしい。
合併を機に、それぞれの市、町、の現状の問題点をはっきりとさせ、“良くなる”点だけに目を向けず、難しくなる点についてもしっかりと把握し、市民にもわかりやすい説明で明確にしてから取り組むべき。まだまだ、市民レベルでは関心も低いし、情報も少ないと感じる。こういう時代なので“みきり発車”だけは避けたい。
1市2町の合併が決定するまでもう少し住民に詳しい説明及び声の吸い上げをしていただきたかった。現在の利害だけに目をむけることのない様これからの若い人たちの事、又私たちが迎える老後に少しでも役立つ都市づくりを望みます。

#### 「農業振興」に関するご意見

大須賀町のサンサンファームのような新鮮で安価な地場産物の常設所を設けるとよい。
掛川や大東、大須賀は、工業もさることながら農業も大部分をしめていると思います。青少年や、女性がサラリーマン感覚で農業ができる体制作りが必要ではないでしょうか。
土地を有効に使って農作物生産を拡大日本一に。老人パワーをもっと活用出来る場所づくり。

## 資 料 編

- ・ 住民意向調査挨拶文
- ・ 住民意向調査票



## 新都市建設計画についてのアンケートのお願い

掛川市・大東町・大須賀町任意合併協議会は、1市2町の合併について、さまざまな項目の調整・協議を行っています。

今後、当協議会では、合併するとした場合、どのようなまちづくりを目指すのか、そのためにはどのような事業を実施したら良いのか、といった新都市のマスタープランを作成します。これは、新市のまちづくりの方向性について、皆様のご意見・ご提案を十分に踏まえて進めていきたいと考えるからです。

そこで、協議会では、1市2町にお住まいの20歳以上の方から無作為に抽出させていただいた4,500名の皆さんを対象にアンケート調査をお願いすることにいたしました。

つきましては、ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、当アンケート調査にご回答いただきますようお願いいたします。

なお、このアンケート調査は、無記名で、調査の結果は統計的に処理しますので、ご迷惑をおかけすることは決してございません。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成 15 年 6 月

掛川市・大東町・大須賀町任意合併協議会

### 調査票へのご記入にあたって

すべての設問にご回答ください。

各設問では、あてはまる番号に 印をつけてください。

「その他」にあてはまる場合は、その番号を で囲むとともに、  
( ) の中に具体的にご記入ください。

問13のみは直接文章でご記入いただく設問となっております。

ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒（切手不要）に入れて、  
6月13日（金）までに投函くださいますようお願いいたします。

なお、このアンケートについてご不明な点等がございましたら、下記までお問い合わせください。

掛川市・大東町・大須賀町任意合併協議会事務局 計画係

電話：0537-21-1211 FAX：0537-21-1212

**問 1 あなたの性別はどちらですか。**（該当する番号に1つ 印をお付けください。）

- 1 . 男性                                  2 . 女性

**問 2 あなたの年齢はおいくつですか。**（該当する番号に1つ 印をお付けください。）

- 1 . 20歳代                                  5 . 60歳代  
2 . 30歳代                                  6 . 70歳代  
3 . 40歳代                                  7 . 80歳以上  
4 . 50歳代

**問 3 あなたの主なご職業はどれにあてはまりますか。**

（該当する番号に1つ 印をお付けください。）

- 1 . 農林水産業  
2 . 自営業（製造業・加工業）  
3 . 自営業（商業・サービス業）  
4 . 社員・サラリーマン  
5 . 公務員・団体職員（商工会・農協・社協等）  
6 . パートタイマー・フリーター（アルバイト）  
7 . 学生  
8 . 主婦・主夫  
9 . 無職  
10 . その他

**問 4 あなたのお住まいの市町はどちらですか。**（該当する番号に1つ 印をお付けください。）

- 1 . 掛川市                                  2 . 大東町                                  3 . 大須賀町

**問 5 現在のお住まいの市町に通算して何年位住んでいますか。**

（該当する番号に1つ 印をお付けください。）

- 1 . 3年未満                                  4 . 30年以上50年未満  
2 . 3年以上10年未満                                  5 . 50年以上70年未満  
3 . 10年以上30年未満                                  6 . 70年以上

**問 6 あなたは1市2町の合併について関心がありますか。**

（該当する番号に1つ 印をお付けください。）

- 1 . 大いに関心がある  
2 . 少し関心がある  
3 . これから考えたい  
4 . あまり関心がない  
5 . 全く関心がない

**問7「合併」によってどのような効果を期待しますか。**

(該当する番号に3つまで 印をお付けください。)

1. 広域行政が効率的に進む
2. 公共サービスが充実する
3. 役所の人件費等、経費の節約がされる
4. 地方分権が進む
5. 地域経済が活性化する
6. 魅力ある観光の周遊コースが設定できる
7. 公共施設が無駄なく、広い地域で使える
8. 南北道路が良くなる
9. 今までと違った発想のまちづくりができる
10. 大規模な事業が行える
11. 環境対策が充実する
12. 地域イメージが向上する
13. 茶・いちご等の農産物の販売宣伝力が上がる
14. 優秀な人材が確保される
15. その他( )
16. 合併による効果はあまり無い
17. わからない

**問8 1市2町が合併するとしたらどういったことを心配しますか。**

(該当する番号に3つまで 印をお付けください。)

1. 中心部と周辺部に格差が生じないか
2. 地域の文化や伝統が失われないか
3. きめ細かい行政サービスができなくなるか
4. 税金や使用料などの住民負担が増えないか
5. 新たな整備にお金がかからないか
6. 役所が遠くなり不便にならないか
7. 既存商店街がなくなるか
8. 議員数が減り、住民の意思が反映されなくなるか
9. 旧の市町間で対立が生じないか
10. 旧市町内のコミュニティーが失われないか
11. 愛着のある現在の市町の名前がなくなってしまうか
12. 掛川市に吸収されたようにならないか
13. 小笠郡の分割により連帯感が失われないか
14. その他( )
15. 特に心配はない
16. わからない

問9 現状の行政サービスやまちづくりへの満足度について、どのように感じていますか。  
 (各項目ごとに 6段階の評価の番号1つに 印をお付けください。)

<div> <div>項目</div> <div>評価</div> </div>		満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	わからない
1	保健・健康づくり、医療体制	1	2	3	4	5	6
2	障害者・高齢者への福祉	1	2	3	4	5	6
3	幼児教育・保育・子育て支援	1	2	3	4	5	6
4	小中学校教育、高等教育	1	2	3	4	5	6
5	生涯学習	1	2	3	4	5	6
6	文化・芸術・地域の伝統歴史	1	2	3	4	5	6
7	スポーツ・レクリエーション	1	2	3	4	5	6
8	ごみ収集・処理、リサイクル	1	2	3	4	5	6
9	上水道	1	2	3	4	5	6
10	下水道・下水処理	1	2	3	4	5	6
11	農業振興	1	2	3	4	5	6
12	商業振興(中心市街地・地域商業、観光)	1	2	3	4	5	6
13	工業振興(基盤整備、工場誘致)	1	2	3	4	5	6
14	公共交通(バス、鉄道等)	1	2	3	4	5	6
15	道路、交通安全	1	2	3	4	5	6
16	公園や緑地	1	2	3	4	5	6
17	街並み・景観	1	2	3	4	5	6
18	防災施設・体制、防犯対策	1	2	3	4	5	6
19	情報通信基盤	1	2	3	4	5	6
20	国際交流・国際化	1	2	3	4	5	6
21	コミュニティー、ボランティア活動、住民参加、男女共同参画	1	2	3	4	5	6



これ以降の質問については、新しい市の姿をイメージしながら、新都市の方向性などについてお答えください。

問 10 新都市のまちづくりに積極的に活用していくべき資源（自然環境、立地条件、各種施設など）は何でしょうか。（該当する番号に5つまで 印をお付けください。）

- 1．小笠山
- 2．粟ヶ岳・大尾山・八高山
- 3．原野谷川上流森林地域
- 4．遠州灘海岸
- 5．田畑などの農業生産基盤
- 6．工業団地などの工業生産基盤
- 7．東海道新幹線掛川駅
- 8．東名高速掛川ＩＣ、第２東名高速森・掛川ＩＣ
- 9．１市２町を結ぶ幹線道路
- 10．地場産品等（茶・いちご等の農産物、加工品など）
- 11．観光的施設（つま恋、加茂花菖蒲園、サンサンファームなど）
- 12．産業観光施設（資生堂企業資料館、エコポリスなど）
- 13．温泉施設（シートピア、ならここ温泉など）
- 14．福祉・介護施設のネットワーク
- 15．城跡（掛川城、高天神城、横須賀城）などの歴史的資源
- 16．宿場・旧街並み（掛川宿、日坂宿、横須賀地区）などの景観
- 17．祭、伝統行事などの地域文化
- 18．文化施設（生涯学習センター、シオーネ、吉岡弥生記念館など）
- 19．スポーツ施設（エコパ、市町の総合体育館・総合運動場など）
- 20．東京女子医大などの高等教育施設
- 21．その他（）
- 22．特に思い当たるものはない

問 11 新都市はどのような姿が望ましいでしょうか。  
（該当する番号に3つまで 印をお付けください。）

- 1．自然環境の豊かなまち
- 2．地域の歴史が息づくまち
- 3．都市基盤が整ったまち
- 4．保健・医療・福祉の充実したまち
- 5．人が集い、にぎわうまち
- 6．文化の香りが高いまち
- 7．地域産業が活発なまち
- 8．人のふれあいが豊かなまち
- 9．安心・安全なまち
- 10．その他（）
- 11．特に目標とするまちの姿はない
- 12．わからない

**問 12 1市2町が合併した場合、優先的に取り組むべき施策とは何でしょうか。**

(該当する番号に5つまで 印をお付け下さい。)

1. 道路を良くすること
2. 下水道など水質を浄化すること
3. バス、鉄道等の利便性を高めること
4. 公園・緑地・広場を増やすこと
5. ごみやダイオキシンを減らすこと
6. 豊かな自然資源を守り育てること
7. 大地震などの災害に備えること
8. 医療や福祉の充実を図ること
9. 田畑の整備や農業後継者を育てること
10. 地元産業の活性化や企業を誘致すること
11. 商店街を活性化すること
12. 観光整備、イベント開催によりにぎわいをつくること
13. 住みたくなるような新しい住宅地をつくること
14. 学校に通いやすくしたり、学ぶ環境を良くすること
15. 青少年の健全育成を図ること
16. スポーツに親しみやすくすること
17. 男女がともに活躍できる社会をつくること
18. 地域の歴史や伝統文化を守ること
19. 地域の芸術、文化を向上させること
20. 地域の人々の和をつくり、広げること
21. 生きがいづくりやボランティア活動を充実させること
22. 国際化に対応した社会をつくること
23. インターネットなどによる情報通信の活用
24. 役所の窓口サービスの向上を図ること
25. 行政組織の合理化や財政の健全化を図ること
26. その他( )

**問 13 1市2町の将来について夢やアイデア等ご自由にお書きください**

以上で質問はおわりです。ご協力ありがとうございました。